

# 消防年報

令和元年版



富士宮市消防本部

令和2年発行



# 富士宮市民憲章

(昭和42年11月1日制定)

わたくしたちは、富士宮市民であることに誇りをもちお互いのしあわせをねがい、よい市民となるために、この憲章を定めます。

- 1 わたくしたちは、富士山を仰ぎ文化を高め、ゆたかな教養を身につけましょう。
- 1 わたくしたちは明るい家庭をつくり、健康な青少年を育てましょう。
- 1 わたくしたちは、恵まれた自然を愛し、清潔な美しいまちをつくりましょう。
- 1 わたくしたちは、社会のきまりを守り、人に迷惑をかけないようにつとめましょう。
- 1 わたくしたちは、心身をきたえ仕事にはげみ、郷土の発展につくしましょう。



目 次

概 要

富士宮市の案内（位置） ..... 1  
富士宮市の面積・人口・世帯数 ..... 2  
消防本部・署（分署）の配置 ..... 3  
富士宮消防の沿革 ..... 4  
主な災害歴 ..... 9

総務関係

組織機構図 ..... 1 0  
消防本部事務分掌 ..... 1 1  
消防署事務分掌 ..... 1 2  
住民と常備消防力 ..... 1 3  
歴代消防長 ..... 1 3  
消防職員の階級別構成 ..... 1 4  
階級別年齢 ..... 1 5  
階級別勤続年数 ..... 1 6  
消防吏員各種免許取得状況 ..... 1 7  
職員研修状況 ..... 1 8  
年度別消防予算 ..... 1 9  
人口と予算の推移 ..... 2 0

火災関係

火災の概況 ..... 2 1  
火災の概要 ..... 2 2  
過去 1 0 年間の火災発生状況 ..... 2 3  
月別火災の概要 ..... 2 4  
建物火災の状況 ..... 2 5  
出火原因別火災件数 ..... 2 6  
出火原因別の推移 ..... 2 6

予防関係

予防行政の概要 ..... 2 7

建築確認消防同意等件数	27
防火対象物に関する調べ（延面積150㎡以上）	28
防火対象物査察及び防火管理者選任届出・消防計画書届出状況	29
消防用設備着工・設置届出検査数	30
防火・防災管理届出・消防計画届出・各点検結果報告数	30
煙火消費許可件数	30
各種届出件数	31
防火管理新規講習実施状況及び再講習	32
火災予防広報	32
住民指導実施状況	33
製造所等の許可、完成検査及び廃止届等の数	34
危険物施設立入検査等件数	34
数量別危険物施設数	35
類別危険物施設数	36

## 警防関係

各種出動状況及び教育・訓練状況	37
消防車両配置状況	38
消火薬剤備蓄状況	39
消防水利の現況及び新設基数	40

## 通信・気象関係

119番の受信状況	41
富士市・富士宮市消防指令センター 応援指令状況	41
通信施設の状況	42
富士市・富士宮市消防指令センター系統図	43
無線配置状況	44
富士宮市気象観測結果	46

## 救助関係

発生場所別事故件数及び月別・事故別出動件数	47
事故別出動車両、出動・活動・救出人員	48
救助資機材の配置状況（省令指定物品等）	49

## 救急関係

月別事故活動状況	5 2
出動件数の推移と事故種別による出動割合	5 3
出動から現場到着までの所要時間と出動件数	5 4
出動から医療機関収容までの所要時間と搬送人数	5 4
救急講習件数・受講人員	5 4
応急処置別 事故種別実施数	5 5
覚知時間別 事故種別出動回数	5 6
曜日別救急出動件数	5 7
月別救急出動件数	5 7
救急関係資器材の配置状況	5 8

## 応援協定

消防相互応援協定	5 9
静岡県内の消防の現況	6 0

## 消防団関係

消防団組織図	6 1
消防団の定員及び実員	6 1
歴代消防団長	6 2
消防団員配置状況（実員数）	6 3
年度別消防団員入団及び退団の推移	6 4
消防団員職業別人員状況	6 4
消防団員階級別年齢及び在職年数	6 5
消防団消防車両配置状況	6 6
消防団詰所一覧表	7 0
水防倉庫・資機材倉庫配置図	7 2
消防団車両配置図	7 3
消防団協力事業所表示証交付団体	7 4

## 防火協力団体関係

富士宮市防火安全協会	7 5
婦人防火クラブ	7 6
少年消防クラブ	7 7
幼年消防クラブ	7 8

# 概要

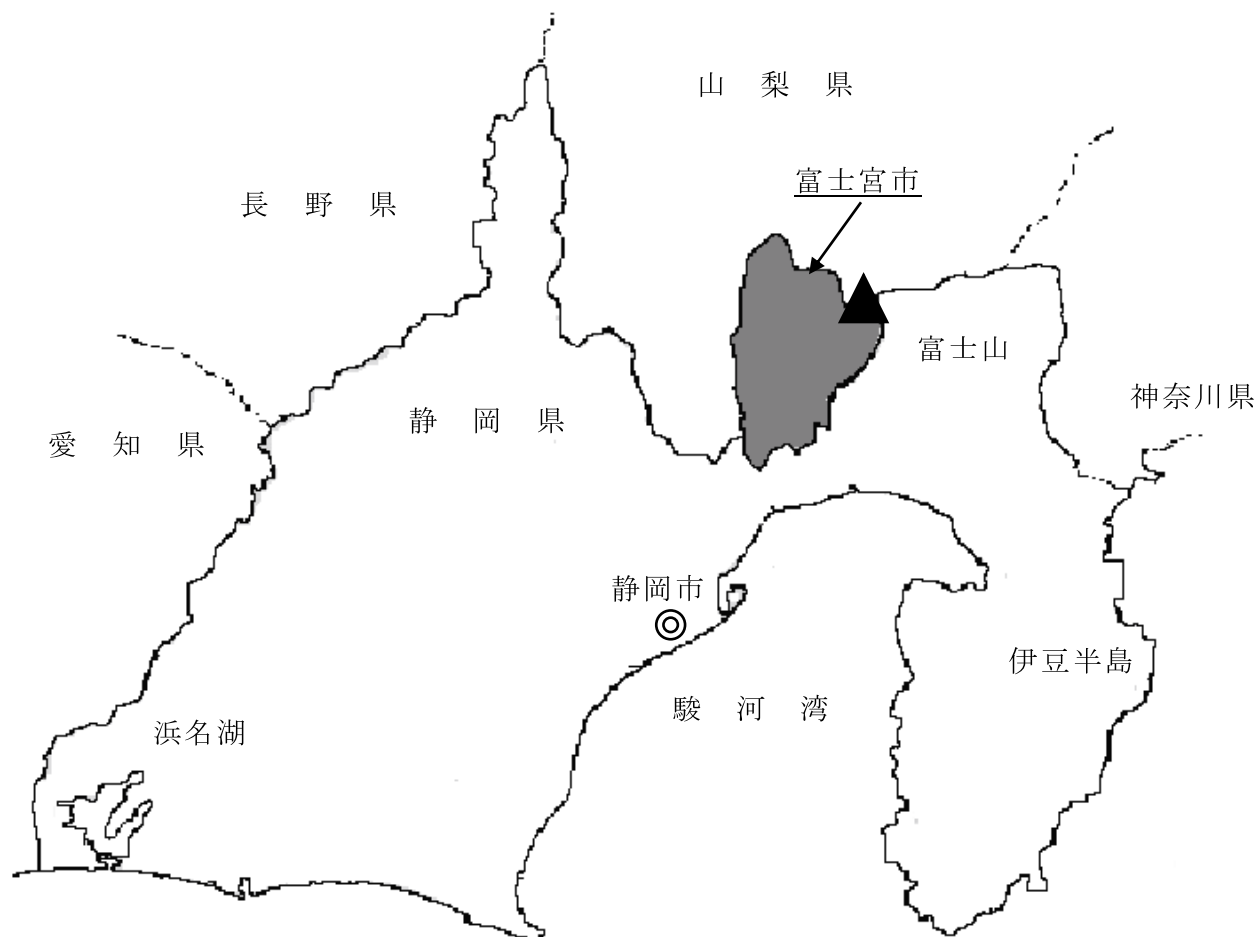


「放水訓練」

令和2年消防出初式写真コンテスト最優秀作品  
富士宮市長賞  
川田 悦男 氏



## 富士宮市の案内（位置）

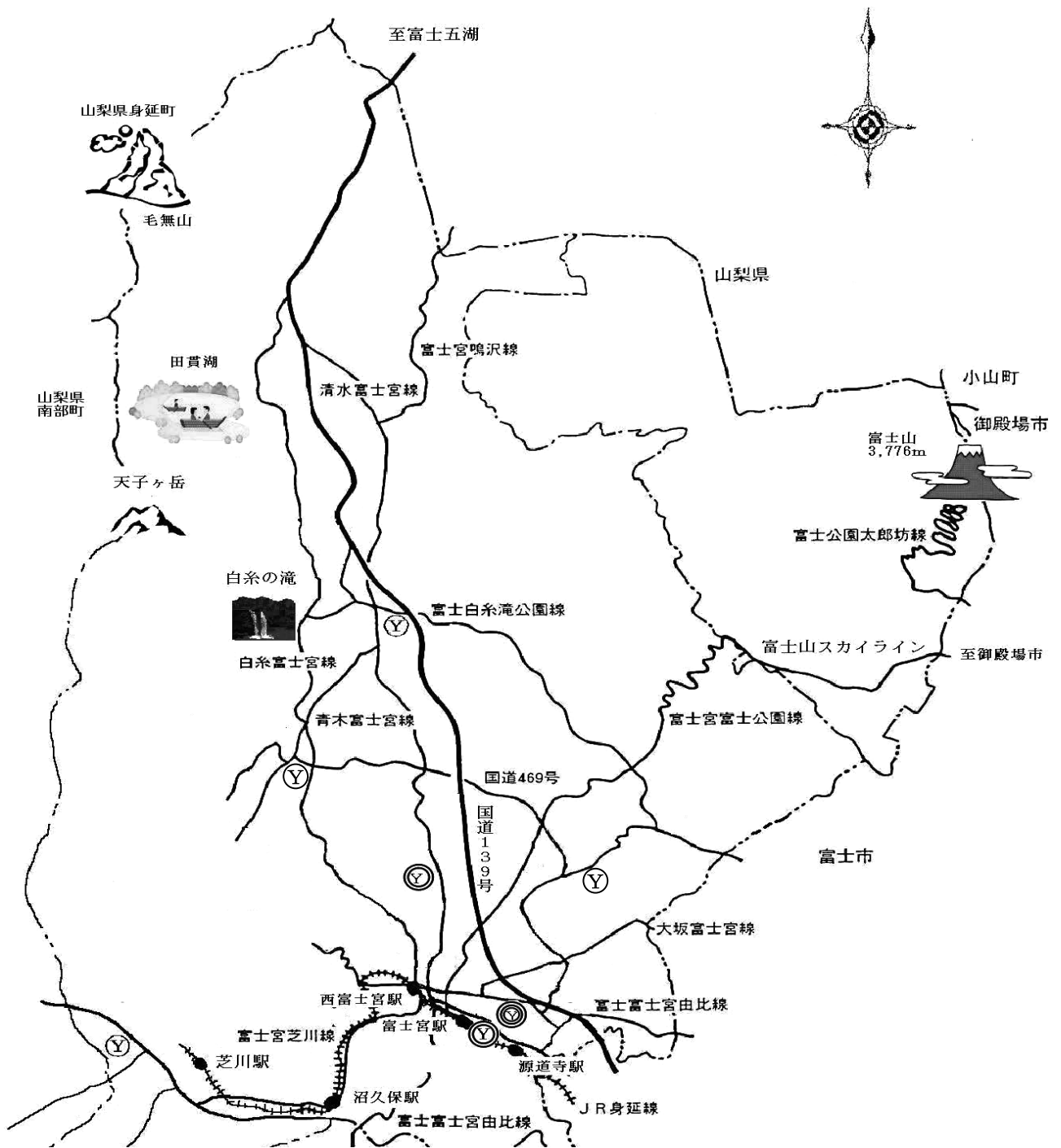


富士宮市は、富士山の西南麓に位置し、東から南は富士市に接し、北から西は富士山頂から毛無山系を隔てて山梨県に連なる。海拔35mから富士山頂の3,776mと高低差は日本一。

平安初期に造営された富士山本宮浅間大社（全国の浅間大社1,300余社の総本宮）の門前町として発展し、2013年には、富士山が世界文化遺産に登録され、白糸の滝など5つの構成資産を有するまちである。

また、ご当地グルメの代表格となった富士宮やきそばや、豊富な地元資源を生かした食のまちづくりを推進するとともに、「富士山の恵みを活かした元気に輝く国際文化都市」実現のため、世界遺産「富士山」を中心としたまちづくりを進めている。

富士宮市の面積・人口・世帯数



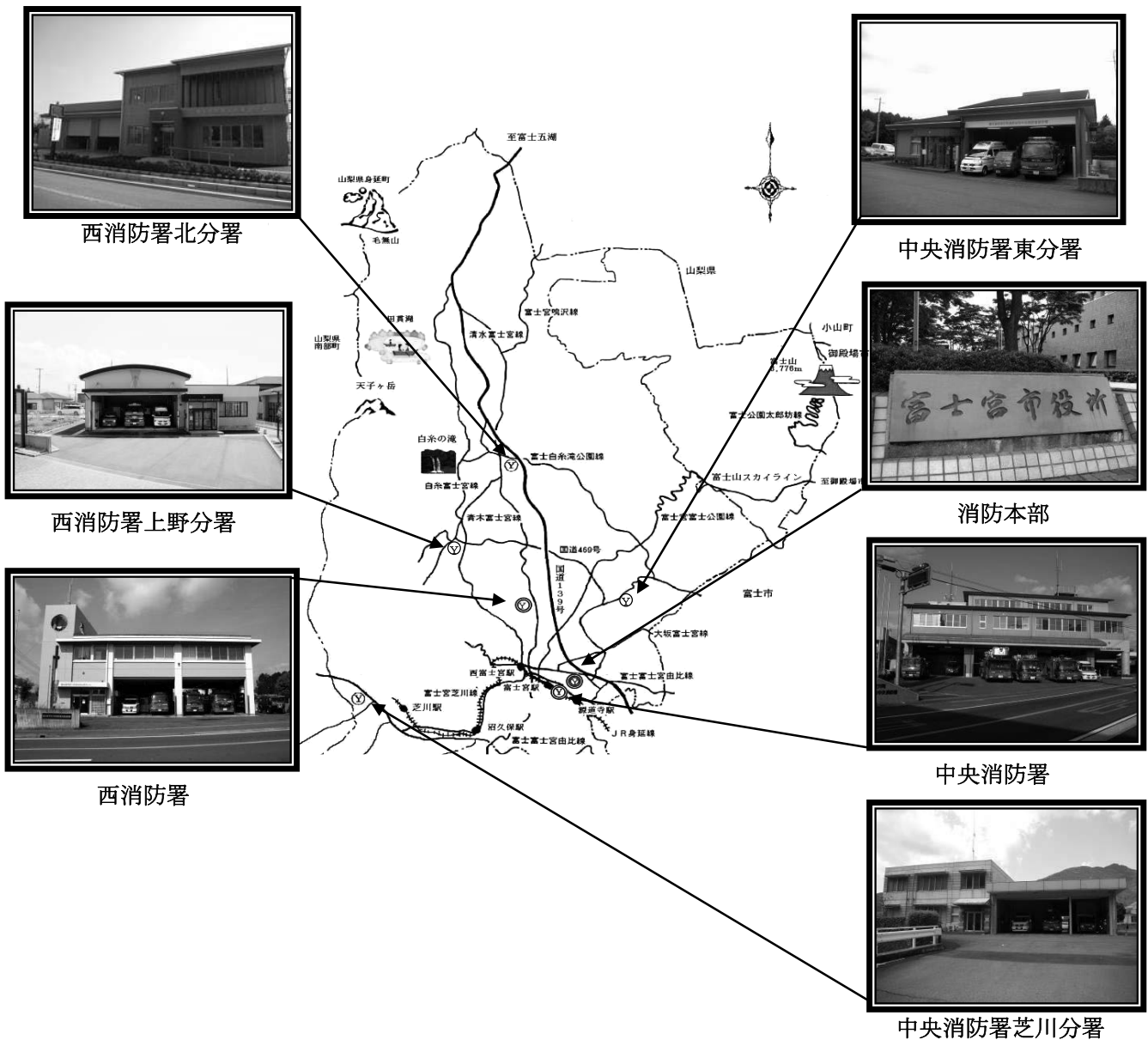
富士宮市			
形状	東西 20.92km	南北 32.63km	
海拔	最高 3,776m	最低 35m	

面積・人口・世帯数

令和2年4月1日現在

面積	人口		世帯数
	男女		
389.08km <sup>2</sup>	131,853人	男 65,421人 女 66,432人	57,083世帯

# 消防本部・署（分署）の配置



名称 種別	富士宮市役所 (消防本部)	中央消防署	西消防署	芝川分署	北分署	東分署	上野分署
所在地	弓沢町150	源道寺町5-1	宮原1-22	長貫756-1	上井出2256	栗倉334-1	下条140-3
敷地面積	18,836.03 m <sup>2</sup>	1,541.65 m <sup>2</sup>	1,840.25 m <sup>2</sup>	3,046.73 m <sup>2</sup>	5,996.08 m <sup>2</sup>	2,322.43 m <sup>2</sup>	1,511.99 m <sup>2</sup>
建築面積	4,937.71 m <sup>2</sup>	729.63 m <sup>2</sup>	439.85 m <sup>2</sup>	349.02 m <sup>2</sup>	495.24 m <sup>2</sup>	293.81 m <sup>2</sup>	321.99 m <sup>2</sup>
延べ面積	21,014.11 m <sup>2</sup> (内 459.58 m <sup>2</sup> )	1,606.78 m <sup>2</sup>	724.22 m <sup>2</sup>	503.27 m <sup>2</sup>	650.47 m <sup>2</sup>	293.37 m <sup>2</sup>	340.27 m <sup>2</sup>
建築年月日	H 3.11.1	H12. 5.20	H 7. 2.27	H 3. 3.28	H28.3.11	H 9. 2.28	H16. 3.31
電話	0544-22-1198	0544-26-5119	0544-27-0019	0544-65-1219	0544-54-1771	0544-22-8880	0544-59-1119

概要  
 総務  
 火災  
 予防  
 警戒  
 通信・指令  
 救助  
 救急  
 応援協定  
 消防団  
 防火協力団体



## 富士宮消防の沿革

富士宮市の消防の発祥は、明治8年8月に初音町（元城町）から出火し、神田町（大宮町）・仲宿（中央町）・連尺（東町）・青柳（東町）・伝馬町（東町）の330戸を焼失する大火があり、つづいて同年9月にも新立町（西町）から出火、西町の250戸を焼失し大きな損害を出しました。このことにより住民自ら無防備の非を深く反省し、防火消防団体の必要性を痛感し、当時の神田川東の魚屋業者が「酔狂連同盟社」という消防組を結成して活動を開始しました。これが富士宮市消防のはじまりとされております。

明治 9年 9月	神田川東の魚屋業者が消防組「酔狂連同盟社」を結成する。
明治 13年	西町の魚屋業者が「魚屋連中非常隊」を結成する。
明治 15年 3月	阿幸地・源道寺の住民が合同して「阿源組」を結成する。
明治 15年 4月	西町「魚屋連中非常隊」が「神立組」に改称、組員31名。
明治 15年 10月	ドイツ製腕用ポンプを2台購入。
明治 18年	東町「酔狂連同盟社」が「巴組」と改称。
明治 27年 2月 9日	勅令第15号消防組規則をもって当時の消防組制度を変更する。「巴組」を「大宮町消防組第1部」「神立組」を同じく「第2部」に改称。
明治 38年 3月	「阿源組」を「第3部」として編入、総員150名。
大正 3年	富士郡北部6ヶ町村が士気高揚と防火心の普及のため大演習を実施する。
大正 5年 1月 13日	大宮町消防組に当時第一の名誉とされていた「金馬廉」一条を授与される。
大正 9年 10月	大阪森田ポンプ会社から4千円を投じて、20馬力手挽ガソリンポンプ3台を購入し、大宮町消防組第1部・第2部・第3部に配置。
大正 14年 6月 25日	大宮町消防組を6部制とし、組頭以下246名。
大正 15年 5月 1日	再度、金馬廉授与の栄誉を受ける。
昭和 3年 5月 5日	自動車ポンプ「チャンドラ号」100馬力を購入、第1部に配置。
昭和 7年 4月 21日	大宮町が大火になり、常備消防の必要性を痛感し、夜間常備班を仲宿（中央町）に設置、編成は2部制とし、各部21名が交互に勤務する。
昭和 7年 6月 20日	自動車ポンプ、フォード24馬力を購入、第2部に設置。
昭和 11年 8月 20日	本町第2部消防組詰所に常備消防員10名をおき、5名ずつ昼夜24時間交代の隔日勤務制となる。
昭和 12年 4月 5日	防護団令が公布され、全国の市町村に防護団が新設される。
昭和 14年 1月 24日	勅令第20号をもって警防団令が発布される。
昭和 14年 4月 1日	大宮町消防組を解散し、「大宮町警防団」を設置。その組織は本部及び11個分団、定員495名、翌15年505名に増員。
昭和 15年 11月	自動車ポンプ、シボレー100馬力を購入。
昭和 17年 6月 1日	大宮町と富丘村が合併して市制を施行し「富士宮市警防団」となる。
昭和 18年 10月	富士急行（当時富士山麓バス会社）から乗用車フォード80馬力を購入、市原ポンプで、消防ポンプに艀装して運用開始。
昭和 22年 11月 1日	「富士宮市消防団」と改称。
昭和 22年 12月 23日	消防組織法の公布により、自治体消防発足。
昭和 25年 11月 1日	富士宮市消防本部（署）の発足、署長以下23名。 水槽付消防車いすゞ80馬力を購入。
昭和 30年 4月 1日	富士宮市と富士根村が合併。
昭和 32年 12月 26日	可搬ポンプ積載消防車いすゞ130馬力を購入。
昭和 33年 4月 1日	北山・上野・上井出・白糸の4ヶ村が富士宮市と合併、分団数36。
昭和 34年 3月 30日	災害現場連絡用として、消防用短波無線（基地局・移動局各1）を購入。
昭和 34年 5月 22日	日本損害保険協会から、普通消防車、ニッサン105馬力が寄贈され、のち水槽車に改造。
昭和 35年 6月	消防団の分団を一部統合させ、22個分団、定員675名。
昭和 37年 3月 10日	大宮45の10に鉄筋コンクリート3階建て、総面積518㎡の消防庁舎を建設する。

昭和39年 8月	危険物火災に対処するため、化学消火装置2基、薬液200ℓ、その他小型消火器10基を購入。
昭和39年 9月	普通消防車ニッサン130馬力、中型車を購入。
昭和39年12月	消防本部に、庶務・消防・予防の3係の日勤5名をおく。
昭和42年 3月20日	富士宮市危険物安全協会から、ホンダ125ccの赤バイが寄贈された。
昭和42年11月 1日	救急業務を開始する。
昭和43年 2月 8日	救急第1号車、トヨタ125馬力を購入。
昭和43年 3月20日	光町16番5号に鉄筋コンクリート2階建て、総面積400㎡の消防庁舎、消防署西出張所を建設する。
昭和44年11月 7日	可搬動力ポンプ、ラビット30馬力を購入、第7号車に積載。
昭和44年11月24日	化学消防車（消火薬液300ℓ、水1,000ℓ積載）いすゞ145馬力を購入。
昭和45年 6月	消防団22個分団、定数655名。
昭和45年 6月17日	指揮連絡車、ジープJ30型車を購入。
昭和45年 7月 6日	富士宮市・富士市・御殿場市・裾野町の3市1町が「表富士周遊道路における消防相互応援に関する協定」を締結。
昭和45年 7月 6日	上野地区から救急車寄贈。救急第2号車として西出張所に配置。
昭和46年 7月29日	自動車ポンプいすゞ140馬力を購入、消防署西出張所に配置。
昭和46年 9月 1日	富士宮市・富士市、「消防相互応援協定」を締結。
昭和48年 2月14日	水槽付消防ポンプいすゞ140馬力を購入、消防署西出張所に配置。
昭和48年 4月 1日	富士宮市芝川町消防組合設立。条例定数を92名とした。
昭和49年 2月12日	芝川出張所開設に伴いトヨタ1,900cc2B型救急車購入。
昭和49年 2月27日	芝川出張所開設に伴い消防ポンプ自動車ニッサン3,950ccを購入。
昭和49年 3月20日	署指令室増築、建面積 67.74㎡ 延面積 135.48㎡ 消防・救急指令装置完成、一斉指令庁内電話及び専用電話（119番）の集中管理開始。
昭和49年 4月30日	連絡車トヨタランドクルーザー3,870cc購入。
昭和49年 5月 1日	富士宮市芝川町消防組合消防署芝川出張所開設。
昭和49年 7月 1日	富士宮市芝川町消防組合消防本部に管理課・予防課を設置。
昭和50年 3月31日	救急車トヨタ1,990cc2B型購入、西出張所に配置。
昭和51年 3月 8日	署・車庫（梯子車用）増築97.5㎡ 梯子車35メートル級本署に配置。
昭和52年 3月 1日	救助訓練塔建設。
昭和52年 3月 4日	富士宮市芝川町消防組合消防本部・富士宮市消防団は、消防庁長官から竿頭綬を授与された。
昭和52年 3月31日	救急車トヨタ1,990cc2B型購入、本署に配置。
昭和52年 3月31日	赤バイ・スズキ125cc3台 後藤誠氏寄贈、本署および2出張所に配置。
昭和52年 4月 1日	通信指令室が通信統制室に改称。
昭和52年12月21日	予防連絡車、三菱ジープJ36型購入。
昭和53年 3月13日	水槽付消防ポンプ自動車（FK115F型）日本損害保険協会寄贈、本署に配置。
昭和53年 4月 1日	条例定数を107名とした。
昭和53年 6月 1日	同報無線遠隔制御機を通信統制室に設置。
昭和53年 8月 3日	広報車三菱ギャラン 東京海上火災寄贈、消防本部に設置。
昭和53年10月27日	富士宮市芝川町消防組合消防署北出張所開設。 救急車トヨタ1,960cc2B型 富士宮市芝川町消防組合消防署北出張所建設委員会寄贈、北出張所に配置。
昭和54年 3月28日	通信統制室に地図自動検索装置設置。
昭和55年 1月 9日	消防本部車庫（公用車用）新築、建築面積57.5㎡
昭和55年 2月28日	消防ポンプ自動車いすゞCD-I型購入、本署に配置。
昭和55年 3月14日	指令車ニッサンワゴン購入。

概要

総務

火災

予防

警防

通信・指令

救助

救急

応援協定

消防団

防火協力団体

昭和55年	4月	1日	条例定数を115名とした。	
昭和55年	4月	1日	消防団22個分団、定数650名。	
昭和55年	8月	27日	連絡車トヨタコロナ 富士宮市芝川町危険物安全協会寄贈、消防本部に配置。	
昭和55年	9月	1日	消防本部の住所が町名整備によって、富士宮市田中町540番地に変更。	
昭和55年	12月	6日	化学消防ポンプ自動車1型日野FD171購入、本署に配置。	
昭和56年	3月	26日	連絡車ダイハツハイゼットバン 携帯局1基 滝川公夫氏寄贈、消防本部に配置。	
昭和56年	4月	1日	通信統制室を廃室し、警防課を設置。	
昭和56年	4月	1日	条例定数を130名とした。	
昭和57年	2月	9日	消防本部事務室増築、34.402m <sup>2</sup>	
昭和57年	4月	22日	救急車ニッサンキャラバン1, 980cc2B型購入、西出張所に配置。	
昭和58年	12月	13日	救助工作車日野FD172購入、本署に配置。	
昭和59年	1月	12日	救急車ニッサンキャラバン2B型 芝川町から贈与、芝川出張所に配置。	
昭和59年	3月	15日	消防署、望楼解体。	
昭和59年	3月	29日	救急車トヨタハイエース2B型購入、本署に配置。	
昭和59年	11月	20日	消防用気象観測装置を設置。	
昭和59年	12月	12日	水槽付消防ポンプ自動車いすゞ購入、西出張所に配置。	
昭和60年	3月	22日	消防ポンプ自動車いすゞCD-I型 芝川町から贈与、芝川出張所に配置。	
昭和60年	6月	29日	トラック三菱キャンター購入、消防本部に配置。	
昭和60年	11月	26日	防火広報車ニッサンキャラバン、日本防火協会寄贈、消防本部に配置。	
昭和61年	2月	7日	救急車ニッサンキャラバン2B型、日本自動車工業会寄贈。北出張所に配置。	
昭和61年	2月	27日	連絡車三菱軽四3台購入、各出張所に配置。	
昭和61年	3月	8日	複信用無線機(救急波)設置、基地局1基、移動局4基。	
昭和62年	2月	26日	梯子車の分解整備を実施。	
昭和62年	3月	30日	赤バイ・スズキ400cc 2台購入、西出張所、芝川出張所に配置。	
昭和62年	3月	31日	広報車三菱パジェロ購入、消防本部に配置。	
昭和62年	4月	1日	静岡県消防相互応援協定を締結。条例定数を138名とした。	
昭和62年	8月	18日	指令車トヨタクラウン購入、消防本部に配置。	
昭和62年	9月	7日	火災発生時の電話照会に対するため、テレホンサービス(5回線)を導入。	
			昭和63年9月1日、日本損害保険協会から、水槽付消防ポンプ自動車(P-FK417F)が寄贈され、本署に配置。	
平成	元年	2月	23日	連絡車トヨタカローラ購入、消防本部に配置。
平成	元年	12月	18日	救急車トヨタ2B型購入、西出張所に配置。
平成	2年	3月	8日	富士宮市芝川町消防組合消防本部・富士宮市消防団は、消防庁長官から表彰旗を授与された。
平成	2年	8月	24日	連絡車スバルを購入、本署に配置。
平成	3年	2月	20日	水槽付消防ポンプ自動車いすゞFRR32購入、北出張所に配置。
平成	3年	3月	28日	芝川出張所(延462.85m <sup>2</sup> )が芝川町長貫756-1に移転。
平成	3年	4月	1日	広報車トヨタスターレット 遠藤好子氏寄贈、消防本部に配置。
平成	3年	11月	1日	消防本部、市役所新庁舎に移転、業務開始。
平成	4年	3月	25日	警防課指令係 消防緊急通信指令施設完成、業務開始。
平成	5年	2月	16日	救急3号車、ニッサン2B型購入、芝川出張所に配置。
平成	5年	2月	20日	大型水槽車、10,000ℓいすゞ93購入、消防署に配置。
平成	5年	4月	1日	定数条例を160名とした。
			当直司令を廃止し副署長に、当直主任を廃止し係長とする。	
			主査制度を開始。完全週休二日制を開始。	
			高度救急処置用資器材(9項目)一式を購入。(消防署救急車に積載)	
			大型救助用器具一式を購入。	
平成	5年	10月	24日	消防組合発足20周年記念フェスティバルを開催。

平成 7年 3月 16日	消防署西出張所を光町16番5号から宮原1番地の22へ移転、消防業務開始。(鉄筋コンクリート2階建て 延面積577.2㎡)	概要 業務 火災 予防 警防 通信・指令 救助 救急 応援協定 消防団 防火協力団体
平成 7年 3月 10日	高度救急処置用資器材(9項目)一式を購入。(西出張所及び芝川出張所救急車に積載)	
平成 7年 4月 1日	主幹制度を開始。	
平成 8年 1月 23日	消防ポンプ自動車いすゞ(CD-II)購入。[更新] 西出張所に配置。「大型救助用器具積載車」	
平成 8年 1月 31日	高規格救急車(トヨタ)を購入。消防署に配置。	
平成 8年 12月 20日	地震対策救助資器材(大型救助用器具)一式購入。	
平成 9年 3月 6日	化学消防ポンプ自動車I型購入。[更新]	
平成 9年 4月 1日	組織機構改革により二署制を導入し、従来の消防署本署を中央消防署とし、西出張所を西消防署とした。また、出張所の名称を分署に改めた。	
平成 9年 4月 1日	富士宮市芝川町消防組合中央消防署東分署開設。 分署長以下13名。水槽付消防ポンプ自動車・救急車ニッサン2B型(財団法人日本消防協会から寄贈)・連絡車を配置。	
平成 9年 12月 10日	救急車(2B型)を購入(更新)西消防署に配置。	
平成 9年 12月 11日	水槽付消防ポンプ自動車(I-B型)を購入(更新)西消防署に配置。	
平成 10年 2月 27日	消防ポンプ自動車(CD-I型)を購入(更新)中央消防署芝川分署に配置。	
平成 11年 10月 20日	地震対策用50ccバイク7台を各署々に配置。	
平成 11年 12月 22日	高規格救急車(ニッサン)を購入(更新)西消防署に配置。	
平成 12年 4月 1日	組織機構改革により警防課指令係を警防課情報指令室と改めた。	
平成 12年 6月 20日	中央消防署を田中町540番地から源道寺町5番地の1へ移転。 (鉄筋コンクリート3階建て延面積1,606.78㎡)	
平成 12年 7月 10日	山岳救助隊を発足(隊員7名)。	
平成 13年 3月 19日	救助工作車(II型)を購入(更新)中央消防署に配置。	
平成 14年 7月 12日	指揮車(ニッサン・ADバン)を購入、西消防署に配置。	
平成 15年 1月 30日	高規格救急車(ニッサン)を購入(更新)中央消防署芝川分署に配置。	
平成 15年 4月 1日	条例定数を161名とした。	
平成 16年 3月 8日	連絡車スバルS4WD購入、北分署に配置。	
平成 16年 3月 31日	日本消防協会から指揮車が寄贈され消防本部に配置。	
平成 16年 3月 31日	西消防署上野分署落成式。	
平成 16年 4月 1日	条例定数を163名とした。	
平成 16年 4月 1日	富士宮市芝川町消防組合西消防署上野分署開設。 分署長以下13名。水槽付消防ポンプ自動車・救急車トヨタ2B型・連絡車を配置。	
平成 17年 1月 7日	梯子車(30m級)を購入(更新)中央消防署に配置。	
平成 17年 1月 14日	救急車(2B型)を購入(更新)中央消防署東分署に配置。	
平成 17年 12月 22日	高規格救急車を購入(更新)中央消防署に配置。	
平成 18年 12月 25日	指揮車を購入(更新)中央消防署に配置。	
平成 19年 4月 1日	条例定数を167名とした。	
平成 20年 2月 18日	北分署水槽付消防ポンプ自動車(I-B型)を更新。	
平成 20年 8月 22日	査察車を購入(更新)、消防本部に配置。	
平成 21年 11月 18日	高規格救急車を購入(更新)西消防署に配置。	
平成 22年 2月 5日	J A 共済静岡県本部から高規格救急車2台が寄贈され西消防署及び北分署に配置。	
平成 22年 3月 22日	富士宮市芝川町消防組合を解散。	
平成 22年 3月 23日	富士宮市と芝川町の合併により富士宮市消防本部とした。	
平成 22年 3月 23日	条例定数を163名とした。	
平成 22年 3月 23日	富士宮市と芝川町の合併により富士宮市消防団は28個分団、定員810名。	
平成 23年 3月 11日	東日本大震災に緊急消防援助隊静岡県隊として救急部隊・後方支援部隊、計	

		24名を派遣。
平成23年	3月16日	大型水槽車(Ⅱ型)を購入(更新)、西消防署に配置。
平成23年	12月1日	資機材搬送車を購入、中央消防署に配置。
平成24年	2月2日	指令車を購入(更新)、消防本部に配置。
平成24年	3月8日	広報車を購入(更新)、消防本部に配置。
平成24年	4月1日	消防本部管理課を消防本部消防総務課と課名変更した。
平成24年	4月6日	富士宮市防火安全協会から寄贈。消防本部に査察車を配置。
平成24年	7月13日	富士市及び富士宮市消防救急広域化協議会設立。
平成25年	3月26日	水槽付消防ポンプ自動車(Ⅰ-B型)を購入(更新)、中央消防署に配置。
平成25年	4月1日	条例定数を168名とした。
平成26年	1月28日	高規格救急車を購入(更新)中央消防署に配置。
平成26年	3月14日	西消防署仮眠室及び女性対応施設増築。
平成26年	4月1日	富士市・富士宮市消防通信指令事務協議会設立。
平成27年	2月18日	水槽付消防ポンプ自動車(Ⅰ-B型)を購入(更新)、西消防署に配置。
平成27年	2月20日	水槽付消防ポンプ自動車(CD-I型)を購入(更新)、中央消防署芝川分署に配置。
平成27年	4月1日	条例定数を175名とした。
平成27年	9月8日	情報指令室を弓沢町150から富士市・富士宮市消防指令センター(富士市永田町1丁目100 富士市消防防災庁舎5階)へ移転、回線切り替え及び無線のデジタル化移行。(平成27年9月10日運用開始)
平成28年	1月20日	高規格救急車を購入(更新)、中央消防署芝川分署に配置。
平成28年	2月17日	水槽付消防ポンプ自動車(Ⅰ-B型)を購入(更新)、中央消防署東分署に配置。
平成28年	3月24日	西消防署北分署を上井出890番地の1から上井出2256番地へ移転、訓練塔及び臨時ヘリポート設置。 (鉄筋コンクリート2階建て 延面積650.47㎡)
平成29年	2月27日	救助工作車Ⅲ型を購入(増強)、中央消防署に配置。
平成29年	3月21日	指揮車を購入(更新)、中央消防署に配置。
平成30年	2月8日	団指揮広報車を購入(更新)、消防本部に配置。
平成30年	3月16日	水槽付消防ポンプ自動車(CD-I型)を購入(更新)、西消防署上野分署に配置。
平成30年	3月26日	高規格救急車を購入(更新)、西消防署に配置。
平成31年	2月19日	化学消防ポンプ自動車Ⅱ型を購入(更新)、西消防署に配置。
平成31年	2月25日	一般社団法人日本損害保険協会から高規格救急車が寄贈され、西消防署上野分署に配置。
平成31年	3月22日	高規格救急車を購入(更新)、中央消防署東分署に配置。
令和2年	4月1日	組織機構改革により警防課を警防救急課に、予防課予防指導係と危険物係を予防審査係と予防査察係に改めた。

## 主な災害歴

明治 8年 8月	初音町（元城町）から出火し、神田町（大宮町）・仲宿（中央町）・連尺（東町）・青柳（東町）・伝馬町（東町）の330戸を焼失。
明治 8年 9月11日	新立町（西町）から出火し、250戸を焼失。
明治 9年11月	山道（元城町）から出火し、12戸を焼失。
明治13年 1月	神田町（大宮町）から出火し、12戸を焼失。
明治14年11月	西新町（宮町）から出火し、西町地区の大半を焼失。
大正 9年 1月23日	初音町（元城町）から出火し、196戸を焼失。
昭和 5年 2月10日	野中（現第9分団詰所付近）から出火し、50戸を焼失。なお、強風により星山部落に飛火して1戸を焼失。
昭和 7年 4月21日	「大宮町の大火」 栄町（大宮町）から出火し、神田川以東の1,102戸全焼、罹災者4,914名、死傷者4名、負傷者98名。
昭和 9年10月27日	貴船町から出火し、38戸延べ3,712㎡を焼失。
昭和26年 4月25日	淀師中村から出火し、12戸を焼失。
昭和30年 2月23日	阿幸地地先から出火し、8戸延べ1,307㎡を焼失。
昭和31年 2月22日	錦町の市立富士宮病院から出火し、延べ1,518㎡を焼失。
昭和40年 1月15日	松山町（西町）から出火し、8戸延べ1,114㎡を焼失。
昭和41年 9月25日	台風26号によって瞬間最大風速50mを記録し重軽傷者41名、住家全壊66戸、半壊2000戸の被害を受けた。
昭和47年 7月12日	梅雨前線の影響から集中豪雨が襲い、堤防決壊17ヶ所、橋梁流出11ヶ所、床下浸水363戸等の被害を受け、上井出地先の老人ホームに老人33名が取り残された。
昭和51年 9月 8日	台風17号によって河川等決壊21箇所、井之頭中学校、民家等の床上浸水30戸の被害を受けた。
昭和53年 1月 5日	貴船町から出火し、8戸延べ745㎡を焼失。
昭和53年 7月16日	富士宮市立富士宮第一中学校校舎等5棟2,490㎡を焼失。
昭和55年12月 4日	大中里地先から出火し、8戸延べ706㎡を焼失。
平成 3年 6月15日	国道139号線バイパスで大型トレーラーが暴走。車両7台が焼失、死者8名。
平成 8年 3月 6日	元城町地先から出火し、11戸延べ504㎡を焼失。
平成15年 3月 9日	大中里地先から出火し、9戸延べ279㎡を焼失。
平成15年 6月23日	大中里地先で不法に保管されていた産業廃棄物入りのドラム缶、約600本から硫酸ピッチ2,000ℓが漏洩、高濃度の亜硫酸ガスが発生した。
平成16年 7月30日	淀師、淀平町、大宮町地内で連続して不審火火災が5件発生。（淀平町、大宮町の火災は放火犯が逮捕された。）
平成21年 8月11日	駿河湾を震源とするM6.5の地震が発生し、市内で震度5強を観測した。
平成23年 3月15日	静岡県東部を震源とするM6.4の地震が発生し、市内で震度6強を観測し、軽症17名、一部損壊549棟。
平成27年 4月17日	国道52号線で危険物1万8千リットルを積載したタンクローリーが転覆。車両に積載していた灯油が漏れだし、境川に流出した。



# 総務



「大空に舞う」

令和2年消防出初式写真コンテスト

消防長賞

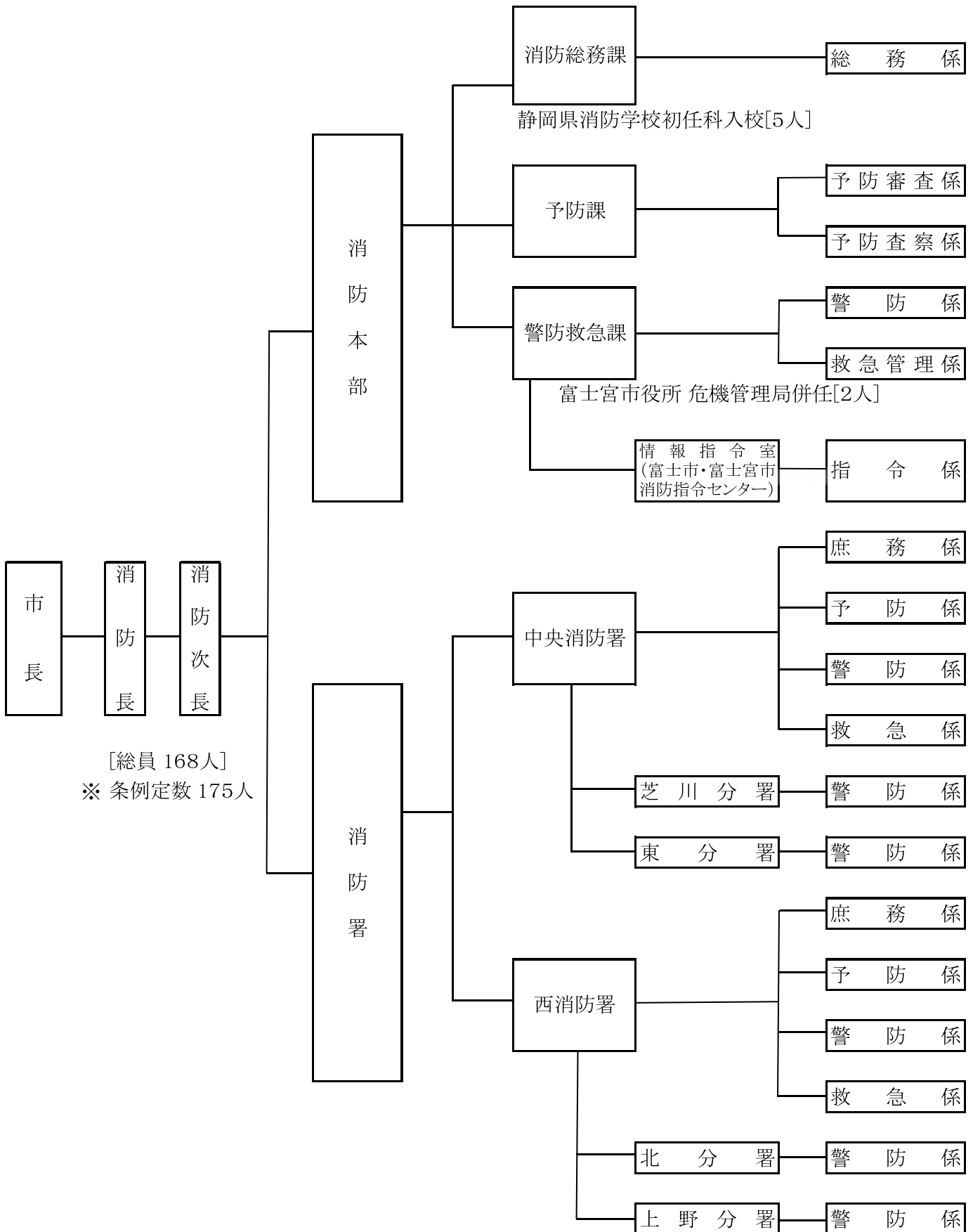
仁藤 政孝 氏





# 富士宮市消防本部組織機構図

令和2年4月1日現在



概要

総務

火災

予防

警防

通信・指令

救助

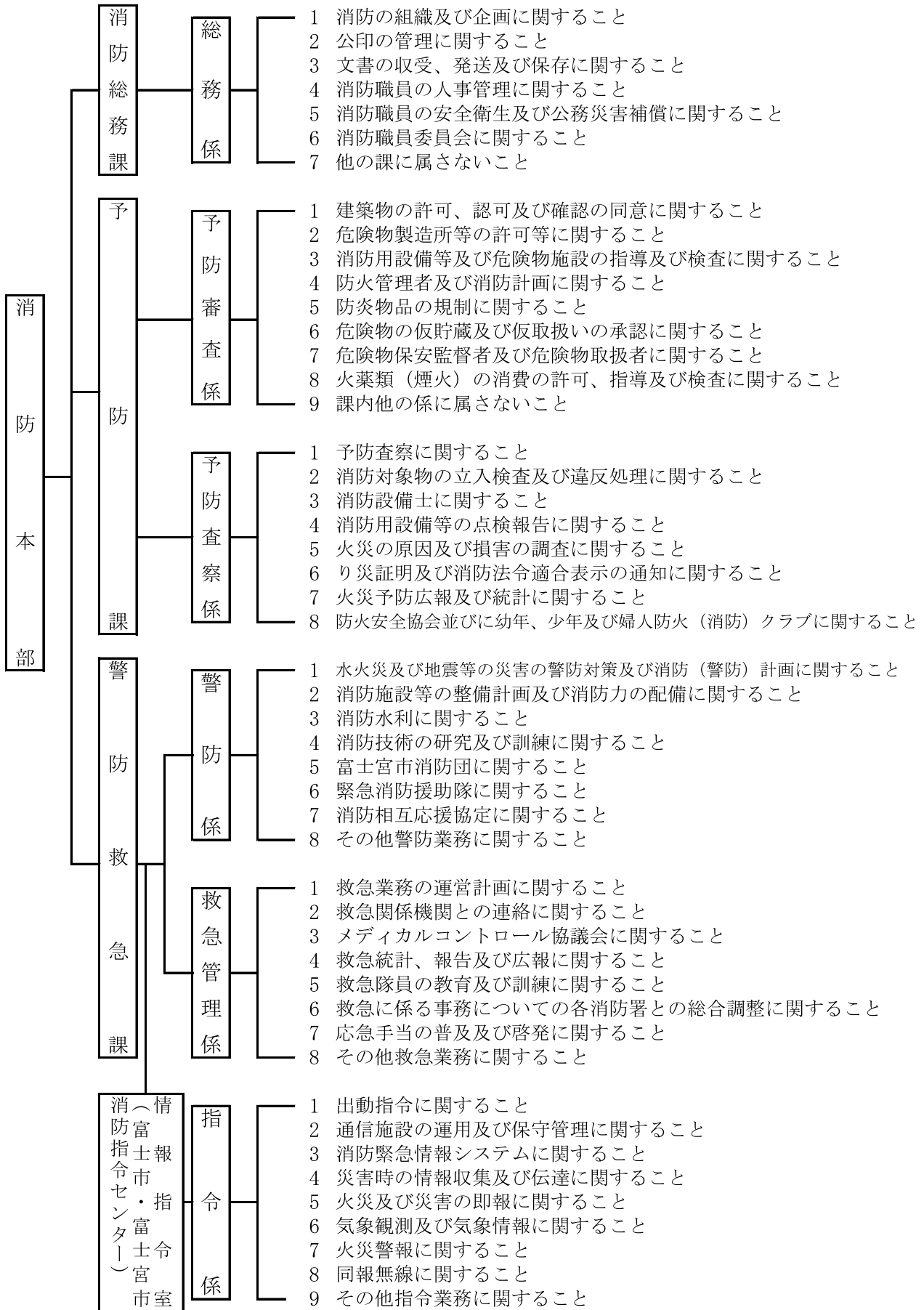
救急

応援協定

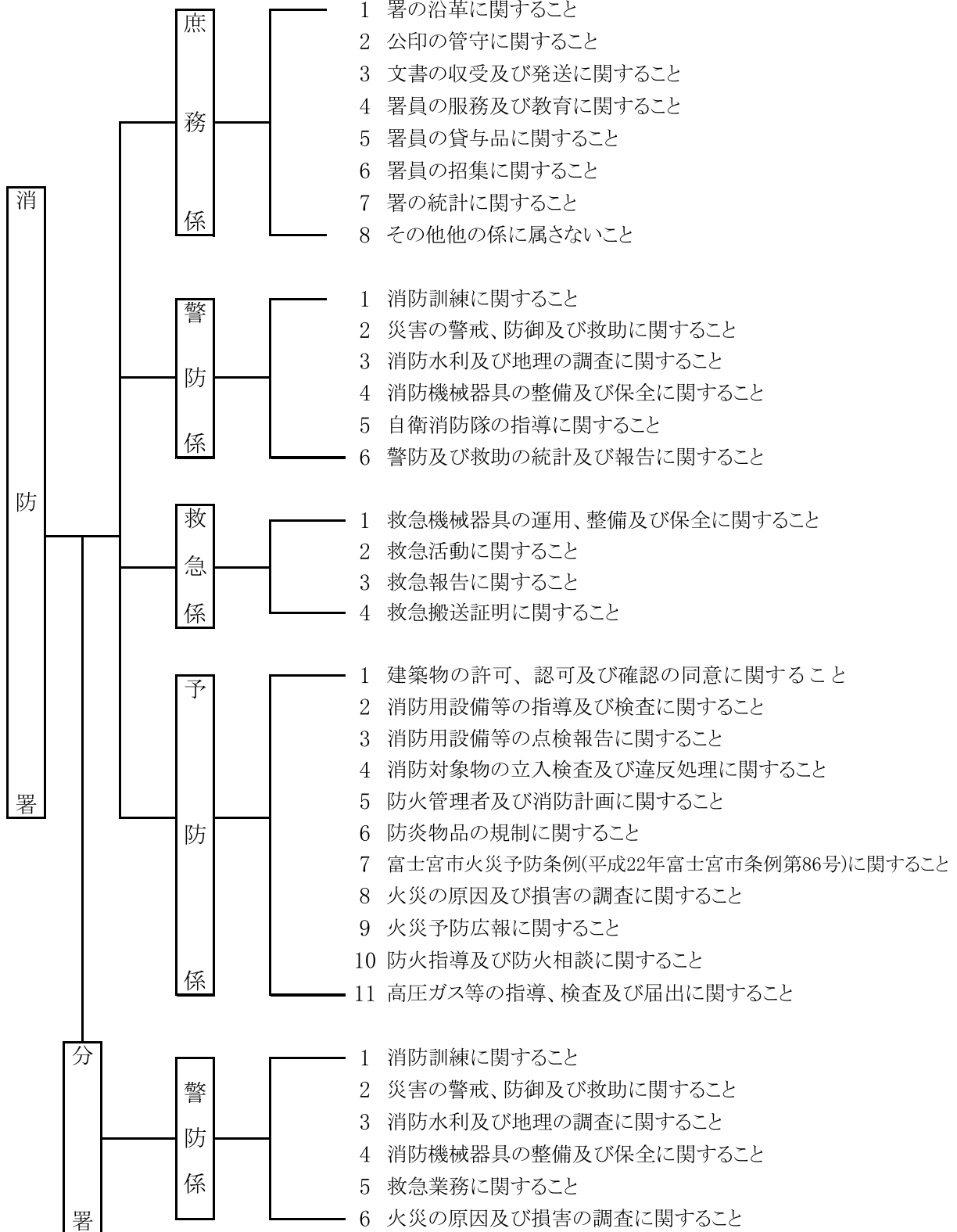
消防団

防火協力団体

消防本部事務分掌



消防署事務分掌



概要

総務

火災

予防

警防

通信・指令

救助

救急

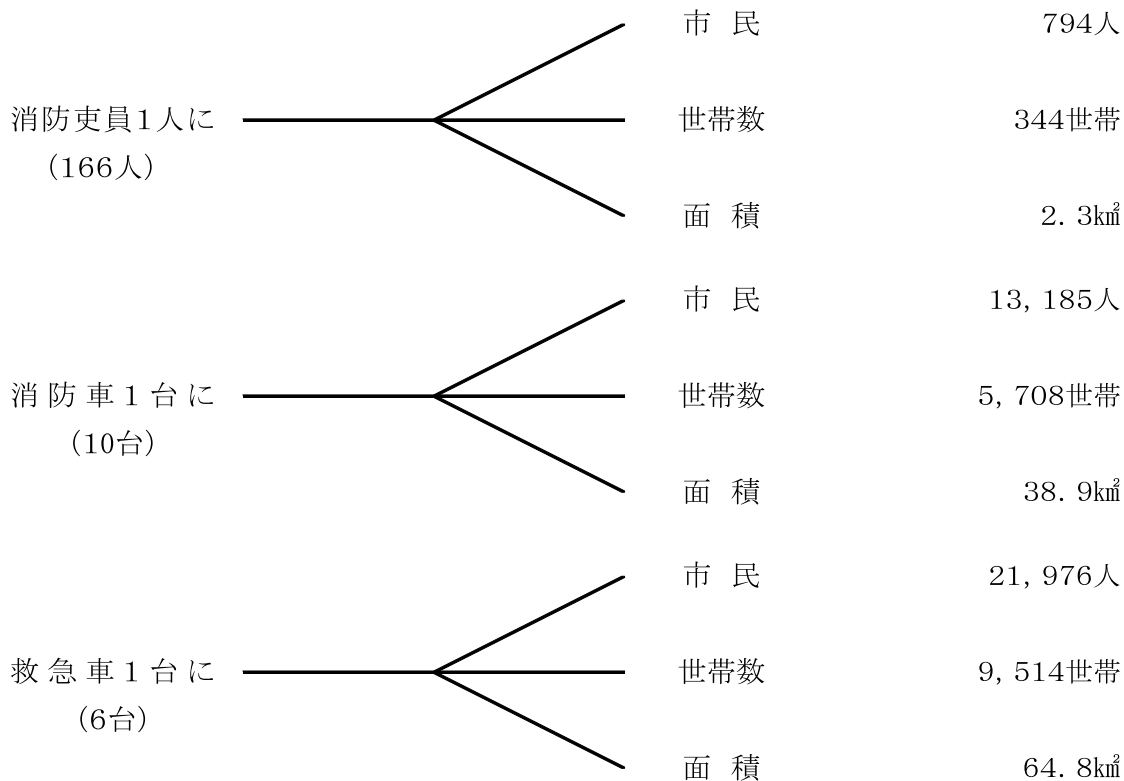
応援協定

消防団

防火協力団体

住民と常備消防力

令和2年4月1日現在



歴代消防長

代	氏名	在任期間	備考	代	氏名	在任期間	備考
初代 ~ 2代	小室 鶴松	自 S25.11.1 至 S30.3.31	市長兼務	16代	八橋 俊顕	自 H3.4.1 至 H8.3.31	
3代	上杉増太郎	自 S30.5.1 至 S33.11.14	市長兼務	17代	四條 洋成	自 H8.4.1 至 H16.3.31	
4代	渡辺 定信	自 S33.12.21 至 S35.2.6	市長兼務	18代	齋藤 吉董	自 H16.4.1 至 H19.3.31	
5代	道岡 三郎	自 S35.2.7 至 S35.11.1	助役兼務	19代	渡邊 喜哉	自 H19.4.1 至 H20.3.31	
6代 ~ 8代	山川 斌	自 S35.11.2 至 S47.3.19	市長兼務	20代	佐野 裕克	自 H20.4.1 至 H22.3.31	
9代	植松 義忠	自 S47.3.20 至 S48.3.31	市長兼務	21代	渡辺 栄	自 H22.4.1 至 H23.3.31	
10代	深沢 文男	自 S48.4.1 至 S48.6.30	助役兼務	22代	小倉 辰彦	自 H23.4.1 至 H25.3.31	
11代	山本 晃	自 S48.7.1 至 S50.3.31		23代	佐野 則男	自 H25.4.1 至 H27.3.31	
12代	佐野 三郎	自 S50.4.1 至 S53.3.31		24代	望月 正三	自 H27.4.1 至 H30.3.31	
13代	石川 嘉浩	自 S53.4.1 至 S59.3.31		25代	蛭川 公雄	自 H30.4.1 至 現在	
14代	佐野 久	自 S59.4.1 至 S61.3.31				自 至	
15代	佐野 和彦	自 S61.4.1 至 H3.3.31				自 至	

消防職員の階級別構成

令和2年4月1日現在

階 級		合 計	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	そ の 他	
											所 属
職 員 合 計		168	1	7	38	30	20	45	25	2	
消 防 長		1	1								
消 防 次 長		1		1							
消 防 本 部	消 防 総 務 課	課 長	(1)	(1)							
		総 務 係	4		1	2				1	
		課 付・研 修	5						5		
	予 防 課	課 長	1		1						
		予 防 審 査 係	4			1	1	1	1		
		予 防 査 察 係	4			1	2		1		
	警 防 救 急 課	課 長	1		1						
		警 防 係	6			2	1	1	2		
		救 急 管 理 係	3		1		1				1
		副センター長	1		1						
	富士市消防指令センター	指 令 係	7			1	3		3		
		計	38	1	5	6	10	2	7	5	2
中 央 消 防 署	中 央 消 防 署	39		1	10	7	6	10	5		
	芝 川 分 署	13			3	2	1	3	4		
	東 分 署	13			3	2	2	4	2		
	計	65		1	16	11	9	17	11		
西 消 防 署	西 消 防 署	31		1	10	2	5	9	4		
	北 分 署	21			3	4	4	7	3		
	上 野 分 署	13			3	3		5	2		
	計	65		1	16	9	9	21	9		

( )は兼務

概 要  
総 務

火 災

予 防

警 防

通 信・指 令

救 助

救 急

応 援 協 定

消 防 団

防 火 協 力 団 体

階級別年齢

令和2年4月1日現在

平均年齢 年齢	人数 37.3	消防監 59.0	司令長 57.7	司令 49.6	司令補 42.1	消防士長 34.2	副士長 29.5	消防士 22.2	その他 41.5
18	1							1	
19	1							1	
20	0								
21	6							6	
22	5							5	
23	9							9	
24	4						3	1	
25	4						3	1	
26	9						8	1	
27	2						2		
28	4						4		
29	11						11		
30	8						8		
31	3					1	2		
32	4					3			1
33	4					3	1		
34	5					5			
35	6					5	1		
36	3				2	1			
37	3				3				
38	3				3				
39	6				4	2			
40	2				2				
41	0								
42	3			2	1				
43	2				2				
44	9			4	5				
45	5			4	1				
46	7			6	1				
47	3			1	2				
48	2			1	1				
49	4			2	2				
50	2			2					
51	4			3					
52	1			1					1
53	2			1	1				
54	3			3					
55	1			1					
56	2		1	1					
57	5		2	3					
58	4		2	2					
59	4	1	2	1					
60	2						2		
合計	168	1	7	38	30	20	45	25	2

階級別勤続年数

令和2年4月1日現在

平均年数 勤続年数	人数	消防監	司令長	司令	司令補	消防士長	副士長	消防士	その他
	16.5	35.0	37.5	28.4	20.8	12.3	8.9	2.6	21.5
1年未満	5							5	
1	4							4	
2	5						2	3	
3	3							3	
4	6						2	4	
5	10						4	6	
6	9						9		
7	4						4		
8	5						5		
9	9					3	6		
10	7					3	4		
11	7					2	4		1
12	6					3	3		
13	3					3			
14	5				4	1			
15	4				3	1			
16	3				3				
17	6				3	3			
18	1				1				
19	3			2	1				
20	0								
21	4			3	1				
22	0								
23	1				1				
24	5			2	3				
25	0								
26	15			9	6				
27	3			2	1				
28	2			2					
29	2				2				
30	2			2					
31	3			2	1				
32	3			2					1
33	3			3					
34	3		2	1					
35	2	1		1					
36	4			3			1		
37	1			1					
38	1		1						
39	6		3	3					
40	2		1				1		
41	1			1					
合計	168	1	7	39	30	19	45	25	2

概要

総務

火災

予防

警防

通信・指令

救助

救急

応援協定

消防団

防火協力団体

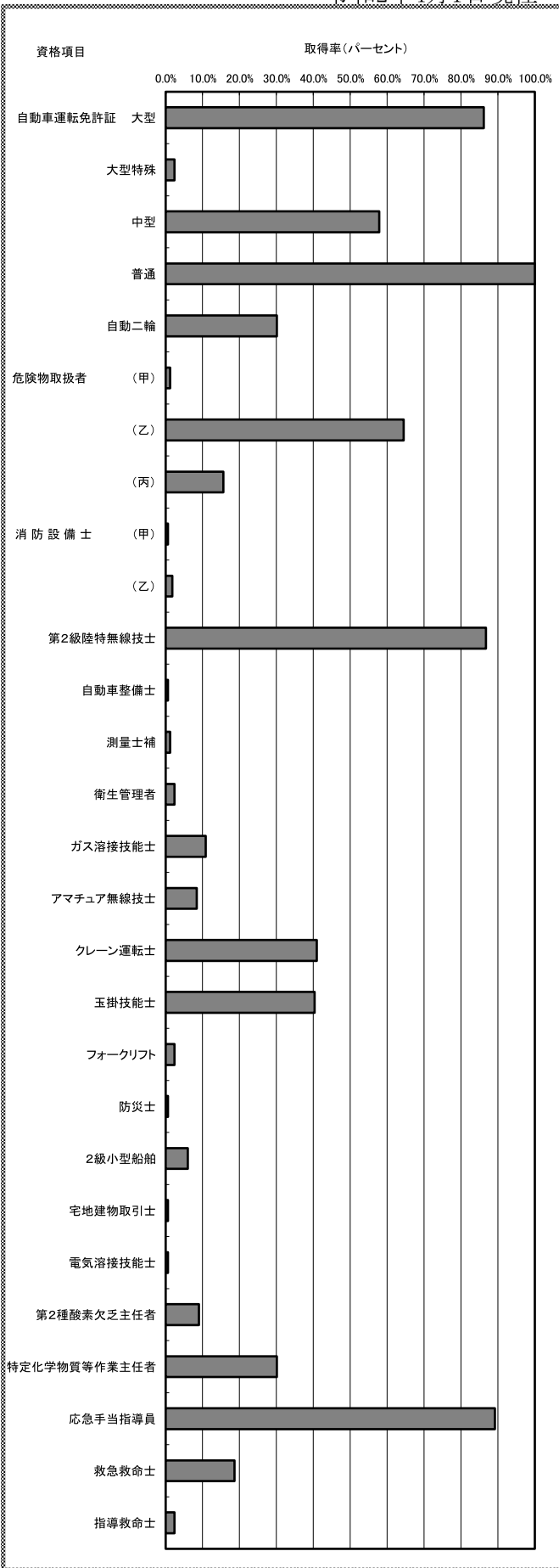


消防吏員各種免許取得状況

消防吏員数 166 名

令和2年4月1日現在

資格	取得数・率	取得数	取得率
自動車運転免許証	大型	143	86.1%
	大型特殊	4	2.4%
	中型	96	57.8%
	普通	166	100.0%
	自動二輪	50	30.1%
危険物取扱者	(甲)	2	1.2%
	(乙)	107	64.5%
	(丙)	26	15.7%
消防設備士	(甲)	1	0.6%
	(乙)	3	1.8%
第2級陸特無線技士		144	86.7%
自動車整備士		1	0.6%
測量士補		2	1.2%
衛生管理者		4	2.4%
ガス溶接技能士		18	10.8%
アマチュア無線技士		14	8.4%
クレーン運転士		68	41.0%
玉掛技能士		67	40.4%
フォークリフト		4	2.4%
防災士		1	0.6%
2級小型船舶		10	6.0%
宅地建物取引士		1	0.6%
電気溶接技能士		1	0.6%
第2種酸素欠乏主任者		15	9.0%
特定化学物質等作業主任者		50	30.1%
応急手当指導員		148	89.2%
救急救命士		33	19.9%
指導救命士		4	2.4%



職 員 研 修 状 況

静岡県消防学校

令和2年3月31日現在

科目別	年度別										合 計
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	
初 任 科	8	8	5	5	10	10	6	3	5	4	64
水 難 救 助 科										2	2
救 助 科	1	1	1	1	1		2	2	2	1	12
予 防 査 察 科	1	1	1	1	1						5
警 防 科		1	1	1	1		2	2	2	2	12
火 災 調 査 科	3	3	2		2		3	3	2	2	20
危 険 物 科			1		1						2
予防査察・危険物科							2	2	2	2	8
救 急 科	5	5	5	6	6	16	7	7	4	4	65
上 級 幹 部 科		1	1	1			1	1	1	1	7
中 級 幹 部 科	1	1	1	1	1		1	1	1	1	9
初 級 幹 部 科										1	1
ビテオ喉頭鏡講習				2	4	4	4	4	2		20
処置拡大追加講習						4	3	3	3	2	15

※平成28年度から予防査察科及び危険物科が予防査察・危険物科に統合

消防大学校及び救急救命研修所

令和2年3月31日現在

科目別	年度別										合 計
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	
幹 部 科							1	1	1		3
警 防 科	1										1
救 助 科		1	1								2
予 防 科					1	1	1				3
火 災 調 査 科								1		1	2
女性活躍推進コース									1		1
救急救命士養成課程	1	1	2	2	2	2	1	2	2	2	17
指 導 救 命 士								2		2	4

受託研修等

令和2年3月31日現在

科目別	年度別										合 計
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	
埼玉県南西部消防本部								1	1	1	3
東 京 消 防 庁							1				1
山岳遭難救助研修					1	1				1	3
緊急自動車安全運転研修							2	1	1	1	5

概  
要

総  
務

火  
災

予  
防

警  
防

通  
信・指  
令

救  
助

救  
急

応  
援協  
定

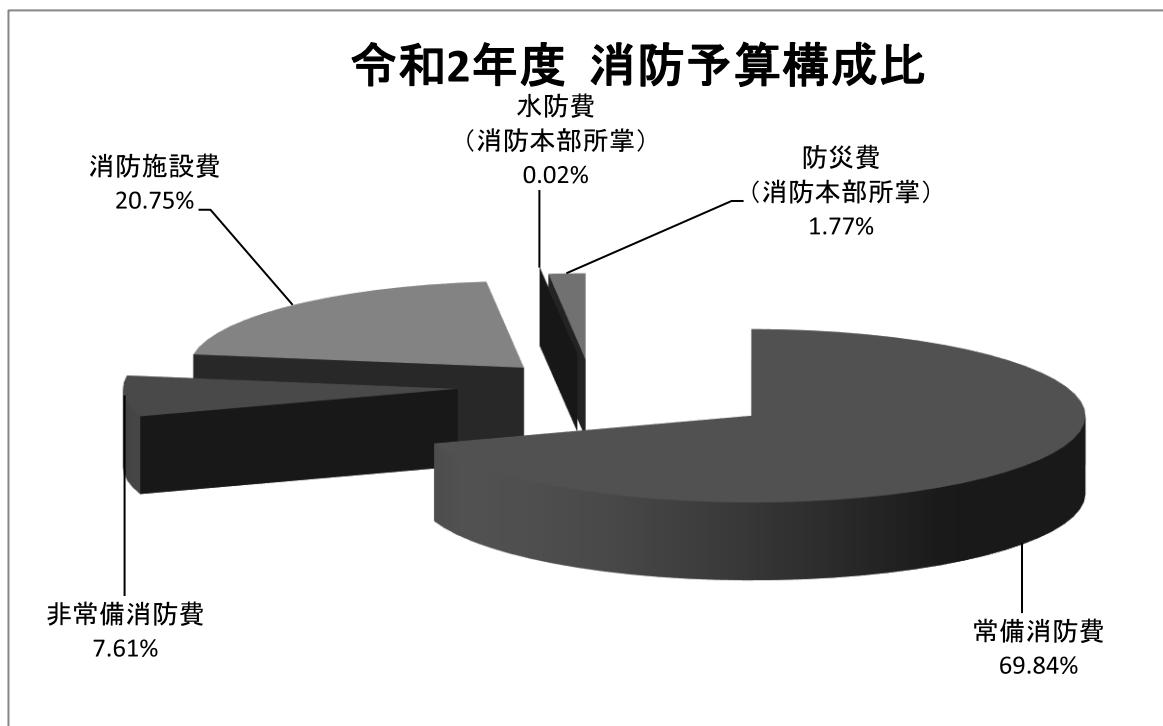
消  
防団

防  
火協  
力団  
体

## 年 度 別 消 防 予 算

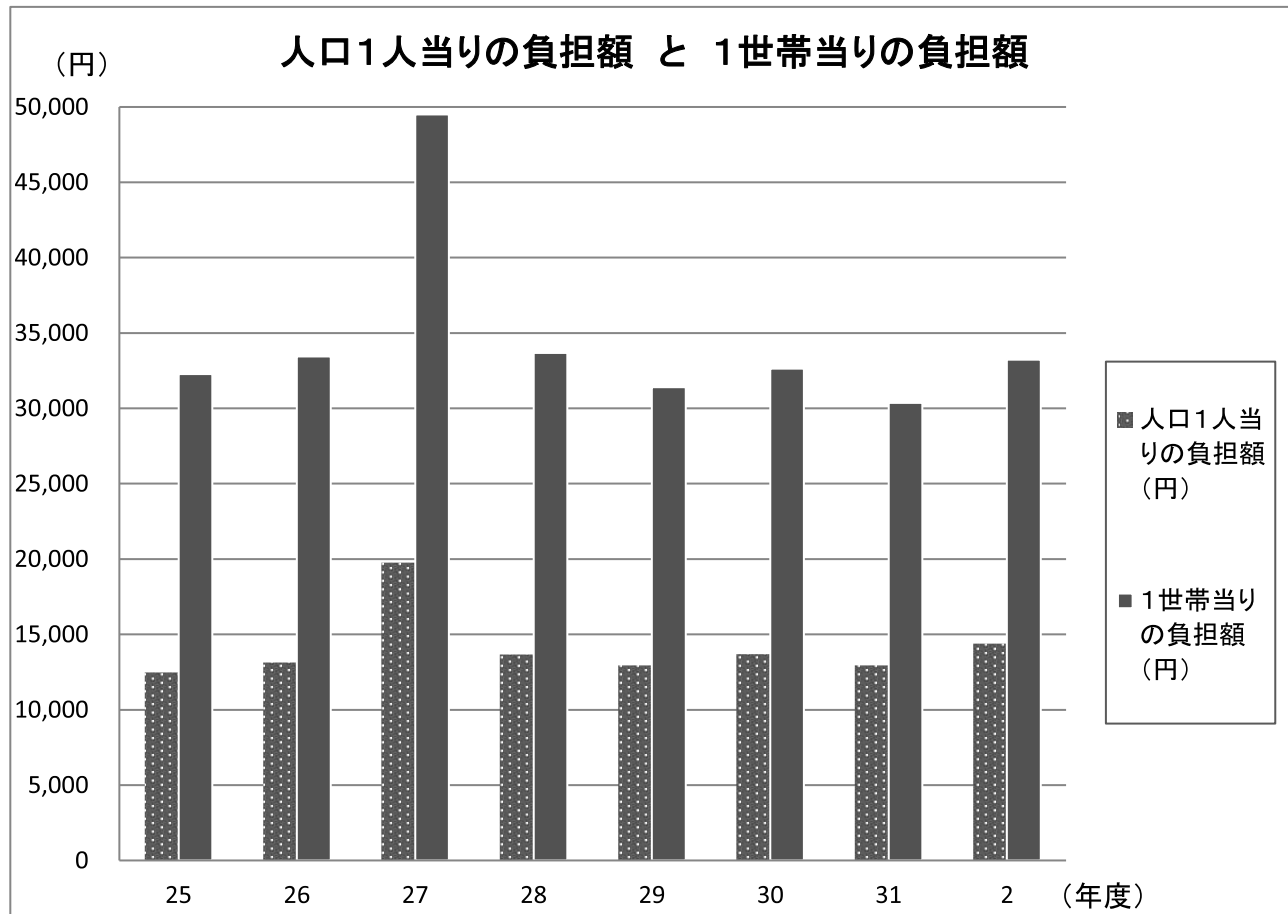
単位 千円

	令和2年度	平成31年度	比 較
市一般会計予算	44,760,000	42,300,000	2,460,000
消防予算	1,897,188	1,716,158	181,030
割合 (%)	4.24%	4.06%	
目	令和2年度	平成31年度	比 較
常備消防費	1,325,089	1,389,258	△ 64,169
非常備消防費	144,388	148,120	△ 3,732
消防施設費	393,632	145,379	248,253
水防費 (消防本部所掌)	470	436	34
防災費 (消防本部所掌)	33,609	32,965	644



## 人口と予算の推移

年度	人口 (人)	世帯数 (世帯数)	消 防 予 算 (千円)	人口1人当りの負担額	1世帯当りの負担額
				(円)	(円)
25	135,492	52,413	1,691,496	12,484	32,272
26	135,256	53,160	1,777,771	13,144	33,442
27	134,866	53,852	2,665,668	19,765	49,500
28	134,274	54,450	1,833,860	13,658	33,680
29	133,989	55,214	1,733,404	12,937	31,394
30	133,290	55,877	1,823,609	13,682	32,636
31	132,651	56,506	1,716,158	12,937	30,371
2	131,853	57,083	1,897,188	14,389	33,236





# 火 災



令和元年度防火ポスターコンクール  
中学生の部 金賞  
富士宮市立富士宮第一中学校  
2年 吉野 帆風 さん



# 火災の概況

令和元年中（1月～12月）の火災概況は、火災件数39件、建物焼損床面積929㎡、損害額74,778千円となり、死者2人、負傷者3人でした。

## 1 火災発生状況

令和元年中の火災件数は39件で、昨年と比較して9件減少しています。これは9.3日に1件の割合で火災が発生したことになります。

## 2 建物火災は全火災の35.9%

火災種別ごとの発生件数は、「建物火災」が14件（35.9%）で毎年高い比率を占めています。その他は「その他の火災」17件（43.6%）、「車両火災」5件（12.8%）、「林野火災」3件（7.7%）となっています。

## 3 建物火災のうち住宅が6件（42.8%）

建物火災の出火件数を用途別にみると、住宅が6件（42.8%）を占めています。建物火災14件中の出火箇所の構成比は、居室3件（21.5%）、台所2件（14.2%）、工場・作業場3件（21.5%）、倉庫・物置5件（35.7%）、その他（敷地内等）1件（7.1%）となっています。

## 4 月別火災発生件数

月別火災発生件数は、1月が7件で最多となっており、以下各月ごと月別火災概要のとおりとなっています。

## 5 建物火災の通報は、携帯電話と固定電話からの通報が多く、初期消火は水道水と消火器が多い状況

火災の覚知状況をみますと、建物火災では、携帯電話からの通報が5件（35.7%）、固定電話からの通報が5件（35.7%）、事後聞知が3件（21.5%）、その他（自己覚知）が1件（7.1%）でした。

また、建物火災時における初期消火状況は、「水道水等を使用する」4件（28.6%）、「消火器」4件（28.6%）、「初期消火なし」4件（28.6%）、「水バケツ」1件（7.1%）、「その他」1件（7.1%）となっています。

## 6 出火原因

主な出火原因は、「たき火」7件、「こんろ」「電灯・電話等の配線」「配線器具」各3件、「電気装置」2件です。

## 7 建物焼損面積

建物焼損床面積は929㎡、焼損表面積は147㎡で、計34棟を焼損しました。

## 8 損害額

火災による損害額は、74,778千円で、前年の42,208千円より約77%増加しました。建物火災の損害額は73,141千円で、全体の損害額の97.8%を占めています。

概要

総務

火災

予防

警戒

通信・指令

救助

救急

応援協定

消防団

防火協力団体



火災の概要

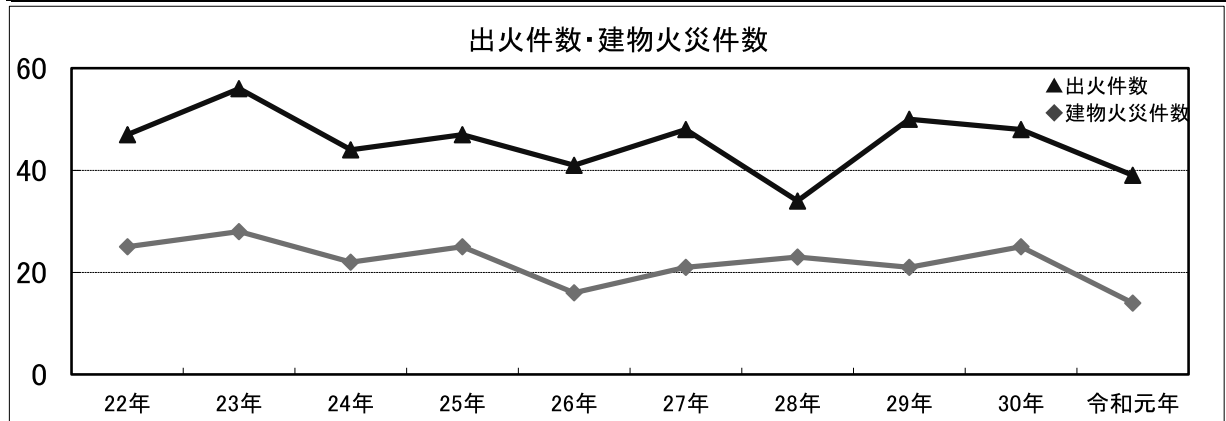
区 分	単位	(A)令和元年 (1月～12月)	(B)平成30年 (1月～12月)	(C)比較 (A)－(B)	増減率 C/B×100 (%)	
出 火 件 数	件	39	48	△ 9	△ 19	
種 別	建物火災	14	25	△ 11	△ 44	
	林野火災	3	3	0		
	車両火災	5	6	△ 1	△ 17	
	船舶火災	0	0	0		
	航空機火災	0	0	0		
	その他の火災	17	14	3	21	
焼 損 棟 数	棟	34	31	3	10	
焼損程度	全 焼	8	6	2	33	
	半 焼	2	1	1	100	
	部 分 焼	9	10	△ 1	△ 10	
	ぼ や	15	14	1	7	
建物焼損面積	床 面 積	m <sup>2</sup>	929	446	483	108
	表 面 積	m <sup>2</sup>	147	28	119	425
林 野 焼 損 面 積	a	27	4	23		
死 者	人	2	1	1		
負 傷 者	人	3	11	△ 8	△ 73	
り 災 世 帯 数	世帯	17	15	2	13	
種 別	全 損	4	2	2		
	半 損	1	1	0		
	小 損	12	12	0	0	
り 災 人 員	人	47	35	12	34	
損 害 額	千円	74,778	42,208	32,570	77	
種 別	建物火災	73,141	34,830	38,311	110	
	林野火災	432	853	△ 421		
	車両火災	663	6,060	△ 5,397	△ 89	
	船舶火災	0	0	0		
	航空機火災	0	0	0		
	その他の火災	542	465	77	17	

過去10年間の火災発生状況

火災発生件数

(単位 件)

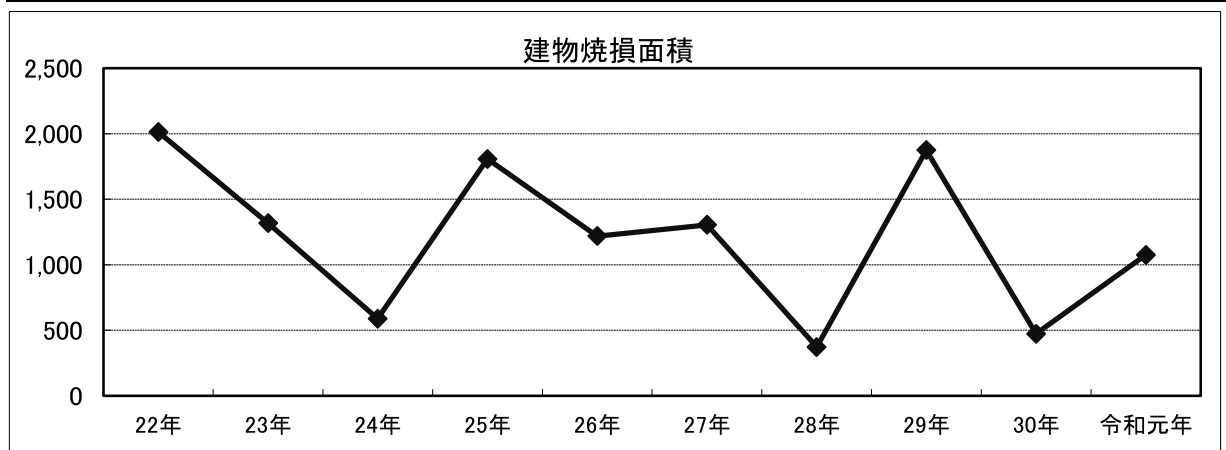
	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	令和元年
出火件数	47	56	44	47	41	48	34	50	48	39
建物火災	25	28	22	25	16	21	23	21	25	14



建物焼損面積

(単位 m<sup>2</sup>)

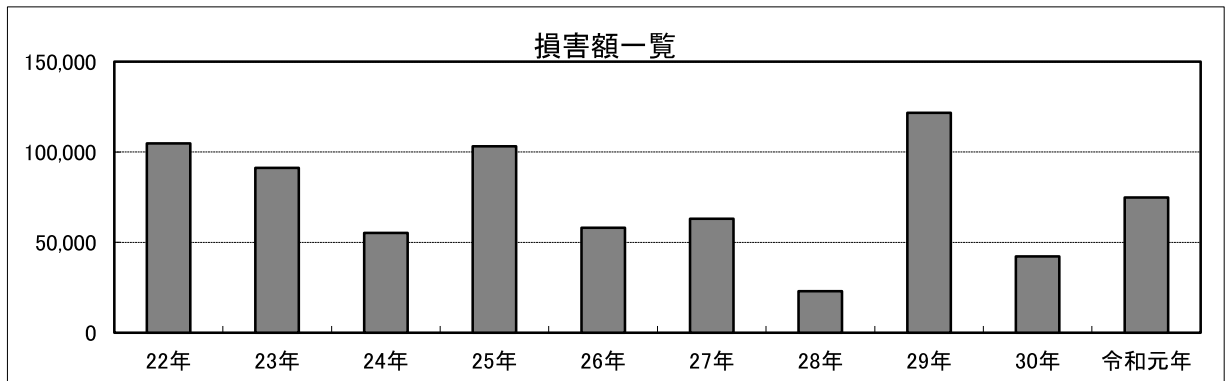
	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	令和元年
焼損面積	2,013	1,317	589	1,808	1,219	1,305	373	1,875	474	1,076



損害額

(単位 千円)

	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	令和元年
損害額	104,790	91,296	55,272	103,238	58,140	62,997	22,947	121,808	42,208	74,778



概要

総務

火災

予防

警防

通信・指令

救助

救急

応援協定

消防団

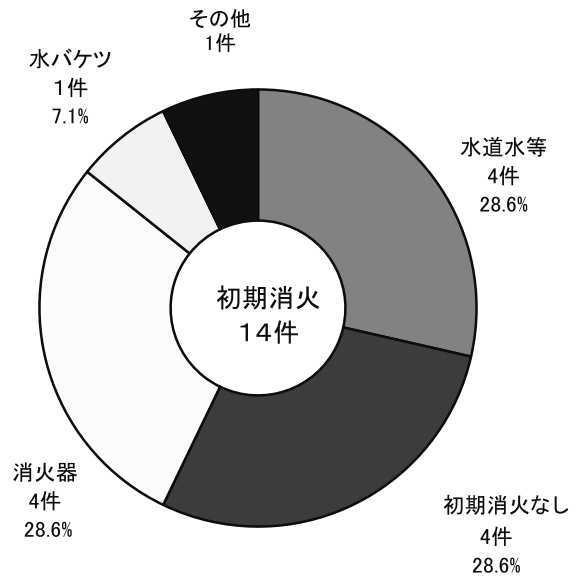
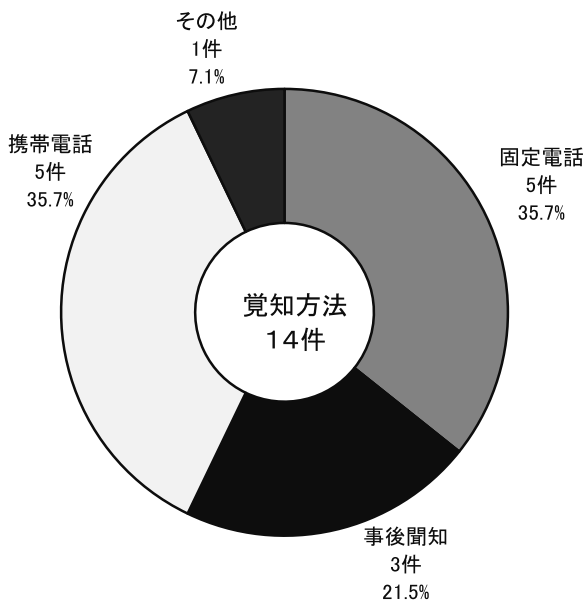
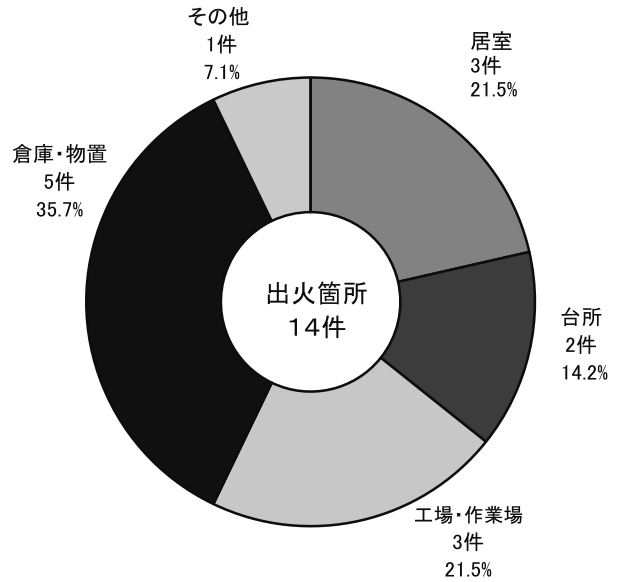
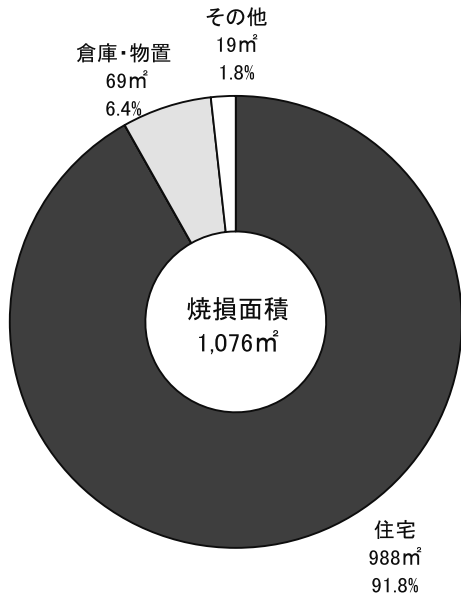
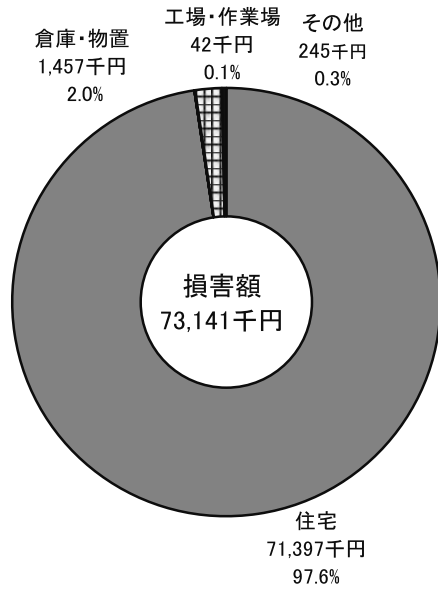
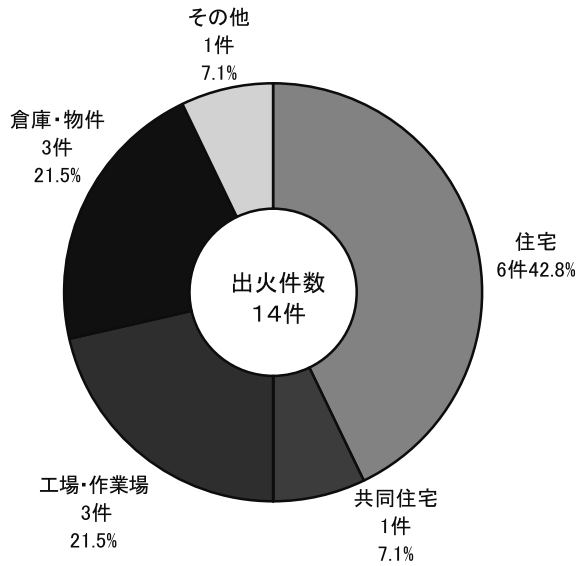
防火協力団体

月別火災の概要

令和元年中

区 分	単位	合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
出火件数	件	39	7	2	5	6	0	2	4	3	0	5	3	2
種 別	建火物災	14	0	0	2	3	0	2	2	0	0	3	1	1
	林火野災	3	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	車火両災	5	1	1	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1
	船火舶災	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	航火空機災	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他の火災	17	5	1	1	3	0	0	2	2	0	1	2	0
焼損棟数	棟	34	0	0	2	15	0	2	2	0	0	11	1	1
焼 損 程 度	全 焼	8	0	0	1	5	0	0	0	0	0	2	0	0
	半 焼	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0
	部分焼	9	0	0	1	3	0	1	0	0	0	4	0	0
	ぼ や	15	0	0	0	7	0	1	1	0	0	4	1	1
建物焼損積	㎡	929	0	0	15	603	0	0	39	0	0	272	0	0
建物焼損積	㎡	147	0	0	0	17	0	19	0	0	0	111	0	0
林野焼損面積	a	27	8	0	19	0	0	0	0	0	0	0	0	0
死 者	人	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0
負 傷 者	人	3	0	0	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0
り災世帯数	世帯	17	0	0	1	7	0	0	0	0	0	8	1	0
種 別	全 損	4	0	0	0	3	0	0	0	0	0	1	0	0
	半 損	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
	小 損	12	0	0	1	4	0	0	0	0	0	6	1	0
り災人員	人	47	0	0	2	19	0	0	0	0	0	22	4	0
損 害 額	千円	74,778	737	5	478	52,452	0	509	911	422	0	18,903	170	191
種 別	建火物災	73,141	0	0	345	52,452	0	509	911	0	0	18,883	0	41
	林火野災	432	299	0	133	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	車火両災	663	298	5	0	0	0	0	0	190	0	20	0	150
	船火舶災	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	航火空機災	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他の火災	542	140	0	0	0	0	0	0	232	0	0	170	0

建物火災の状況(令和元年中)



概要  
 総務  
 火災  
 予防  
 警防  
 通信・指令  
 救助  
 救急  
 応援協定  
 消防団  
 防火協力団体

出火原因別火災件数

令和元年中

原因別		月別												合計	
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12		
出火原因	たばこ			1											1
	こんろ	1			1		1								3
	焼却炉	1													1
	ストーブ				1										1
	こたつ														
	煙突・煙道														
	排気管														
	電気装置		1						1						2
	電灯・電話等の配線							2			1				3
	配線器具							2				1			3
	火あそび														
	マッチ・ライター											1			1
	たき火	2	1	3	1										7
	溶接機・溶断機												1		1
	放火											1			1
	その他	3		1	3				2		3				12
不明						1				1		1		3	
合計		7	2	5	6		2	4	3		5	3	2	39	

出火原因別の推移

年 順位	令和元年		平成30年		平成29年		平成28年		平成27年	
	出火原因	件数	出火原因	件数	出火原因	件数	出火原因	件数	出火原因	件数
1	たき火	7	たき火	5	放火の疑い	6	たき火	5	放火	10
2	こんろ	3	たばこ	3	たき火	5	放火の疑い	3	たばこ	5
	電灯・電話等の配線	3	こんろ	3	こんろ	5	排気管	3	たき火	3
	配線器具	3	放火	3	たばこ	4	配線器具	3	排気管	3
3	電気装置	2	煙突・煙道	2	配線器具	4	電灯・電話等の配線	3		
4	たばこ	1	電気装置	2	電灯・電話等の配線	3	こんろ	2	焼却炉	2
	焼却炉	1	電灯・電話等の配線	2	ストーブ	3	放火	2	こんろ	2
	ストーブ	1	ストーブ	1	電気装置	2	たばこ	1	放火の疑い	2
	マッチ・ライター	1	こたつ	1	排気管	2	火あそび	1	取灰	2
	溶断機	1	火あそび	1			電気機器	1		
	放火	1	マッチ・ライター	1						
	上記以外	12	上記以外	20	上記以外	12	上記以外	9	上記以外	14
	不明	3	不明	4	不明	4	不明	1	不明	5
	合計	39	合計	48	合計	50	合計	34	合計	48

# 予 防



令和元年度防火ポスターコンクール  
小学校の部 金賞  
富士宮市立柚野小学校  
4年 芹澤 結衣 さん



## 予防行政の概要

### 1 防火対象物等の現況

富士宮市は広大な面積を有する中で、市街地とその周辺の宅地化が進み、建築物の高層化や大型工場の進出が増えつつあります。

これらに対応するため、建築物の予防指導は特に重要なものであります。市民が安全で安心して暮らせる消防対策・予防対策に積極的に取り組んでいます。

なお、管内の防火対象物(150㎡以上)は4,727件、危険物許可施設は411件あります。  
(令和2年3月31日現在)

### 2 予防指導目標

- (1) 査察体制の強化と防火指導の推進
- (2) 防火対象物及び危険物施設の出火防止体制の強化
- (3) 住宅用防災機器の設置推進指導
- (4) 防火意識の高揚と防火協力団体の育成

建築確認消防同意等件数

令和元年度

区分 月	総数	新築	増築	用途変更	計画変更	改築	総数の内	
							計画通知	許可同意
4	21	17	1		3		2	
5	14	11			3			2
6	18	18						1
7	24	20	1	1	2			
8	15	13			2		1	
9	15	11	1		3		1	2
10	20	15	1	2	2		1	1
11	15	11	3		1		1	1
12	11	4	6		1		1	2
1	10	10						2
2	13	12	1					
3	17	13			4			2
合計	193	155	14	3	21	0	7	13



防火対象物に関する調べ（延面積150㎡以上）

令和2年3月31日現在

項	用 途 別		数 150㎡以上	中・高層建築物状況							計
				3階	4階	5階	6階	7階	8階以上	31m超	
1	イ	劇場・映画館	3	1							1
	ロ	公会堂・集会場	97	4			1			2	7
2	イ	キャバレー・ナイトクラブの類									
	ロ	遊技場・ダンスホール	11	1	1	1	1				4
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗等									
	ニ	カラオケボックス(個室)・インターネットカフェ・マンガ喫茶(個室)	3								
3	イ	待合・料理店の類	1								
	ロ	飲食店	109	13	1						14
4		百貨店・マーケット・物品販売業を営む店舗又は展示場	259	16	3	2					21
5	イ	旅館・ホテル・宿泊所	151	15	5	2	1		3	1	27
	ロ	寄宿舎・下宿・共同住宅	1,130	236	63	26	4	1	5	1	336
6	イ	病院・診療所・助産所	79	13	3	1	1				18
	ロ	老人短期入所施設・養護老人ホーム・特別養護老人ホーム (主に入所施設)	48	11	7						18
	ハ	老人デイサービス・軽費老人ホーム・老人福祉センター・知的障害者通 園施設・保育所・助産施設・障害支援施設等 (主に通所施設)	71	2							2
	ニ	幼稚園・特別支援学校	11								
7		小・中・高等・各種各学校	147	42	12						54
8		図書館・博物館・美術館	9	2		1					3
9	イ	サウナ等									
	ロ	イ以外の公衆浴場	4								
10		車両の停車場・船舶・航空機の発着場	2								
11		神社・寺院・教会の類	75	2	1						3
12	イ	工場・作業場	825	64	24	19	9	1	2	1	120
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ									
13	イ	自動車庫庫・駐車場	16	1	1						2
	ロ	飛行機・回転翼航空機の格納庫									
14		倉庫	347	9	2	2	1				14
15		前各号に該当しない事業場	539	47	7	2	1	1	1	1	60
16	イ	複合用途防火対象物のうち特定防火対象物を有するもの	525	146	16	4	4		2	1	173
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物	257	76	5	1					82
16の2		地下街									
16の3		準地下街									
17		文化財等	5			1				1	2
18		延長50m以上のアーケード	3								
19		市町村長の指定する山林									
20		総務省令で定める舟車									
合 計			4,727	701	151	62	23	3	13	8	961

防火対象物査察及び防火管理者選任届出・消防計画書届出状況

令和2年3月31日現在

項	用 途 別	消防法第8条 対象物数	令和元年度 査察実施数	令和元年度 査察指示書	防火管理者 選任届出件数	消防計画 届出件数
1	イ 劇場・映画館、演舞場、又は観覧場	3	2	1	2	2
	ロ 公会堂又は集会場	201	1	1	91	91
2	イ キャバレー、カフェー、ナイトクラブの類					
	ロ 遊技場又はダンスホール	8	4	4	8	8
	ハ 性風俗関連特殊営業を営む店舗等					
	ニ カラオケボックス(個室)・インターネットカフェ・マンガ喫茶(個室)	3	2	1	3	3
3	イ 待合、料理店の類					
	ロ 飲食店	115	38	20	76	62
4	百貨店、マーケットその他の物品販売を営む店舗又は展示場	179	61	31	130	114
5	イ 旅館、ホテル又は宿泊所	61	98	12	55	55
	ロ 寄宿舎、下宿又は共同住宅	58	1		20	20
6	イ 病院、診療所又は助産所	24	10	2	24	24
	ロ 老人短期入所施設・養護老人ホーム・特別養護老人ホーム (主に入所施設)	30	3	1	30	30
	ハ 老人デイサービス・軽費老人ホーム・老人福祉センター・知的障害者通園施設・保育所・助産施設・障害支援施設等 (主に通所施設)	48	2		48	48
	ニ 幼稚園・特別支援学校	10			10	10
7	小学校、中学校、高等学校、大学、各種学校	51	1		48	48
8	図書館、博物館、美術館	7	1		7	7
9	イ サウナ等					
	ロ イ以外の公衆浴場	3			3	3
10	車両の停車場、船舶、航空機の発着場					
11	神社、寺院、教会の類	33	9		18	18
12	イ 工場、作業場	81	11	6	72	72
	ロ 映画スタジオ、テレビスタジオ					
13	イ 自動車車庫、駐車場		5			
	ロ 飛行機、回転翼航空機の格納庫					
14	倉庫	4	13	1	2	2
15	前各号に該当しない事業所	48	43		34	34
16	イ 複合用途防火対象物のうち特定防火対象物を有するもの	142	19	2	96	96
	ロ イ以外の複合防火対象物	6	6	1	3	3
16の2	地下街					
16の3	準地下街					
17	文化財等	1	6		1	1
18	延長50m以上のアーケード					
19	市町村長の指定する山林					
20	総務省令で定める舟車					
合 計		1,116	336	83	781	751

概 要

総 務

火 災

予 防

警 防

通信・指令

救 助

救 急

応援協定

消防団

防火協力団体

消防用設備着工・設置届出及び完成検査数

令和元年度

設備種別	処理種別	消防用設備検査等		
		着工届	設置届	完成検査
消 火 器			57	45
屋 内 消 火 栓		4	6	6
スプリンクラー設備		9	14	7
屋 外 消 火 栓		4	6	6
水噴霧消火設備等		2	2	2
漏電火災警報器			1	1
非常警報設備		2	11	5
自動火災報知設備		72	247	77
避 難 器 具		3	6	5
誘 導 灯		2	75	33
連 結 送 水 管				
消防機関へ通報する火災報知設備		8	8	6
そ の 他		4	53	144
合 計		110	486	337

防火・防災管理届出・消防計画届出・各点検結果報告数

令和元年度

届出・報告	月別												合計
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
防火管理者 選解任届	50	13	20	18	5	14	13	4	14	6	18	10	185
防災管理者 選解任届			1				1			1			3
自衛消防組織 設置届			2						1				3
防火対象物点検 結果報告	4		3	4	5	3	7	6	2	4	1	9	48
防災管理点検 結果報告	2				1				2			3	8
消防計画作成 (変更)届	54	32	20	17	7	15	13	4	16	5	19	9	211
消防用設備等 点検結果報告	126	89	131	97	78	77	87	83	79	62	83	132	1,124

煙火消費許可件数

令和元年度

許可数	月別												合計
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
煙火消費許可	1		3	12	2	1	3	2		1	1		26

## 各種届出件数

令和元年度

種 別	月 別													合 計
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
防火対象物使用開始届	9	5	4	16	8	8	9	11	12	8	16	24	130	
少量危険物貯蔵取扱届			8	5			3	6	2	2	7	7	40	
ボイラー設置届		3	5			1	1	1	3	1	3		18	
変電設備届	9		2	5	5	1	4	5	4	3	7	14	59	
発電設備設置届						1	1	3				7	12	
蓄電設備設置届	1		1	1		1		3			2	2	11	
炉設置届			1				1	1					3	
乾燥設備設置届	3		2		2				4	1		1	13	
給湯湯沸設備			1	1	2			10		1	2	1	18	
指定可燃物						1							1	
少量危険物廃止届		1		1	4	2		1				3	12	
催物開催届	2					2							4	
煙火打上届	3		2	11	2	7	9	2	1	2	2		41	
断水等届	1		2		3	1	3	8	3		2	1	24	
道路工事届	43	43	55	51	77	61	68	58	59	48	64	35	662	
たき火届	15	14	12	9	12	18	16	20	17	99	17	11	260	
圧縮アセチレンガス等	3	1	2	7	2		5	1	1	3	3	3	31	
液化石油ガス設備工事届			1				1	1	1	1			5	
露店等の開設届	4	4	3	8	5	8	9	6	5	3	3		58	
合 計	93	71	101	115	122	112	130	137	112	172	128	109	1,402	

概 要

総 務

火 災

予 防

警 防

通 信・指 令

救 助

救 急

応 援 協 定

消 防 団

防 火 協 力 団 体

防火管理新規講習実施状況

令和2年3月31日現在

年 度	資 格 種 別	資 格 取 得 者 数
平 成 2 7 年 度	甲 種	131 人
平 成 2 8 年 度	甲 種	137 人
平 成 2 9 年 度	甲 種	134 人
平 成 3 0 年 度	甲 種	130 人
令 和 元 年 度	甲 種	130 人

防火管理再講習

令和2年3月31日現在

年 度	資 格 種 別	資 格 取 得 者 数
平 成 3 0 年 度	甲 種	15 人
令 和 元 年 度	甲 種	9 人

火災予防広報

令和元年度

項 目	総 数	春の火災 予防運動	秋の火災 予防運動
広 報 ふ じ の み や	2 回	1 回	1 回
新 聞 報 道	2 回	1 回	1 回
協 力 ・ 通 知 文	1,150 件	575 件	575 件
ポスター配布・掲示	1,150 件	575 件	575 件
しょうぼうだより	1 回	回	1 回
庁内放送（市役所）	10 回	5 回	5 回

住民指導実施状況

令和元年度

対象物 指導区分		総 数		自主防災組織 (区会・自治会含む)		その他の団体 (各種学校等)		事 業 所	
		回数	参加人員	回数	参加人員	回数	参加人員	回数	参加人員
訓 練	消火訓練	48	3,850	3	550	14	2,303	31	997
	避難通報 訓 練	10	250	1	50			9	200
教 育	防火防災 教 育 (花火教室含む)	35	4,103			35	4,103		
そ の 他	防火相談 (空家・枯草)	1	4			1	4		
	署内見学	41	1,798			41	1,798		
合 計		135	10,005	4	600	91	8,208	40	1,197

2020年度 全国統一防火標語

**その火事を 防ぐあなたに 金メダル**

概  
要

総  
務

火  
災

予  
防

警  
防

通  
信・指  
令

救  
助

救  
急

応  
援協  
定

消  
防団

防  
火協  
力団  
体

製造所等の許可、完成検査及び廃止届等の数

令和元年度

製造所等 区分		合 計	製 造 所	小 計	屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 外 貯 蔵 所	小 計	給 油 取 扱 所	第 一 種 販 売 取 扱 所	第 二 種 販 売 取 扱 所	移 送 取 扱 所	一 般 取 扱 所		
																		設 置	変 更
許 可	設 置	5		3	2	1						2						2	
	変 更	40	4	5		2		2		1		31	11					20	
	常置場所 の 変 更	転 出	0		0								0						
		転 入	0		0								0						
完 成	設 置	4		3	2	1						1						1	
	変 更	40	4	5		2		2		1		31	10					21	
	当 市 に 転 入	0		0								0							
廃 止 等	廃 止	15		9		2		5		2		6	5					1	
	設 置 許 可 取 消	0		0								0							
増 減 数	設 置	△ 10	0	△ 6	2	△ 1	0	△ 5	0	△ 2	0	△ 4	△ 5	0	0	0	0	1	
	設 置 完 成 検 査	△ 11	0	△ 6	2	△ 1	0	△ 5	0	△ 2	0	△ 5	△ 5	0	0	0	0	0	

危険物施設立入検査等件数

令和元年度

製造所等	月 別													合 計	
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3			
製 造 所														3	3
屋 内 貯 蔵 所	6			1	2	1			1	1	8	8		28	
屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	1	2		1						8	2	15		29	
屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所			2	1						3	3	1		10	
地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	1	4	4	2		5	2	1		6	5			30	
簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所														0	
移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	1	3	4	2		1	2	1		7	2	2		25	
屋 外 貯 蔵 所						1					1			2	
給 油 取 扱 所	3	2	4	2	2	4	1			4	2	3		27	
一 般 取 扱 所	3	1			1	4		1	2	8	8	3		31	
販 売 取 扱 所						1								1	
危 険 物 運 搬 車 両														0	
合 計	15	12	14	9	5	17	5	3	3	37	31	35		186	

数量別危険物施設数

令和2年3月31日現在

製造所等	合計	製造所	貯蔵所									取扱所				
			小計	屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	小計	給油取扱所	第1種販売取扱所	第2種販売取扱所	一般取扱所	
設置許可施設	合計	411	4	268	65	75	18	76	0	27	7	139	69	2	0	68
	5倍以下	132		110	20	15	16	33		23	3	22	4	2		16
	5倍を超え10倍以下	94		53	16	12	1	20		1	3	41	10			31
	10倍を超え50倍以下	114	2	79	23	34	1	20			1	33	15			18
	50倍を超え100倍以下	26	1	18	4	9		2		3		7	6			1
	100倍を超え150倍以下	18		4	2	1		1				14	14			
	150倍を超え200倍以下	9	1	0								8	8			
	200倍を超え1,000倍以下	17		4		4						13	12			1
	1,000倍を超え5,000倍以下	1		0								1				1
	5,000倍を超え10,000倍以下	0		0								0				
	10,000倍を超えるもの	0		0								0				
完成検査済証交付施設	合計	409	4	267	64	75	18	76	0	27	7	138	69	2	0	67
	5倍以下	130		109	19	15	16	33		23	3	21	4	2		15
	5倍を超え10倍以下	94		53	16	12	1	20		1	3	41	10			31
	10倍を超え50倍以下	114	2	79	23	34	1	20			1	33	15			18
	50倍を超え100倍以下	26	1	18	4	9		2		3		7	6			1
	100倍を超え150倍以下	18		4	2	1		1				14	14			
	150倍を超え200倍以下	9	1	0								8	8			
	200倍を超え1,000倍以下	17		4		4						13	12			1
	1,000倍を超え5,000倍以下	1		0								1				1
	5,000倍を超え10,000倍以下	0		0								0				
	10,000倍を超えるもの	0		0								0				

概要  
 総務  
 火災  
 予防  
 警防  
 通信・指令  
 救助  
 救急  
 応援協定  
 消防団  
 防火協力団体



類別危険物施設数

令和2年3月31日現在

類別	製造所等	合計	製造所	貯蔵所							取扱所						
				小計	屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	小計	給油取扱所	第1種販売取扱所	第2種販売取扱所	一般取扱所	
設置許可施設	合計	411	4	268	65	75	18	76	0	27	7	139	69	2	0	68	
	単独	第1類	0		0								0				
		第2類	0		0								0				
		第3類	0		0								0				
		第4類	405	4	264	61	75	18	76		27	7	137	69	2		66
		第5類	1		1	1							0				
		第6類	0		0								0				
混在	5		3	3							2				2		
完成検査済交付施設	合計	409	4	267	64	75	18	76	0	27	7	138	69	2	0	67	
	単独	第1類	0		0								0				
		第2類	0		0								0				
		第3類	0		0								0				
		第4類	403	4	263	60	75	18	76		27	7	136	69	2		65
		第5類	1		1	1							0				
		第6類	0		0								0				
混在	5		3	3							2				2		

2020年度 危険物安全週間推進標語

**訓練で 確かな信頼 積み重ね**

# 警 防



**CBRNE 特殊災害訓練**  
**令和2年2月6日 訓練会場:富士宮市民文化会館**



近年、社会経済情勢の変化の中で、火災等の災害形態も複雑、多様化してきており、その対応はますます困難を極めています。

こうした状況の中で、地域住民の生命、身体、財産を守り、生活の安全を図るため、消防機械器具の近代化、消防水利の整備を積極的に推進し、限られた現有消防設備を有効にかつ最大限に活用し、いかなる災害にも即応することが消防に課せられた使命であります。

これらの任務を遂行する職員の知識、技術の向上を図るべく日夜教育、訓練に励み地域の安全確保に努めています。

## 各種出動状況

令和元年中

種別	出動件数(回)			出動車両(台)			出動人員(人)			
	合計	中央消防署管内	西消防署管内	合計	中央消防署管内	西消防署管内	合計	中央消防署管内	西消防署管内	
火災出動	建物火災	50	25	25	107	49	58	315	138	177
	林野火災	11	5	6	22	8	14	64	21	43
	車両火災	12	6	6	24	9	15	68	23	45
	航空機火災									
	船舶火災									
	その他の火災	20	11	9	38	21	17	119	68	51
	火災出動小計	93	47	46	191	87	104	566	250	316
警戒出動	怪煙	14	8	6	16	10	6	57	38	19
	自火報等	31	11	20	31	11	20	119	45	74
	自然災害	7	4	3	8	5	3	29	18	11
	ガス事故	2	2		6	6		22	22	
	救急応援	478	222	256	479	223	256	1,930	917	1,013
	一般事故	2	1	1	2	1	1	9	4	5
	警戒出動小計	534	248	286	542	256	286	2,166	1,044	1,122
応援出動	2	1	1	2	1	1	8	4	4	
集団救急出動	1		1	4		4	14		14	
危険排除出動	24	9	15	24	9	15	97	36	61	
合計	654	305	349	763	353	410	2,851	1,334	1,517	

## 教育・訓練状況

令和元年中

種別	中央消防署管内	西消防署管内	合計
演習訓練	20	16	36
操縦訓練	118	193	311
機械器具取扱訓練	175	55	230
放水訓練	319	274	593
火災防ぎょ訓練	357	215	572
救急訓練	241	86	327
救助訓練	722	587	1,309
規律訓練	73	71	144
学科教養	590	202	792
山岳訓練	3	4	7
計(回)	2,618	1,703	4,321

消防車両配置状況

令和2年4月1日現在

配置区分	車 両 別	登録番号	会 社 名	年式	ポンプ等製造所名	購入年月日	備 考
消防本部	指令車	富士山803 さ 1053	トヨタ	2011		H 24. 2. 2	エステイマ
	指揮車	富士山803 さ 37	日産	2004		H 16. 4. 23	ブルーバード
	団指揮広報車	富士山803 さ 2456	三菱	2018		H 30. 2. 8	デリカ
	広報車	富士山803 さ 1081	トヨタ	2011		H 24. 3. 8	ハイエース
	査察車	富士山803 さ 41	トヨタ	2008		H 20. 8. 22	サクシード
	災害用バイク	富士宮市 56	ヤマハ	1996		H 8. 2. 19	125cc
	連絡車	富士山481 い 4758	ダイハツ	2012		H 24. 4. 6	ハイゼット
中央消防署	中央山岳救助車	富士山803 さ 278	トヨタ	2006		H 18. 12. 25	ランドクルーザー
	中央資機材車	富士山803 さ 974	いすゞ	2011		H 23. 12. 1	エルフ
	中央梯子車	富士山840 さ 845	日野	2004	モリタ	H 16. 12. 20	30メートル級 水管付先端屈折型
	中央工作車	富士山840 さ 41	日野	2016	モリタ	H 29. 2. 27	Ⅲ型
	中央タンク車	富士山840 む 3776	いすゞ	2012	日本機械	H 25. 3. 26	水槽付ポンプ
	中央救急車	富士山840 す 5119	トヨタ	2013		H 26. 1. 28	
	中央指揮車	富士山840 せ 51	トヨタ	2016		H 29. 3. 21	
中央消防署 芝川分署	芝川タンク車	富士山840 さ 1219	いすゞ	2014	日本機械	H 27. 2. 20	水槽付ポンプCD-I
	芝川救急車	富士山840 す 1219	トヨタ	2015		H 28. 1. 20	
	連絡車	富士山881 あ 32	ダイハツ	2001		H 13. 1. 31	アトレーワゴン
中央消防署 東分署	東タンク車	富士山840 さ 8880	いすゞ	2016	日本機械	H 28. 2. 17	水槽付ポンプ
	東救急車	富士山840 す 8880	トヨタ	2019		H 31. 3. 22	
	連絡車	富士山481 あ 2703	スズキ	1997		H 9. 3. 10	軽トラック
西消防署	西水槽車	富士山840 て 119	日野	2011	日本機械	H 23. 3. 14	水槽Ⅱ型
	西化学車	富士山840 つ 24	日野	2019	モリタ	H 31. 2. 19	化学車Ⅱ型
	西救急車	富士山840 そ 19	トヨタ	2018		H 30. 3. 26	
	西指揮車	富士山803 さ 269	日産	2002		H 14. 7. 12	ADバン
西消防署 北分署	北タンク車	富士山840 に 119	いすゞ	2014	日本機械	H 27. 2. 18	水槽付ポンプ
	北工作車	富士山803 は 35	いすゞ	1997	畠山ポンプ	H 13. 3. 16	Ⅱ型
	北救急車	富士山840 せ 1771	トヨタ	2010		H 22. 1. 28	
	連絡車	富士山481 あ 2704	富士重工	2004		H 16. 3. 3	軽トラック
	災害用バイク	富士宮市 57	ヤマハ	1996		H 8. 2. 19	125cc
西消防署 上野分署	上野タンク車	富士山840 さ 1119	いすゞ	2018	畠山ポンプ	H 30. 3. 16	水槽付ポンプ
	上野救急車	富士山840 さ 1403	日産	2019		H 31. 2. 25	
	連絡車	富士山481 あ 2705	富士重工	2004		H 16. 3. 3	軽トラック
予備	非常用タンク車	富士山840 さ 1771	いすゞ	2008	日本機械	H 20. 2. 18	水槽付ポンプ
	非常用救急車	富士山840 そ 119	トヨタ	2009		H 21. 11. 11	

消火薬剤備蓄状況

令和2年3月31日現在

署 別		設 置 場 所 等		数 量	品 名
中央消防署	中央	中央タンク車	ポリ容器20ℓ×2	40 ℓ	合成界面活性剤
		備蓄	ポリ容器20ℓ×8	160 ℓ	合成界面活性剤
	芝川	芝川タンク車	ポリ容器20ℓ×3	60 ℓ	合成界面活性剤
		備蓄	ポリ容器20ℓ×2	40 ℓ	合成界面活性剤
	東	東タンク車	ポリ容器20ℓ×2	40 ℓ	合成界面活性剤
		備蓄	ポリ容器20ℓ×9	180 ℓ	合成界面活性剤
	計			520 ℓ	
西消防署	西	非常用タンク車	ポリ容器20ℓ×3	60 ℓ	合成界面活性剤
		西化学車	車載タンク内 ポリ容器20ℓ×4	580 ℓ	合成界面活性剤
		備蓄	ポリ容器20ℓ×15	300 ℓ	合成界面活性剤
	北	北タンク車	ポリ容器20ℓ×2	40 ℓ	合成界面活性剤
		備蓄	ポリ容器20ℓ×3	60 ℓ	合成界面活性剤
	上野	上野タンク車	ポリ容器20ℓ×3	60 ℓ	合成界面活性剤
		備蓄	ポリ容器20ℓ×4	80 ℓ	合成界面活性剤
	計			1,180 ℓ	
	合 計			1,700 ℓ	

概 要

総 務

火 災

予 防

警 防

通信・指令

救 助

救 急

応援協定

消防団

防火協力団体

消防水利の現況

令和2年3月31日現在

区分 分団	防 火 水 槽						消 火 栓			その他	合計	
	100m <sup>3</sup> 以上		40~100m <sup>3</sup> 未満		40m <sup>3</sup> 未満		小 計 (耐震性)	公設	私設			小計
	公設	私設	公設	私設	公設	私設						
1	2		13	2			17 (12)	42	1	43		60
2	1		12	7	1		21 (17)	47		47	2	70
3	2		19	7	1		29 (22)	46	1	47	3	79
4	1		3				4 (4)	23		23	1	28
5	1		26	3			30 (21)	51	1	52	4	86
6	3		66	13	4		86 (66)	168		168	12	266
7	1		10	1		4	16 (11)	32	3	35	2	53
8		1	38	9	3		51 (33)	57		57	9	117
9	1		14	2	1	2	20 (16)	26		26	1	47
10			16	3	4	1	24 (16)	6		6	1	31
11	1		28	7			36 (26)	36		36	1	73
12	3		41	6	1		51 (33)	66	1	67		118
13	1		27	4	15	1	48 (20)	27		27		75
14	2		45	4	6		57 (41)	95		95	3	155
15	1		62	5	15	8	91 (54)	30	10	40	4	135
16			30	14	9	1	54 (34)	46	6	52	3	109
17		1	34	33	3	9	80 (59)	48	2	50	4	134
18			7	8			15 (14)	12	8	20	1	36
19			9	3			12 (9)	19		19	2	33
20		2	20	19	1	3	45 (24)	30	36	66	9	120
21	1	1	11	19	3	3	38 (18)	18	14	32	8	78
22			22	6		1	29 (24)	17	8	25	1	55
23			26	3	1		30 (28)	60	7	67	1	98
24			14		4		18 (14)	14		14	1	33
25			9		11		20 (10)	26		26	2	48
26			9	6	3		18 (14)	26		26	1	45
27			31	8	24		63 (36)	66	2	68	4	135
28			15	5	4	1	25 (21)	36	2	38	6	69
合計	21	5	657	197	114	34	1,028 (697)	1,170	102	1,272	86	2,386

令和元年度新設基数

区分 分団	防 火 水 槽						消 火 栓			その他	合計	
	100m <sup>3</sup> 以上		40~100m <sup>3</sup> 未満		40m <sup>3</sup> 未満		小 計 (耐震性)	公設	私設			小計
	公設	私設	公設	私設	公設	私設						
富士宮	1		3	3			7 (7)	5		5		12

# 通信・指令



**富士市・富士宮市消防指令センター**  
**(警防救急課 情報指令室)**





119番の受信状況

令和元年中

内容 月	火 災	救 急 救 助	他 災 害	問 合 せ	病 院 照 会	い た ず ら	ま ち が い	そ の 他	訓 練 ・ 試 験	合 計
1	15	518	3	15		1	24	25	18	619 (234)
2	2	416	1	12	1	2	26	26	32	518 (188)
3	2	435	1	20		3	31	22	38	552 (215)
4	16	472	2	15		2	32	34	39	612 (261)
5		474	4	17		6	15	15	35	566 (203)
6	4	452		15		5	36	31	41	584 (206)
7	8	475	2	26	3	3	34	31	18	600 (228)
8	6	545	3	29	3	1	20	31	28	666 (325)
9		435	5	27		1	24	23	67	582 (250)
10	28	468	3	21	2	2	41	35	41	641 (233)
11	1	459	2	18		3	19	28	56	586 (224)
12	1	477	2	23		1	29	20	44	597 (229)
合計	83	5,626	28	238	9	30	331	321	457	7,123 (2,796)

※ ( ) 内の数字は携帯電話からの受信件数を表す

富士市・富士宮市消防指令センター 応援指令状況

令和元年中

種 別	富士市へ応援	富士市から受援	富士市以外へ応援	富士市以外から受援	合計
火 災	3	4			7
救 急		5			5
救 助	1				1
その他					0
合 計	4	9	0	0	13

概  
要

総  
務

火  
災

予  
防

警  
防

通  
信  
・  
指  
令

救  
助

救  
急

応  
援  
協  
定

消  
防  
団

防  
火  
協  
力  
団  
体

# 通信施設の状況

## ・消防指令センター(富士市消防防災庁舎内)

指 令 装 置	指 令 台	通常時は 5 回線受信体制をとっていますが、大災害時等、119 番通報が殺到する場合(大輻輳時)には最大 15 回線の同時受信が可能です。
	統合型位置情報通知システム	携帯電話・IP 電話及び固定電話からの 119 番通報に対し、通報場所を特定することが可能です。
	出 動 車 両 運 用 管 理 装 置	GPS(測位衛星)を活用し、災害発生場所により近い車両を選別、更には、その災害に応じた車両種別及び台数を自動的に編成します。
	メ ー ル 指 令 設 備	消防団員が所持している携帯電話やスマートフォンに、火災事案の規模によって Eメールで出動指令を配信します。
	NET119 及び FAX119 受信設備	聴覚や言語に障がいがあり、通話による 119 番通報が困難な方のために、携帯電話やスマートフォンのアプリケーション及びファックスを使用し 119 番通報することができます。
	外 国 語 三 者 通 話	119番通報、災害現場などで、日本語での会話が困難な外国人をサポートするため、英語・中国語・韓国語・スペイン語・ポルトガル語他 18 か国語について、電話による通訳者を交えた24 時間対応の電話通訳体制で運用しています。
車 両 運 用 端 末 装 置 ( A V M )		車両から活動状況を指令センターに送るとともに、指令情報や地図情報、水利情報等の支援情報を出動中の車両内で閲覧することができます。
現 場 映 像 伝 送 装 置		指揮隊に配備されており、ビデオハンディカメラで撮影した現場映像を消防本部及び指令センターで閲覧することができ、迅速な災害対策指揮に役立っています。
消 防 用 高 所 監 視 装 置		富士宮市役所及び富士市金丸山に設置されている監視カメラにより、災害現場の状況を瞬時に把握することができます。
気 象 観 測 シ ス テ ム		富士宮市役所に設置されており、天気、風向、風速、雨量、気温等を常時観測し、消防活動に役立っています。

## ・消防指令センター サポート室(富士宮市消防本部内)



大規模災害発生時には、富士宮市消防本部の消防指揮本部として運用するとともに、消防指令センターが機能しなくなった場合には、両市の 119 番回線を本施設に迂回させ、通信指令業務を富士宮市で継続することができます。



## 無線配置状況

令和2年3月31日現在

所属	呼出名称	区分	出力(W)	免許番号		配置年月日
消防指令センター	かなまるやまきちきよく	基地局	5	海基第	2272250	平成27年9月8日
	おおつもりきちきよく	基地局	2	海基第	2272251	平成27年9月8日
	みやきょうどう 1	車載予備機	5	海移第	20260178	平成27年9月8日
中央消防署	みやちゅうおう 11	タンク車	5	海移第	20260225	平成27年9月8日
	みやちゅうおう 31	梯子車	5	海移第	20260227	平成27年9月8日
	みやちゅうおう 41	救助工作車	5	海移第	20260228	平成27年9月8日
	みやちゅうおう 42	山岳救助車	5	海移第	20260229	平成27年9月8日
	みやちゅうおう 43	資機材搬送車	5	海移第	20260230	平成27年9月8日
	みやちゅうおう 51	指揮車	5	海移第	20260231	平成27年9月8日
	みやきゅうきゅうちゅうおう 1	救急車	5	海移第	20260240	平成27年9月8日
	みやきゅうきゅうちゅうおう 2	非常用救急車	5	海移第	20260241	平成27年9月8日
	みやちゅうおう 101	携帯	2	海移第	20260388	平成27年9月8日
	みやちゅうおう 102	携帯	2	海移第	20260389	平成27年9月8日
	みやちゅうおう 103	携帯	2	海移第	20260390	平成27年9月8日
	みやちゅうおう 104	携帯	2	海移第	20260391	平成27年9月8日
	みやちゅうおう 105	携帯	2	海移第	20260392	平成27年9月8日
	みやちゅうおう 106	携帯	2	海移第	20260393	平成27年9月8日
	みやちゅうおう 107	携帯	2	海移第	20260394	平成27年9月8日
	みやちゅうおう 108	携帯	2	海移第	20260395	平成27年9月8日
	みやちゅうおう 109	携帯	2	海移第	20260396	平成27年9月8日
	みや 106	携帯	2	海移第	20260425	平成27年9月8日
	みやちゅうおうこてい 1	卓上	5	海移第	20259655	平成27年9月8日
	芝川分署	みやしばかわ 11	タンク車	5	海移第	20260236
みやきゅうきゅうしばかわ 1		救急車	5	海移第	20260243	平成30年5月26日
みやしばかわ 101		携帯	2	海移第	20260397	平成27年9月8日
みやしばかわ 102		携帯	2	海移第	20260398	平成27年9月8日
みやしばかわ 103		携帯	2	海移第	20260399	平成27年9月8日
みやしばかわ 104		携帯	2	海移第	20260400	平成27年9月8日
みやしばかわこてい 1		卓上	5	海移第	20259656	平成27年9月8日
東分署	みやひがし 11	タンク車	5	海移第	20260237	平成27年9月8日
	みやきゅうきゅうひがし 1	救急車	5	海移第	20260244	平成27年9月8日
	みやひがし 101	携帯	2	海移第	20260401	平成27年9月8日
	みやひがし 102	携帯	2	海移第	20260402	平成27年9月8日
	みやひがし 103	携帯	2	海移第	20260403	平成27年9月8日
	みやひがし 104	携帯	2	海移第	20260404	平成27年9月8日
	みやひがしこてい 1	卓上	5	海移第	20259657	平成27年9月8日

所属	呼出名称	区分	出力(W)	免許番号		配置年月日
西消防署	みやにし 21	化学車	5	海移第	20260226	平成27年9月8日
	みやにし 51	指揮車	5	海移第	20260234	平成27年9月8日
	みやにし 71	水槽車	5	海移第	20260235	平成27年9月8日
	みやきゅうきゅうにし 1	救急車	5	海移第	20260242	平成27年9月8日
	みや 1	非常用タンク車	5	海移第	20287043	平成27年9月8日
	みやにし 101	携帯	2	海移第	20260405	平成27年9月8日
	みやにし 103	携帯	2	海移第	20260407	平成27年9月8日
	みやにし 104	携帯	2	海移第	20260408	平成27年9月8日
	みやにし 105	携帯	2	海移第	20260409	平成27年9月8日
	みやにし 106	携帯	2	海移第	20260410	平成27年9月8日
	みや 105	携帯	2	海移第	20260424	平成27年9月8日
	みやにしこてい 1	卓上	5	海移第	20259658	平成27年9月8日
北分署	みやきた 11	タンク車	5	海移第	20260238	平成27年9月8日
	みやきた 41	救助工作車	5	海移第	20260233	平成27年9月8日
	みやきゅうきゅうきた 1	救急車	5	海移第	20260245	平成27年9月8日
	みやきた 101	携帯	2	海移第	20260411	平成27年9月8日
	みやきた 102	携帯	2	海移第	20260412	平成27年9月8日
	みやきた 103	携帯	2	海移第	20260413	平成27年9月8日
	みやきた 104	携帯	2	海移第	20260414	平成27年9月8日
	みやきた 105	携帯	2	海移第	20260415	平成27年9月8日
	みやきたこてい 1	卓上	5	海移第	20259659	平成27年9月8日
上野分署	みやうえの 11	タンク車	5	海移第	20260239	平成27年9月8日
	みやきゅうきゅううえの 1	救急車	5	海移第	20260246	平成27年9月8日
	みやうえの 101	携帯	2	海移第	20260416	平成27年9月8日
	みやうえの 102	携帯	2	海移第	20260417	平成27年9月8日
	みやうえの 103	携帯	2	海移第	20260418	平成27年9月8日
	みやうえの 104	携帯	2	海移第	20260419	平成27年9月8日
	みやうえのこてい 1	卓上	5	海移第	20259660	平成27年9月8日
消防本部	みや 51	指令車	5	海移第	20260220	平成27年9月8日
	みや 52	指揮車	5	海移第	20260221	平成27年9月8日
	みや 61	団指揮広報車	5	海移第	20260222	平成27年9月8日
	みや 62	広報車	5	海移第	20260223	平成27年9月8日
	みや 71	査察車	5	海移第	20260224	平成27年9月8日
	みや 101	携帯	2	海移第	20260420	平成27年9月8日
	みや 102	携帯	2	海移第	20260421	平成27年9月8日
	みや 103	携帯	2	海移第	20260422	平成27年9月8日
	みや 104	携帯	2	海移第	20260423	平成27年9月8日
	みやけいぼうこてい 1	卓上	5	海移第	20259661	平成27年9月8日

概要  
総務  
火災  
予防  
警防  
通信・指令  
救助  
救急  
応援協定  
消防団  
防火協力団体

## 富士宮市気象観測結果

令和元年中

種別 月	月平均風速(m/s)		月最大瞬間風速(m/s)		気 温(°C)			湿度(%)	月降雨量 (mm)
	風 速	風 向	風 速	風 向	月平均	月最高	月最低	月平均	
1	1.9	北西	22.0	北北西	5.5	15.0	-1.1	64.6	15.0
2	1.6	北西	19.6	北西	7.7	21.2	-1.2	73.9	53.5
3	2.1	北西	20.5	北西	10.3	20.7	0.4	68.9	77.5
4	2.2	南南東	19.7	北北西	13.0	22.9	1.2	72.5	193.5
5	2.0	南南東	23.2	南南東	18.7	29.6	7.6	75.8	258.5
6	1.9	南南東	14.7	南南東	21.3	30.4	15.1	86.1	259.5
7	1.6	南南東	21.3	南南東	23.8	32.0	17.5	93.1	303.0
8	1.9	南南東	21.5	南南東	27.3	34.0	21.2	89.0	109.5
9	1.7	南南東	23.5	北北西	24.8	34.7	17.7	84.7	54.5
10	1.8	北西	36.1	北北西	19.6	31.3	11.1	86.2	340.0
11	1.5	北西	13.8	北西	13.5	23.4	2.8	81.2	115.0
12	1.4	北西	18.7	北北西	9.2	20.1	1.8	80.0	80.0
	年平均 1.8	年平均 北西	年最大 36.1	年平均 北北西	年平均 16.2	年最高 34.7	年最低 -1.2	年平均 79.7	年間雨量 1859.5

### 警報・注意報等

令和元年中

種別 月	警 報				注 意 報 等												
	大雨	洪水	暴風	大雪	大雨	洪水	強風	風雪	大雪	雷	濃霧	乾燥	なだれ	低温	霜	着氷 (雪)	火災気象通報
1									1	2		1				1	4
2							1			2	3		1				2
3										9	1		2		10		10
4					2					8	1	1	3		10		13
5	1	1			3	2				11					1		2
6					8		2			11	2						2
7	1				10	2	2			12							
8	1				10	1	1			17	1						
9	1		1		5		2			11							1
10	1	1	1		7	3	1			7	1						
11					1		1			4							
12					1					4							
合 計	5	2	2	0	47	8	10	0	1	98	9	2	6	0	21	1	34

# 救 助



**要救助者救出訓練中の様子**





## 救助業務

消防機関の行う人命救助は、自然災害、人為的災害を問わず広く一般の災害事象により、要救助者の生命又は身体に現実の危険が及んでいる場合で、要救助者の生存が確認又は予想される状況下において人力、機械力等を用いて、その危険を排除し安全な場所に救出することをいい、隊員は救助知識、高度の技術習得、練磨に励み、人命救助に全力を注いでいる。

## 発生場所別事故件数

令和元年中

種別		火災		交通 事故	水難 事故	風水害 等自然 災害	機 械 による 事故	建物等 による 事故	ガス及 び酸欠 事故	爆 発 事故	山 岳 事故	その他 の 事故	計
		建物	建物 以外										
屋内	住 居	5						1	1			1	8
	その他の屋内	3						2					5
屋 道 路	高速自動車道												0
	その他の道路		3	17									20
水 面	内 水 面			1	4							1	6
	外 水 面												0
外	山 岳										17		17
	その他の屋外	1	4	3				1				4	13
地 下													0
そ の 他												12	12
計		9	7	21	4	0	2	2	1	0	17	18	81

## 月別・事故別出動件数

令和元年中

種別		火災		交通 事故	水難 事故	風水害 等自然 災害	機 械 による 事故	建物等 による 事故	ガス及 び酸欠 事故	爆 発 事故	山 岳 事故	その他 の 事故	計
		建物	建物 以外										
1			3	6								1	10
2			1	1							1		3
3		1	1				1					2	5
4		2		3							1	2	8
5				1				1	1				3
6					2						2	1	5
7		2		1	1						3	2	9
8			1	3	1						5	3	13
9				1			1					1	3
10		2	1	2							1	5	11
11		1		2				1			4		8
12		1		1								1	3
計		9	7	21	4	0	2	2	1	0	17	18	81

事故別出動車両、出動・活動・救出人員

令和元年中

種 別 区 分		火 災		交 通 事 故	水 難 事 故	風 水 害 等 自 然 災 害	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	爆 発 事 故	山 岳 事 故	そ の 他 の 事 故	計	
		建 物	建 物 以 外											
出 動 件 数		9	7	21	4		2	2	1		17	18	81	
活 動 件 数		2		13	4			1	1		16	6	43	
出 動 車 両	救 助 工 作 車	9	7	22	5		1	2	1		2	18	67	
	消 防 タ ン ク 車	8		21	4		2		1		4	5	45	
	梯 子 車												0	
	化 学 車			2			1	2				1	6	
	指 揮 車・指 令 車	2		21	4		2	2	1		4	6	42	
	救 急 自 動 車	1		30	7		2	2	1		4	8	55	
	そ の 他				2						14	2	18	
	計	20	7	96	22	0	8	8	4	0	28	40	233	
出 動 人 員	専 任 救 助 隊 員	28	24	65	7		3	7	4		45	43	226	
	兼 任 救 助 隊 員			7	12		3				13	13	48	
	消 防 隊 員	34		132	30		11	12	6		25	40	290	
	救 急 隊 員	3		90	12		6	6	3		12	21	153	
	計	65	24	294	61	0	23	25	13	0	95	117	717	
活 動 人 員	専 任 救 助 隊 員	6		30	7				4		45	10	102	
	兼 任 救 助 隊 員			7	6						6	10	29	
	消 防 隊 員	10		63	28			3	6		14	18	142	
	救 急 隊 員			30	6				3		9	12	60	
	計	16	0	130	47	0	0	3	13	0	74	50	333	
救 出 人 員		3		14	3				1		17	4	42	
屋 内	住 居	5						1	1			1	8	
	そ の 他 の 屋 内	3					2						5	
屋 外	道 路	高 速 自 動 車 道											0	
		そ の 他 の 道 路		3	17								20	
	水 面	内 水 面			1	4							1	6
		外 水 面												0
	山 岳										17			17
	そ の 他 の 屋 外		1	4	3				1				4	13
地 下													0	
そ の 他												12	12	

救助資機材の配置状況(省令指定物品等)

令和2年3月31日現在

品名	配置先	中央消防署			西消防署			予備車	合計
		中央	芝川	東	西	北	上野		
一般救助用器具	かぎ付はしご	4	1	1	2	3	1		12
	三連はしご	4		1	3	2	1		11
	金属製折りたたみはしご	1			1				2
	ワイヤはしご	1	1		2	1			5
	空気式救助マット	1	1		1	1			4
	救命索発射銃	1	1		1	1			4
	サバイバースリング	1			3	1			5
	救助用縛帯	3	3		1	2			9
	平担架	2			2	1			5
排除・切断・破壊用器具	大型油圧ジャッキ	1	1		1	2			5
	アルミニウムジャッキ	1	1		1	1			4
	大型油圧スプレッダー	2	1	1	1	2			7
	マット型空気ジャッキ	1	1	1	1	2			6
	レスキューエアークッション	1							1
	可搬式ウインチ	3	2	1	2	2			10
	簡易起重機				1				1
	マンホール救助器具	1	1		1	1			4
	大型油圧切断機	2	1		1	2			6
	油圧切断機	1	1	1	1	2	1		7
	レスキューバカッター	1	1	1			1		4
	空気鋸	1	1			1			3
	空気式切断機	1				3			4
	鉄線カッター	7	2	1	4	4	1		19
	エンジンカッター	2	3	3	2	3	1		14
	チェーンソー	5	3	2	3	3	4		20
	ガス溶断器	2	1	1	1	1	1		7
	酸素溶断器				1	1			2
	ハンマードリル	2	1	1	1	2			7
	削岩機	2	1		1				4
万能斧	9	2	2	4	5	2		24	
ハンマー	2	3	1	3	2	1		12	
携帯用コンクリート破壊器具	1	1	1	1	2			6	
チェーンブロック	3			1				4	
救助用支柱器具セット	1			1				2	
測定器具	可燃性ガス測定器		1						1
	複合型ガス測定器	5		1	2	2	1		11
	有毒ガス測定器		1			1			2
	放射線測定器	2				1			3
呼吸保護器具	空気呼吸器	25	4	5	13	10	4		61
	酸素呼吸器	5				5			10
	防塵マスク	45	3	13	33	13	13		120
	エアラインマスク					1			1
	簡易呼吸器	5				2			7
	圧縮空気充填機	1							1
	送排風機	2		1	1	1			5
加圧排煙機	2							2	

概要

総務

火災

予防

警戒

通信・指令

救助

救急

応援協定

消防団

防火協力団体

品名	配置先	中央消防署			西消防署			予備車	合計
		中央	芝川	東	西	北	上野		
隊員保護用器具	安全帯	13		10	4	11	5		43
	防塵メガネ	45	13	13	33	13	13		130
	レスキューコール	10	3	3	5	9	3		33
	活線接近警報器	9			1	2			12
	耐電手袋	8	2	2	5	4	2		23
	耐電衣	8	2	2	5	4	2		23
	耐電ズボン	8	2	2	5	4	2		23
	耐電長靴	8	2	2	5	4	2		23
	防毒衣	4							4
	防毒マスク	10				5			15
	陽圧式化学防護服	6			3				9
	化学防護服	64	4	4	15	10	4		101
	耐熱服	2	2	2	6	1			13
	放射線防護服	4							4
	除染剤散布器	1							1
除染シャワー	1							1	
水難救助器具	救命ボート	1	1		1	1			4
	救命胴衣	13	20	5	10	10	5		63
	救命浮環	11	5		2	2			20
	水中投光器	10							10
	ウェットスーツ	5	6						11
	ブーツ	20	6						26
	足ひれ(Cフィン)		6						6
	マスク	5	4						9
	シュノーケル	5	4						9
潜水用ヘルメット	5	6						11	
山岳器具	登山器具	18							18
	バスケツト担架	5	1	1	2	4	1		14
その他の救助用器具	投光器	6	2	2	5	2	1	1	19
	携帯投光器	29	7	10	19	13	5	4	87
	携帯拡声器	6	1	1	4	3	1	2	18
	応急処置用セット	2	1	1	2	2	1		9
	車両移動器具	1			1				2
	緩降機	3							3
	ロープ登降機	5				7			12
	ロープ降下機	2				2			4
	滑車	21	2		5	29			57
	発電機	5	1	2	3	3	1	1	16
	とび口	13	2	2	6	9	2		34
	斧	2	1	1	3	3	1		11
	なた	4	3	3	8	6	4		28
	金てこ(ボール)	28	5	5	15	8	3		64
	鎌	5	5	5	9	5	4	2	35
	鋸	4	5	3	9	5	3	2	31
	つるはし	3	2		1	1	1		8
掛け矢	2	6	1	2	3	1		15	
シャベル	6	12	1	6	16	1		42	
鍬		2			3			5	
鉄筋探知機	1							1	

品名		中央消防署			西消防署			予備車	合計
		中央	芝川	東	西	北	上野		
検 索 用 器 具	赤外線スコープ		1		1	1		3	
	暗視スコープ	2						2	
	ファイバースコープ		1		1	2		4	
	画像検索機					1		1	
	音響探知機					1		1	
支 援 資 器 材	エアータント	1			1			2	
	隊員用テント	2				1		3	
	シユラフ	10						10	
	携帯電話機	1	1	1	3	1	1	8	
	携帯受信機							0	
	折り畳み式リヤカー	1	1	1	1	1		5	
高 度 救 助 器 具	画像検索機Ⅰ型	1						1	
	画像検索機Ⅱ型	1						1	
	地震警報器	1						1	
	夜間用暗視装置	1						1	
	地中音響探知機	1						1	
	熱画像直視装置	1						1	

※ 地震対策用資機材を含む

概要

総務

火災

予防

警防

通信・指令

救助

救急

応援協定

消防団

防火協力団体



# 救 急



トリアージ・・・フランス語の「トリアージュ（選別）」が語源とされている。  
患者の重症度に基づいて、治療の優先度を決定する方法で、トリアージタグ表の色で分けられる。  
【Ⅰ（赤）：重症群 Ⅱ（黄）：中等症群 Ⅲ（緑）：軽症群 Ⅳ（黒）：死亡群】



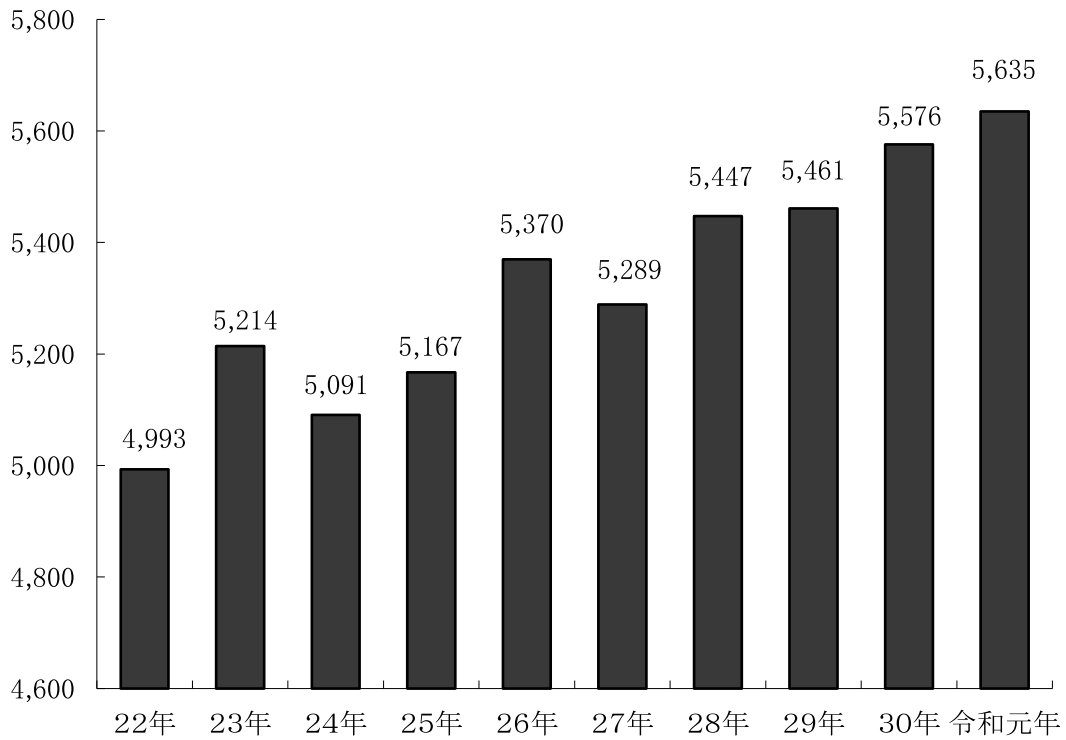


## 月別事故活動状況

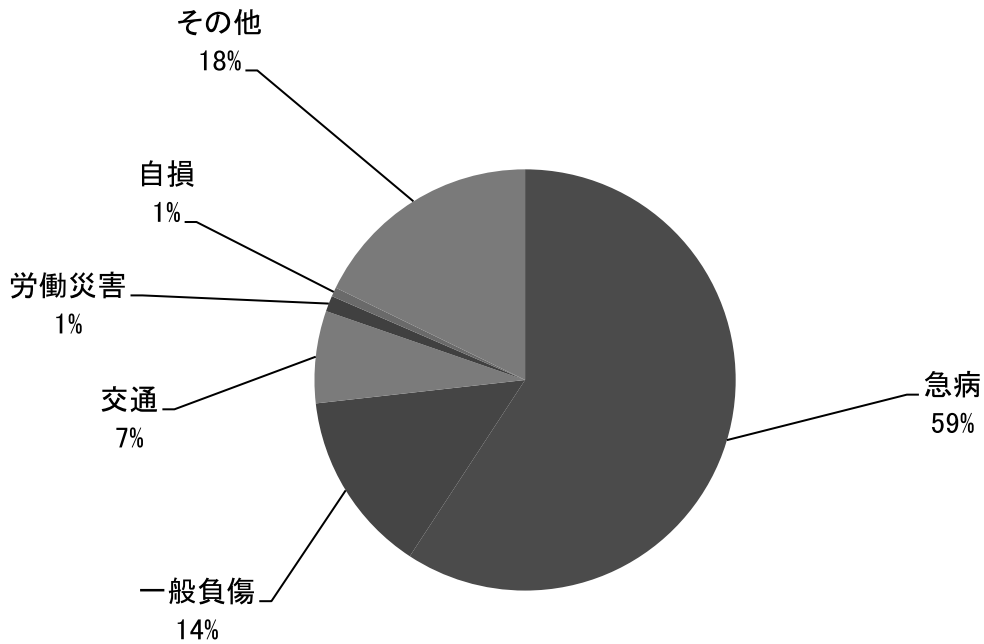
令和元年中

月別	種別 区分	計	事故内容													
			火災	自然	水難	交通	労働	運動	一般	加害	自損	急病	その他			
													転院	医師	資材	その他
1	出動件数	526	3	0	0	27	3	0	64	0	3	342	84	0	0	0
	搬送件数	492	0	0	0	26	2	0	55	0	3	322	84	0	0	0
	搬送人員	492	0	0	0	26	2	0	55	0	3	322	84	0	0	0
2	出動件数	419	1	0	0	27	5	0	52	2	5	266	60	0	0	1
	搬送件数	390	0	0	0	24	5	0	49	2	2	249	59	0	0	0
	搬送人員	393	0	0	0	27	5	0	49	2	2	249	59	0	0	0
3	出動件数	437	1	0	0	31	3	2	72	0	4	256	66	0	0	2
	搬送件数	409	0	0	0	29	2	2	70	0	3	237	66	0	0	0
	搬送人員	412	0	0	0	32	2	2	70	0	3	237	66	0	0	0
4	出動件数	457	3	0	0	38	5	3	53	0	1	273	77	0	0	4
	搬送件数	430	2	0	0	35	5	3	50	0	1	258	76	0	0	0
	搬送人員	431	2	0	0	36	5	3	50	0	1	258	76	0	0	0
5	出動件数	466	0	0	0	24	4	8	71	2	3	277	76	0	0	1
	搬送件数	441	0	0	0	23	4	8	66	2	2	260	76	0	0	0
	搬送人員	442	0	0	0	24	4	8	66	2	2	260	76	0	0	0
6	出動件数	460	2	0	2	37	2	9	47	1	4	269	84	0	0	3
	搬送件数	440	1	0	2	35	2	9	45	0	2	260	84	0	0	0
	搬送人員	441	1	0	2	36	2	9	45	0	2	260	84	0	0	0
7	出動件数	476	4	0	1	26	15	4	59	2	2	277	82	0	0	4
	搬送件数	447	0	0	0	26	15	4	56	1	2	261	82	0	0	0
	搬送人員	455	0	0	0	31	15	4	56	3	2	261	83	0	0	0
8	出動件数	543	1	0	1	50	17	11	74	2	4	312	64	0	0	7
	搬送件数	508	0	0	1	48	17	11	70	2	4	291	64	0	0	0
	搬送人員	518	0	0	1	58	17	11	70	2	4	291	64	0	0	0
9	出動件数	444	0	1	0	37	5	5	76	0	5	254	58	0	1	2
	搬送件数	413	0	1	0	32	5	5	69	0	3	240	58	0	0	0
	搬送人員	416	0	1	0	35	5	5	69	0	3	240	58	0	0	0
10	出動件数	467	5	0	0	35	2	2	69	2	2	271	74	0	0	5
	搬送件数	440	0	0	0	34	1	2	63	1	2	263	74	0	0	0
	搬送人員	441	0	0	0	35	1	2	63	1	2	263	74	0	0	0
11	出動件数	458	1	0	0	35	5	4	79	0	6	258	67	0	0	3
	搬送件数	429	0	0	0	31	5	4	76	0	5	241	67	0	0	0
	搬送人員	430	0	0	0	32	5	4	76	0	5	241	67	0	0	0
12	出動件数	482	1	0	0	32	2	4	73	3	1	282	81	0	0	3
	搬送件数	455	0	0	0	30	2	4	68	2	1	267	81	0	0	0
	搬送人員	456	0	0	0	30	2	4	68	2	1	268	81	0	0	0
計	出動件数	5,635	22	1	4	399	68	52	789	14	40	3,337	873	0	1	35
	搬送件数	5,294	3	1	3	373	65	52	737	10	30	3,149	871	0	0	0
	搬送人員	5,327	3	1	3	402	65	52	737	12	30	3,150	872	0	0	0
昨年 同期	出動件数	5,576	34	0	6	429	73	39	783	13	53	3,262	848	0	0	36
	搬送件数	5,228	8	0	6	398	72	38	720	9	43	3,086	847	0	0	1
	搬送人員	5,279	9	0	6	438	72	40	720	9	43	3,093	848	0	0	1
昨年 比較	出動件数	59	△12	1	△2	△30	△5	13	6	1	△13	75	25	0	1	△1
	搬送件数	66	△5	1	△3	△25	△7	14	17	1	△13	63	24	0	0	△1
	搬送人員	48	△6	1	△3	△36	△7	12	17	3	△13	57	24	0	0	△1

## 出動件数の推移



## 事故種別による出動割合

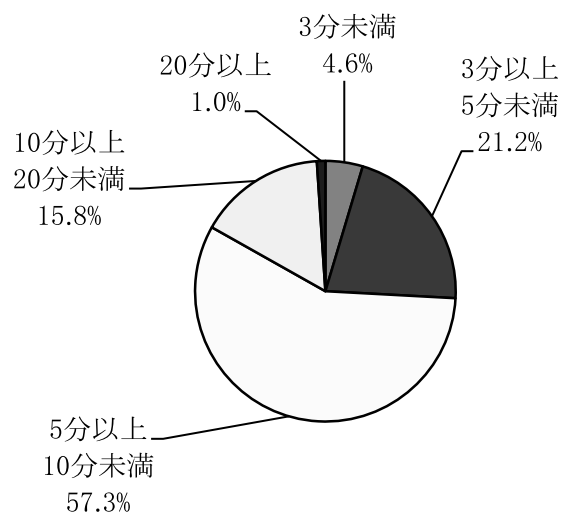


※その他(18%)のうち、転院搬送15.5%(医療機関から医療機関までの搬送)

## 出動から現場到着までの所要時間と出動件数

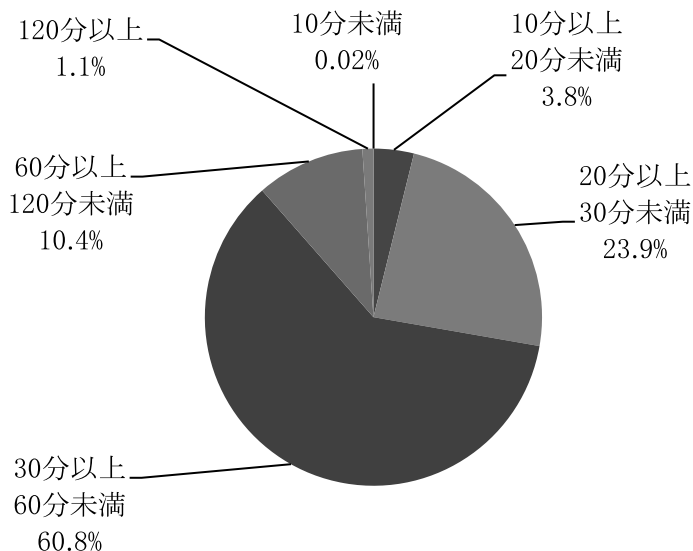
令和元年中

3分未満	261 件
3分以上5分未満	1,196 件
5分以上10分未満	3,229 件
10分以上20分未満	890 件
20分以上	59 件
合計	5,635 件
最短到着時間	0 分
最長到着時間	56 分



## 出動から医療機関収容までの所要時間と搬送人数

10分未満	1 人
10分以上20分未満	205 人
20分以上30分未満	1,272 人
30分以上60分未満	3,238 人
60分以上120分未満	555 人
120分以上	56 人
合計	5,327 人
最短収容時間	5 分
最長収容時間	406 分



## 救急講習件数・受講人員

受講団体等 講習名	一般市民 (自主防災会含む)		各種団体 (各種学校等)		事業所		総数	
	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員
一般救急講習	16	1,428	59	2,186	13	309	88	3,923
普通救命講習	16	121	14	205	38	512	68	838

応急処置別 事故種別実施数

令和元年中

処置別	種別	急病	交通事故	一般負傷	左記以外	合計
止血		20	68	173	35	296
固定		12	184	93	55	344
人工呼吸		6	2	2	4	14
心臓マッサージ		7	1	4	1	13
心肺蘇生		126	2	19	10	157
酸素吸入		787	47	55	328	1,217
気道確保	※総数	191	5	33	14	243
	※1	2	0	2	0	4
	※2	0	0	3	0	3
	※3	12	0	1	1	14
	※4	2	0	2	0	4
保温		1,411	122	279	434	2,246
被覆		7	80	151	41	279
在宅療法継続	総数	22	0	4	0	26
	※A	0	0	0	0	0
	※B	0	0	1	0	1
	※C	22	0	3	0	25
ショックパンツ		0	0	0	0	0
除細動		7	0	2	0	9
静脈路確保	CPA前	23	3	1	2	29
	CPA後	70	1	11	2	84
薬剤投与		34	2	7	2	45
その他の処置		3,252	395	748	1,031	5,426
血圧測定		3,070	416	733	1,025	5,244
心音・呼吸音等の聴診		147	24	17	21	209
血中酸素飽和度の測定		3,184	418	763	1,040	5,405
心電図		2,812	237	472	803	4,324
血糖測定		77	3	5	10	95
エピペン投与		0	1	0	0	1
ブドウ糖投与		17	0	0	0	17
計		15,282	2,011	3,572	4,858	25,723

※総数・・・下記※1～※4を含め、用手、吸引等による気道確保数を計上。

※1 経鼻エアウェイ、経口エアウェイ

※2 喉頭鏡・鉗子使用

※3 LM等

※4 気管挿管

※A 在宅中心静脈栄養管理・在宅化学療法等により点滴が施されている傷病者に対して応急処置等を行った件数を内数として記載

※B 気管切開孔又は気管瘻・人工肛門等の外瘻が施されている傷病者に対して応急処置を行った件数を内数として記載

※C ※A・※B以外の在宅療法継続中の傷病者に対して応急処置を行った件数を内数として記載

覚知時間別 事故種別出動回数

令和元年中

時刻\種別	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	転院搬送	医師搬送	資機材等	その他	合計
00 時台	2	0	0	6	0	0	18	1	0	81	12	0	0	1	121
01 時台	0	0	0	1	1	0	11	0	1	74	7	0	0	2	97
02 時台	0	0	0	3	0	0	10	0	2	51	14	0	0	1	81
03 時台	0	0	0	3	0	0	9	0	0	63	5	0	0	1	81
04 時台	0	0	0	2	0	0	13	0	1	68	6	0	0	1	91
05 時台	0	0	1	6	2	0	15	1	1	76	3	0	0	0	105
06 時台	1	0	0	10	1	0	22	0	3	147	13	0	0	1	198
07 時台	1	0	0	22	6	0	33	0	3	174	13	0	0	1	253
08 時台	0	0	0	33	2	1	48	0	5	205	14	0	0	3	311
09 時台	3	0	1	18	5	4	56	0	3	199	52	0	0	3	344
10 時台	0	0	0	24	8	14	70	0	1	185	96	0	0	0	398
11 時台	3	0	0	27	10	8	47	1	3	177	113	0	0	0	389
12 時台	2	0	1	24	5	5	66	0	0	184	89	0	0	5	381
13 時台	2	0	0	26	3	3	46	0	4	172	41	0	0	1	298
14 時台	2	0	0	27	9	4	39	3	3	155	38	0	0	1	281
15 時台	1	0	0	33	5	3	36	0	4	148	59	0	0	1	290
16 時台	0	0	0	29	3	5	39	1	1	144	87	0	0	3	312
17 時台	1	1	0	29	2	3	36	0	2	168	54	0	0	0	296
18 時台	1	0	0	21	2	0	40	0	0	192	43	0	0	2	301
19 時台	2	0	0	15	3	0	41	0	0	152	31	0	0	1	245
20 時台	0	0	0	9	1	1	32	0	0	162	21	0	0	2	228
21 時台	1	0	1	8	0	0	27	3	1	153	23	0	0	1	218
22 時台	0	0	0	14	0	1	19	2	1	109	29	0	0	3	178
23 時台	0	0	0	9	0	0	16	2	1	98	10	0	1	1	138
合計	22	1	4	399	68	52	789	14	40	3,337	873	0	1	35	5,635

概要

総務

火災

予防

警防

通信・指令

救助

救急

応援協定

消防団

防火協力団体

曜日別救急出動件数

令和元年中

種別 曜日別	火災	自然 災害	水難	交通	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加害	自損 行為	急病	転院 搬送	医師 搬送	資機 材等	その他	合計
月	3	0	1	57	8	3	107	0	7	507	148	0	0	7	848
火	1	1	0	68	13	6	113	4	6	476	153	0	0	5	846
水	2	0	0	53	9	4	93	3	5	459	112	0	0	9	749
木	3	0	0	48	9	4	114	1	5	433	108	0	1	3	729
金	2	0	1	73	14	6	111	3	5	474	132	0	0	3	824
土	8	0	2	43	10	12	123	1	6	474	133	0	0	3	815
日	3	0	0	57	5	17	128	2	6	514	87	0	0	5	824
合計	22	1	4	399	68	52	789	14	40	3,337	873	0	1	35	5,635

月別救急出動件数

令和元年中

種別 月別	火災	自然 災害	水難	交通	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加害	自損 行為	急病	転院 搬送	医師 搬送	資機 材等	その他	合計
1	3	0	0	27	3	0	64	0	3	342	84	0	0	0	526
2	1	0	0	27	5	0	52	2	5	266	60	0	0	1	419
3	1	0	0	31	3	2	72	0	4	256	66	0	0	2	437
4	3	0	0	38	5	3	53	0	1	273	77	0	0	4	457
5	0	0	0	24	4	8	71	2	3	277	76	0	0	1	466
6	2	0	2	37	2	9	47	1	4	269	84	0	0	3	460
7	4	0	1	26	15	4	59	2	2	277	82	0	0	4	476
8	1	0	1	50	17	11	74	2	4	312	64	0	0	7	543
9	0	1	0	37	5	5	76	0	5	254	58	0	1	2	444
10	5	0	0	35	2	2	69	2	2	271	74	0	0	5	467
11	1	0	0	35	5	4	79	0	6	258	67	0	0	3	458
12	1	0	0	32	2	4	73	3	1	282	81	0	0	3	482
合計	22	1	4	399	68	52	789	14	40	3,337	873	0	1	35	5,635

救急関係資器材の配置状況

令和2年3月31日現在

資器材名		所属配置	中央消防署			西消防署			予備車	合計
			中央	芝川	東	西	北	上野		
救急救命器材	半自動除細動器		1	1	1	1	1	1		6
	全自動除細動器		3	2	2	3	2	1		13
	輸液ポンプ		1	1	1	1	1	1	1	7
救命処置資器材	患者監視モニター		1	1	1	1	1	1	1	7
	自動心マッサージ器		1	1	1	1	1	1		6
	ショックパンツ(大人)		1	1	1	1	1			5
	ショックパンツ(小児)		1	1	1	1	1			5
	自動人工呼吸器		1	2	1	1	1	1	1	8
	聴診器		2	2	2	2	1	2	2	13
	血圧計		2	2	2	2	1	1	1	11
	吸引器		1	2	2	1	1	1	1	9
搬送器具	メインストレッチャー		1	1	1	1	1	1	1	7
	サブストレッチャー		1	1	1	1	1	1		6
	スクープストレッチャー		2	2	2	2	2	2	1	13
一般救急用器材	酸素吸入蘇生装置		1	1	1	1	1	1	1	7
	手動式人工呼吸器		1	2	2	1	1	1	1	9
	心肺蘇生用背板		1	1	1	1	1	1	1	7
	骨折等固定用具		1	2	1	1	1	1	1	8
	リングカッター		2	1	1	1	1	1		7
	救命浮環		1	1	1	1	2	1	1	8
	バックボード		5	3	4	4	3	3	1	23
	脊椎固定パッド		4	3	4	4	5	5	3	28
破器具	万能斧		1	1	1	1	1	1	1	7
	金てこ(バール)		1	1	1	1	1	1	1	7
殺菌用器材	クリーンライザー		1	1	1	1		1		5
	車内殺菌装置		1	1			1	1	1	5
	滅菌器		1	1	1	1	1	1		6
	滅菌包装器		1	1	1	1	1	1		6
	消毒器		1	1	1	1	1	1		6
教育用器材	レサシアン(成人・ジュニア・ベビー)		2	5	4	4	3	4		22
	アクター 911		1			1				2
	外傷セツト					1				1
	気道管理トレーナー		1	1	1		1			4
	アンプ挿管トレーナー		1			1				2
	静脈採血モデル		1	1		1	1			4
	分娩介助モデル		1	1						2
	高度救命処置シュミレーター		1	1		1	1			4
	救急関係DVD		2	1	1	1	1	1		7
	訓練用AED		4	3	3	5	3	2		20
通信器材	車載用携帯電話		1	1	1	1	1	1	1	7
その他	テロ対策用防毒マスク		3	3	3	3				12
	トリアージシート		3	3	3	3	1	2		15

概要

総務

火災

予防

警防

通信・指令

救助

救急

応援協定

消防団

防火協力団体





# 応援協定



**静岡県東部消防長会東部地区消防大規模災害対応合同訓練**

**(静岡県立朝霧野外活動センター)**



## 1. 消防相互応援協定

各市町村個々の消防力の限界を超える大規模災害及び救急重大事故等に対処するため、消防組織法に基づき次のとおり消防相互応援協定を締結している。

協定名	締結年月日	協定種別	協定締結消防機関等
静岡県消防相互応援協定	平成29年3月10日 再締結	全ての災害	県下全市町
富士市・富士宮市消防相互応援協定	平成27年8月17日 再締結	全ての災害	富士市消防本部
富士宮市と静岡市における消防相互応援に関する協定	平成29年3月22日	全ての災害	静岡市消防局
富士宮市・峡南広域行政組合の消防管轄区域における相互応援に関する協定	令和元年10月1日 再締結	全ての災害	峡南広域行政組合消防本部
富士宮市・富士五湖広域行政事務組合消防相互応援協定	平成28年8月26日	全ての災害	富士五湖広域行政事務組合消防本部
新東名高速道路における消防相互応援に関する協定	平成24年4月14日	全ての災害	富士市消防本部 静岡市消防局

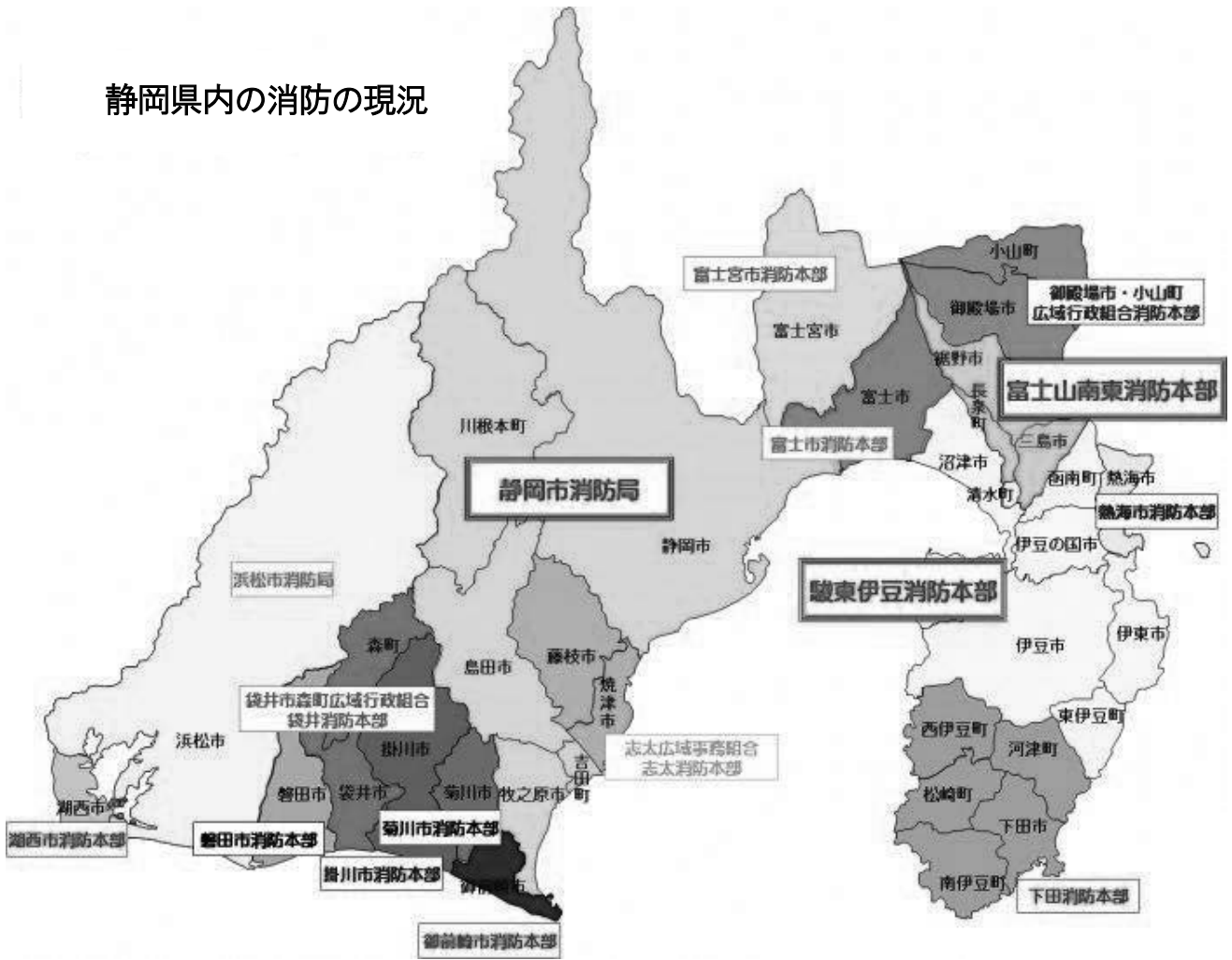
## 2. 消防相互応援協定覚書

締結名	締結年月日	締結消防機関等
静岡県消防相互応援協定に基づく覚書	平成29年3月10日	県下全市町
富士市・富士宮市消防相互応援協定に基づく覚書	平成27年8月17日	富士市消防本部
富士宮市と静岡市における消防相互応援の細目に関する覚書	平成29年3月22日	静岡市消防局
消防相互応援協定に伴う覚書	令和元年10月1日	峡南広域行政組合消防本部
富士宮市・富士五湖広域行政事務組合消防相互応援協定に伴う覚書	平成28年8月26日	富士五湖広域行政事務組合消防本部
新東名高速道路における消防相互応援に関する覚書	平成24年4月14日	富士市消防本部 静岡市消防局

## 3. その他の協定

協定名	締結年月日	協定種別	協定締結機関等
静岡県防災ヘリコプター応援協定	平成29年3月23日	全ての災害	静岡県
ガス爆発事故等防止対策に関する協定書	平成28年9月14日 再締結	ガス漏れ事故 ガス爆発事故等	富士宮警察署 静岡ガス(株)東部導管ネットワークセンター 静岡県LPガス協会富士宮地区会 東京電力パワーグリッド(株)富士支社 中部電力(株)清水営業所
静岡県立総合病院の所有するドクターカーの運用に関する協定	平成28年2月9日	救急事案	静岡県立総合病院
緊急消防援助隊受援計画に基づく施設利用に関する協定書	平成29年1月18日	災害時施設利用	宗教法人大石寺

## 静岡県内の消防の現況



静岡県東部消防長会東部地区消防大規模災害対応合同訓練（富士サファリパーク駐車場）

# 消 防 団



「決意の新たに一齐放水」

令和2年消防出初式写真コンテスト最優秀作品

消防団長賞

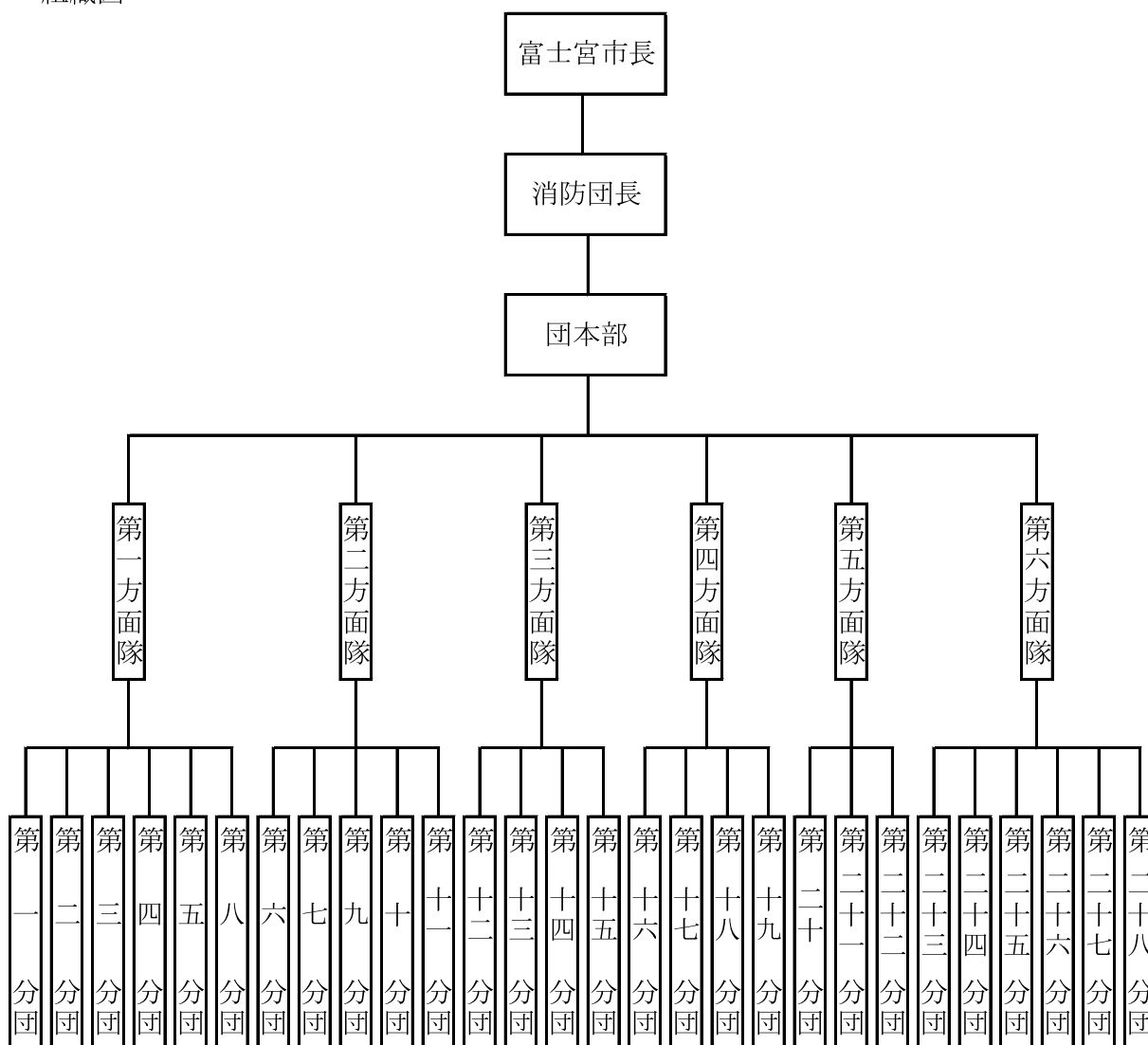
平野 岩夫 氏



消防団は、地域の安心安全の中核的な担い手として、住民の生命、身体、財産を災害から守るという強い使命に燃え、勇敢かつ献身的に日々活動を行っています。また、今日発生する災害も社会構造や地球環境の変化、生活様式の多様化等により複雑化・特異化する傾向にあります。このような中で発生する災害に即応できるように組織を編成し効率化を図っています。

## 富士宮市消防団

### 組織図



### 消防団の定員及び実員

令和2年3月31日現在

区分	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	合計
定員及び基準数	1	4	45	49	78	164	469	810
実員	1	4	49	48	77	156	362	697



歴代消防団長

富士宮市消防団

芝川町消防団

代	氏名	在任期間	代	氏名	在任期間
初代	市ノ瀬 康一	自 S22. 11. 1 至 S24. 3. 31	初代	後藤 勇	自 S32. 4. 1 至 S33. 12. 14
2代	角谷 憲	自 S24. 4. 1 至 S30. 3. 31	2代	風岡 一雄	自 S33. 12. 15 至 S36. 3. 31
3代	後藤 忠雄	自 S30. 4. 1 至 S46. 11. 30	3代	金子 兼治	自 S36. 4. 1 至 S38. 12. 31
4代	佐野 誠一	自 S46. 12. 1 至 S48. 12. 19	4代	風岡 栄	自 S39. 1. 1 至 S41. 12. 14
5代	寺田 銀蔵	自 S48. 12. 20 至 S57. 3. 31	5代	小泉 重利	自 S41. 12. 15 至 S44. 12. 14
6代	小笠原 登	自 S57. 4. 1 至 S61. 3. 10	6代	佐野 卓次郎	自 S44. 12. 15 至 S47. 2. 9
7代	保坂 亨	自 S61. 4. 1 至 H 4. 3. 31	7代	大内 幸雄	自 S47. 2. 10 至 S58. 12. 14
8代	塩川 金次郎	自 H 4. 4. 1 至 H 7. 3. 31	8代	宇佐美 章	自 S58. 12. 15 至 S61. 12. 14
9代	清 功	自 H 7. 4. 1 至 H15. 3. 31	9代	佐野 覚	自 S61. 12. 15 至 H 6. 3. 31
10代	佐野 公康	自 H15. 4. 1 至 H16. 3. 31	10代	望月 克己	自 H 6. 4. 1 至 H10. 3. 31
11代	佐野 貞男	自 H16. 4. 1 至 H20. 3. 31	11代	森 威多留	自 H10. 4. 1 至 H14. 3. 31
12代	佐野 禎彦	自 H20. 4. 1 至 H24. 3. 31	12代	渡邊 三千代	自 H14. 4. 1 至 H17. 3. 31
			13代	萩原 直樹	自 H17. 4. 1 至 H20. 3. 31
			14代	佐野 忠義	自 H20. 4. 1 至 H22. 3. 23

※平成22年3月23日 芝川町は、富士宮市に編入合併

富士宮市消防団

代	氏名	在任期間
12代	佐野 禎彦	自 H20. 4. 1 至 H24. 3. 31
13代	石川 英典	自 H24. 4. 1 至 H25. 3. 31
14代	清 厚博	自 H25. 4. 1 至 H28. 3. 31
15代	植松 昌裕	自 H28. 4. 1 至 H30. 3. 31
16代	佐野 泰信	自 H30. 4. 1 至 R 2. 3. 31
17代	風間 友明	自 R 2. 4. 1 至 現在

消防団員配置状況(実員数)

令和2年3月31日現在

		団 長	副 団 長	分 団 長	副分団長	部 長	班 長	団 員	計
団 本 部		1	4	21			1	12	39
第1方面隊	第1分団			1	1	2	4	3	11
	第2分団			1	1	2	4	9	17
	第3分団			1	1	2	4	6	14
	第4分団			1	1	2	4	7	15
	第5分団			1	1	2	4	6	14
	第8分団			1	1	2	4	7	15
第2方面隊	第6分団			1	3	6	12	16	38
	第7分団			1	1	2	2	3	9
	第9分団			1	1	2	3	7	14
	第10分団			1	2	2	4	5	14
	第11分団			1	2	3	8	10	24
第3方面隊	第12分団			1	2	4	7	9	23
	第13分団			1	1	2	4	5	13
	第14分団			1	2	4	8	6	21
	第15分団			1	3	4	9	21	38
第4方面隊	第16分団			1	2	2	4	21	30
	第17分団			1	3	3	7	31	45
	第18分団			1	2	2	5	13	23
	第19分団			1	3	3	6	15	28
第5方面隊	第20分団			1	3	4	7	16	31
	第21分団			1	3	5	11	28	48
	第22分団			1	3	5	10	14	33
第6方面隊	第23分団			1	1	2	4	21	29
	第24分団			1	1	2	4	7	15
	第25分団			1	1	2	4	17	25
	第26分団			1	1	2	4	15	23
	第27分団			1	1	2	4	13	21
	第28分団			1	1	2	4	19	27
合 計		1	4	49	48	77	156	362	697

概 要

総 務

火 災

予 防

警 防

通 信・指 令

救 助

救 急

応 援 協 定

消 防 団

防 火 協 力 団 体

年度別消防団員入団及び退団の推移

令和2年3月31日現在

年度	定員	実員	入団	退団		退 団 者 内 訳						
				年度末	途中	団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員
H16	650	623	60	51			1	8	7	3	12	20
H17	650	623	53	59			1	10	9	5	7	27
H18	650	615	53	44				8	6	4	9	17
H19	650	611	36	44		1		11	3	3	6	20
H20	650	601	35	46				6	7	1	6	26
※H21	810	751	40	84		1	2	19	7	8	12	35
H22	810	744	53	55	3			6	7	7	9	27
H23	810	743	56	68	2	1	1	16	3	9	12	28
H24	810	721	49	38	3	1		6	3	6	9	16
H25	810	715	35	39	3			9	4	3	7	19
H26	810	727	55	36	4			4	4	4	9	19
H27	810	740	53	56	4	1	1	8	6	3	10	31
H28	810	733	53	60	4		1	3	2	5	9	44
H29	810	705	36	50	4	1		12	4	5	5	27
H30	810	696	42	38	1			2	1	5	9	22
R1	810	697	43	54	4	1	1	13	2	3	5	33

【平成22年3月23日 芝川町消防団と統合】

【実員については、3月31日付退団者は含まない。】

消防団員職業別人員状況

令和2年3月31日現在

区分	被雇用者	自 営 業 者	家族従業者	計
農林水産業	9	23	2	34
鉱業				0
建設業	60	48	5	113
製造業	258	9	1	268
卸売・小売業・飲食業	26	18	2	46
金融・保険業	11	2		13
不動産業	2		1	3
運輸・通信業	37	6		43
電気ガス熱供給水道業	15	2		17
サービス業	53	23	1	77
公務	18			18
その他	51	7	7	65
合計	540	138	19	697

## 消防団員階級別年齢

令和2年3月31日現在

階級	年齢										計
	18   19	20   24	25   29	30   34	35   39	40   44	45   49	50   54	55   59	60 以上	
団 長										1	1
副 団 長								1	2	1	4
分 団 長						5	18	13	7	6	49
副分団長						15	18	7	5	3	48
部 長					6	28	26	11	6		77
班 長			2	11	45	49	33	12	3	1	156
団 員	3	17	40	61	72	74	60	26	5	4	362
合 計	3	17	42	72	123	171	155	70	28	16	697

## 消防団員階級別在職年数

令和2年3月31日現在

階級	年数								計
	5年 未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上 25年未満	25年以上 30年未満	30年 以 上		
団 長								1	1
副 団 長								4	4
分 団 長			3	9	16	18	3	49	
副分団長			3	24	15	5	1	48	
部 長			25	35	15	2		77	
班 長	3	40	69	34	8	2		156	
団 員	168	112	52	16	10	4		362	
合 計	171	152	152	118	64	31	9	697	

# 消防団消防車両配置状況

令和2年3月31日現在

- |               |     |                       |    |
|---------------|-----|-----------------------|----|
| ① マイクロバス      | 1台  | ② 水槽付消防ポンプ自動車         | 5台 |
| ③ 普通消防ポンプ自動車  | 29台 | ④ 小型動力ポンプ付積載車(軽四輪)    | 2台 |
| ⑤ 小型動力ポンプ付積載車 | 4台  | ⑥ 資機材搬送車(軽4WDトラックタイプ) | 2台 |
| ⑦ 小型動力ポンプ     | 55台 |                       |    |

(B-2級 1台・B-3級 20台・C-1級 34台)

分 団	配置場所	登 録 番 号	車 名	ポンプ性能	購入年月	製作会社	備 考
団本部	弓 沢 町	富士山240さ223	日 産		H18. 1		マ イ ク ロ バ ス
				B 3 級	H21. 8	トーハツ	小 型 動 力 ポ ン プ ( 訓 練 用 )
				B 2 級	H28. 3	トーハツ	小 型 動 力 ポ ン プ ( 訓 練 用 )
第1分団	中 央 町	富士山803ね1	いすゞ	A 2 級	H15. 1	日本ドライ	普通消防ポンプ自動車(4WD)
				C 1 級	H16. 10	富士ロビン	小 型 動 力 ポ ン プ
第2分団	元 城 町	富士山840せ2	いすゞ	A 2 級	H13. 12	日本ドライ	普通消防ポンプ自動車(4WD)
				C 1 級	H12. 7	富士ロビン	小 型 動 力 ポ ン プ
第3分団	宮 町	富士山840せ3	いすゞ	A 2 級	H16. 1	日本ドライ	普通消防ポンプ自動車(4WD)
				C 1 級	H11. 3	富士ロビン	小 型 動 力 ポ ン プ
第4分団	西 町	富士山840そ4	いすゞ	A 2 級	H29. 12	ジーエムいちはら	普通消防ポンプ自動車(4WD)
				C 1 級	H13. 8	富士ロビン	小 型 動 力 ポ ン プ
第5分団	弓 沢 町	富士山840す5	いすゞ	A 2 級	H18. 2	ジーエムいちはら	水槽付消防ポンプ自動車
				C 1 級	H19. 10	マキタ沼津	小 型 動 力 ポ ン プ
第6分団	淀 師	富士山840す6	いすゞ	A 2 級	H21. 2	ジーエムいちはら	普通消防ポンプ自動車(4WD)
				C 1 級	H 6. 12	富士ロビン	小 型 動 力 ポ ン プ
	青 木	富士山840て6	いすゞ	A 2 級	H24. 1	日本ドライ	普通消防ポンプ自動車(4WD)
				C 1 級	H10. 2	富士ロビン	小 型 動 力 ポ ン プ
	外 神	富士山840ね6	いすゞ	A 2 級	H28. 3	島山ポンプ	普通消防ポンプ自動車(4WD)
				C 1 級	H26. 10	トーハツ	小 型 動 力 ポ ン プ
第7分団	大 中 里	富士山803せ7	いすゞ	A 2 級	R2. 3	日本ドライ	普通消防ポンプ自動車
				C 1 級	H24. 11	トーハツ	小 型 動 力 ポ ン プ
第8分団	万 野 原	富士山803た8	いすゞ	A 2 級	H17. 2	日本ドライ	普通消防ポンプ自動車(4WD)
	新 田			C 1 級	H31. 1	トーハツ	小 型 動 力 ポ ン プ

分 団	配置場所	登 録 番 号	車 名	ポンプ性能	購入年月	製作会社	備 考
第9分団	野 中	富士山840せ9	いすゞ	A 2 級	H23. 1	ジ-エムいちほら	普通消防ポンプ自動車(4WD)
				C 1 級	H17. 10	富士ロビン	小 型 動 力 ポ ン プ
第10分団	安 居 山	富士山840せ119	いすゞ	A 2 級	H16. 11	モリタ	水 槽 付 消 防 ポ ン プ 自 動 車
				C 1 級	H28. 3	トーハツ	小 型 動 力 ポ ン プ
	沼 久 保	富士山840ち10	いすゞ	B 3 級	H26. 2	旭産業	小型動力ポンプ付積載車(4WD) ( ト ー ハ ツ )
第11分団	黒 田	富士山840ね11	いすゞ	A 2 級	H29. 1	ジ-エムいちほら	普通消防ポンプ自動車(4WD)
				C 1 級	H29. 1	トーハツ	小 型 動 力 ポ ン プ
	星 山	富士山840す11	いすゞ	A 2 級	H21. 2	ジ-エムいちほら	普通消防ポンプ自動車(4WD)
				C 1 級	H 9. 2	富士ロビン	小 型 動 力 ポ ン プ
	貫 戸	富士山881あ21	スバル	B 3 級	H21. 2	マキタ沼津	小型動力ポンプ付積載車(軽四輪)
第12分団	小 泉	富士山803の1	いすゞ	A 2 級	H15. 1	日本ドライ	水 槽 付 消 防 ポ ン プ 自 動 車
				C 1 級	H26. 10	トーハツ	小 型 動 力 ポ ン プ
	山 本	富士山840せ12	いすゞ	A 2 級	H14. 1	日本ドライ	普通消防ポンプ自動車(4WD)
				C 1 級	H29. 1	トーハツ	小 型 動 力 ポ ン プ
第13分団	杉 田	富士山840す13	いすゞ	A 2 級	H18. 2	日本ドライ	普通消防ポンプ自動車(4WD)
				C 1 級	H 2. 1	富士ロビン	小 型 動 力 ポ ン プ
第14分団	小 泉	富士山840そ14	いすゞ	A 2 級	H26. 11	モリタ	普通消防ポンプ自動車(4WD)
				C 1 級	H23. 1	マキタ沼津	小 型 動 力 ポ ン プ
	大 岩	富士山840せ14	いすゞ	A 2 級	H23. 1	ジ-エムいちほら	普通消防ポンプ自動車(4WD)
				C 1 級	R1. 12	トーハツ	小 型 動 力 ポ ン プ
第15分団	神 成	富士山840ぬ15	いすゞ	A 2 級	H29. 12	ジ-エムいちほら	普通消防ポンプ自動車(4WD)
				C 1 級	H14. 9	富士ロビン	小 型 動 力 ポ ン プ
	二 又	富士山840せ15	いすゞ	A 2 級	H20. 2	日本ドライ	普通消防ポンプ自動車
				C 1 級	H 2. 1	富士ロビン	小 型 動 力 ポ ン プ
	村 山	富士山840に15	いすゞ	B 3 級	H28. 3	畠山ポンプ	小型動力ポンプ付積載車(4WD) ( ト ー ハ ツ )
	第16分団	山 宮	富士山803さ366	いすゞ	A 2 級	H20. 2	日本ドライ
				C 1 級	H25. 12	トーハツ	小 型 動 力 ポ ン プ

概要

総務

火災

予防

警戒

通信・指令

救助

救急

応援協定

消防団

防火協力団体

分 団	配置場所	登録番号	車 名	ポンプ 性 能	購入年月	製作会社	備 考
第17分団	上 組	富士山840せ17	いすゞ	A 2級	H24. 1	日本ドライ	普通消防ポンプ自動車(4WD)
				C 1級	S62.12	富士ロビン	小型動力ポンプ
	辻 坂			B 3級	H 5.10	富士ロビン	小型動力ポンプ(台車付)
	下 組			B 3級	H 6.12	富士ロビン	小型動力ポンプ(台車付)
	横 道			B 3級	H 7.11	富士ロビン	小型動力ポンプ(台車付)
第18分団	上 条	富士山840せ18	いすゞ	A 2級	H25. 1	ジ-エムいちほら	普通消防ポンプ自動車(4WD)
				C 1級	H31.1	トーハツ	小型動力ポンプ
	馬見塚	富士山488ね18	スズキ		R2. 1	峰自動車	資機材搬送車 (軽4WDトラックタイプ)
第19分団	下条	富士山840た19	いすゞ	A 2級	H31.2	日本ドライ	水槽付消防ポンプ自動車
		富士山481か 568	スズキ		H31.2	峰自動車	資機材搬送車 (軽4WDトラックタイプ)
				C 1級	H31.1	トーハツ	小型動力ポンプ
	妙蓮寺	富士山840せ19	いすゞ	B 3級	H26. 2	旭産業	小型動力ポンプ付積載車(4WD) (トーハツ)
第20分団	上井出	富士山803そ20	いすゞ	A 2級	H29. 1	ジ-エムいちほら	水槽付消防ポンプ自動車(4WD)
				C 1級	H12. 2	富士ロビン	小型動力ポンプ
	東			B 3級	H12. 7	富士ロビン	小型動力ポンプ(台車付)
	新 田			B 3級	H24.11	トーハツ	小型動力ポンプ(台車付)
	芝 山			B 3級	H18.11	富士ロビン	小型動力ポンプ(台車付)
	人 穴	富士山803さ368	いすゞ	B 3級	H16. 2	日本ドライ	小型動力ポンプ付積載車 (富士ロビン)
第21分団	猪之頭	富士山840す21	いすゞ	A 2級	H22. 2	ジ-エムいちほら	普通消防ポンプ自動車(4WD)
				C 1級	R1.12	トーハツ	小型動力ポンプ
	中 村			B 3級	H25.12	トーハツ	小型動力ポンプ(台車付)
	撫 川			B 3級	H23.12	トーハツ	小型動力ポンプ(台車付)
	大 橋			B 3級	H13. 8	富士ロビン	小型動力ポンプ(台車付)
	根 原			B 3級	H17.10	富士ロビン	小型動力ポンプ(台車付)
	上 村			B 3級	H14. 9	富士ロビン	小型動力ポンプ(台車付)
	富 士 丘			B 3級	H26.10	トーハツ	小型動力ポンプ
	麓	富士山888あ21	ダイハツ	B 2級	H29. 1	トーハツ	小型動力ポンプ付積載車(軽四輪)

概要

総務

火災

予防

警防

通信・指令

救助

救急

応援協定

消防団

防火協力団体

分 団	配置場所	登録番号	車 名	ポンプ性能	購入年月	製作会社	備 考
第22分団	原	富士山840せ22	いすゞ	A 2 級	H22. 2	ジーエムいちほら	普通消防ポンプ自動車(4WD)
				C 1 級	H15. 9	富士ロビン	小 型 動 力 ポ ン プ
	川久保			B 3 級	H 9. 2	富士ロビン	小型動力ポンプ(台車付)
	足形			B 3 級	H10. 2	富士ロビン	小型動力ポンプ(台車付)
	横手沢			B 3 級	S55. 8	富士ロビン	小型動力ポンプ(台車付)
	中原			B 3 級	H 5.10	富士ロビン	小型動力ポンプ(台車付)
	狩宿			B 3 級	H11. 2	富士ロビン	小型動力ポンプ(台車付)
	熊久保			B 3 級	H12. 2	富士ロビン	小型動力ポンプ(台車付)
半野			B 3 級	H16.10	富士ロビン	小型動力ポンプ(台車付)	
第23分団	下柚野	富士山840せ23	いすゞ	A 2 級	H15.11	モリタ	普通消防ポンプ自動車
				C 1 級	H20.12	トーハツ	小 型 動 力 ポ ン プ
第24分団	上稲子	富士山840ち24	いすゞ	A 2 級	H26.11	モリタ	普通消防ポンプ自動車(4WD)
				C 1 級	H20.12	トーハツ	小 型 動 力 ポ ン プ
第25分団	尾崎	富士山803さ465	いすゞ	A 2 級	H21.12	モリタ	普通消防ポンプ自動車
				C 1 級	H21.11	トーハツ	小 型 動 力 ポ ン プ
第26分団	巡沢	富士山840す26	いすゞ	A 2 級	H14. 2	モリタ	普通消防ポンプ自動車
				C 1 級	H21.11	トーハツ	小 型 動 力 ポ ン プ
第27分団	川合	富士山840す27	いすゞ	A 2 級	H13. 1	モリタ	普通消防ポンプ自動車
				C 1 級	H21.11	トーハツ	小 型 動 力 ポ ン プ
第28分団	西山下	富士山840た28	いすゞ	A 2 級	H25. 1	ジーエムいちほら	普通消防ポンプ自動車(4WD)
				C 1 級	H21.11	トーハツ	小 型 動 力 ポ ン プ



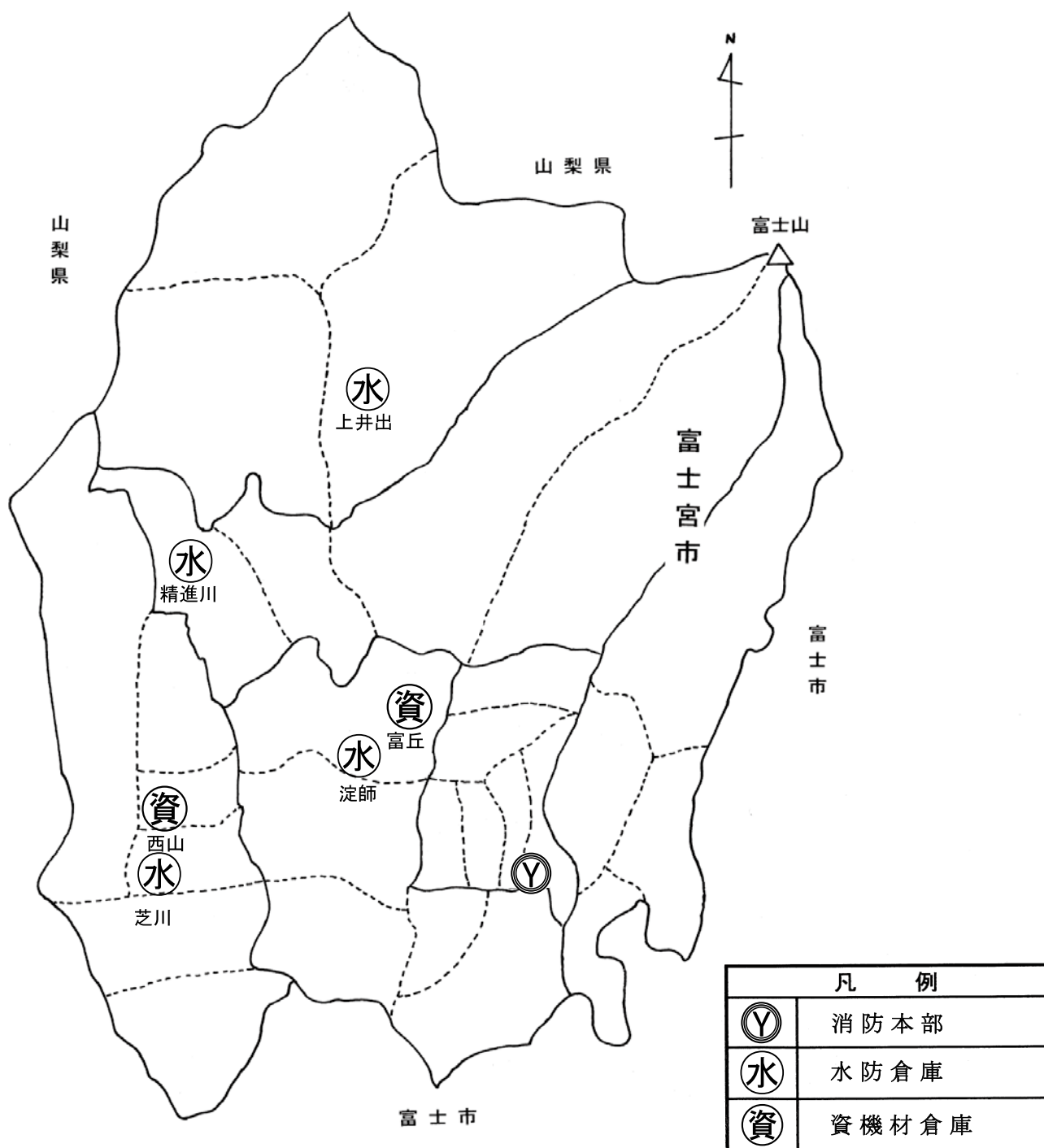
# 消 防 団 詰 所 一 覧 表

令和2年3月31日現在

分 団	建 築 物 用 途	構 造	階 数	建築面積 ㎡	延床面積 ㎡	敷地面積 ㎡	建築年月日	所 在 地
1	詰所兼車庫	鉄骨造アスファルトシングル葺	2	51.4	102.8	164.15	H 9. 3	中央町9-10
2	詰所兼車庫	鉄 骨 造 折 板 葺	2	38.35	76.7	194.44	H 5. 12	元城町3-4
3	詰所兼車庫	鉄骨造アスファルトシングル葺	2	55.15	102.8	327.47	H15. 8	宮町1-1
4	詰所兼車庫	鉄 骨 造 折 板 葺	2	32.61	68.77	51.94	S60. 3	西町10-6
5	詰所兼車庫	鉄 骨 造 鋼 板 葺	2	65	117	219.5	H17. 2	弓沢町137
6 (外神)	詰所兼車庫	鉄 骨 造 折 板 葺	2	38.4	76.8	132.08	H 7. 3	外神8-9
6 (淀師)	詰所兼車庫	鉄骨造アスファルトシングル葺	2	51.4	102.8	182.22	H21. 2	淀平町50
6 (青木)	詰所兼車庫	鉄骨造アスファルトシングル葺	2	51.4	102.8	330	H11. 3	青木1182-4
7	詰所兼車庫	鉄 骨 造 折 板 葺	2	38.4	76.8	293.61	H 7. 3	大中里438-14
8	詰所兼車庫	鉄 骨 造 折 板 葺	2	38.4	76.8	330	H 8. 3	万野原新田3287-11
9	詰所兼車庫	鉄骨造アスファルトシングル葺	2	56.15	102.8	217.76	H18. 2	野中町608
10 (沼久保)	詰所兼車庫	鉄 骨 造 折 板 葺	2	32.1	64.2	321.89	H 6. 3	沼久保25-5
10 (安居山)	詰所兼車庫	鉄筋・鉄骨造カラーアルミ葺	2	65	117	201	H10. 3	安居山607-2
11 (貫戸)	詰所兼車庫	木 造 ト タ ン 葺	1	19.87	19.87	19.87	S56. 3	貫戸259-1
11 (黒田)	詰所兼車庫	鉄 骨 造 折 板 葺	2	33.34	65.22	85	S56. 3	黒田270-3
11 (星山)	詰所兼車庫	鉄 骨 造 シ ン グ ル 葺	2	51.40	101.94	327.37	H27. 3	星山126-1
12 (小泉)	詰所兼車庫	鉄 骨 造 鋼 板 葺	2	65	117	231	H13. 2	小泉539-1
12 (山本)	詰所兼車庫	鉄 骨 造 折 板 葺	2	38.7	77.4	333	H 2. 3	山本540-4
13	詰所兼車庫	鉄骨造アスファルトシングル葺	2	56.15	102.8	294	H19. 3	杉田1230-6
14 (小泉)	詰所兼車庫	鉄 骨 造 折 板 葺	2	38.35	76.7	192.78	H 1. 3	小泉1864
14 (大岩)	詰所兼車庫	鉄 骨 造 折 板 葺	2	51.4	101.94	361.66	H25. 3	大岩1477-4
15 (村山)	詰所兼車庫	鉄 骨 造 折 板 葺	1	61.93	60.27	148.03	S57. 3	村山1242-3
15 (神成)	詰所兼車庫	鉄 骨 造 シ ン グ ル 葺	2	51.4	101.94	246.18	H29. 3	村山102-13
15 (二又)	詰所兼車庫	鉄骨造アスファルトシングル葺	2	51.4	102.8	337.66	H23. 3	粟倉918-6
16	詰所兼車庫	鉄 骨 造 折 板 葺	2	41.3	77.63	163.15	S57. 6	山宮1591-3
17 (下組)	詰所兼機具置場	木 造 ト タ ン 葺	1	19.44	19.44	19.44	S42. 10	北山823-1
17 (上組)	詰所兼車庫	鉄 骨 造 折 板 葺	2	60	120	178.24	S60. 3	北山1529-4
17 (横道)	詰所兼機具置場	鉄 筋 コ ン ク リ ー ト 造	1	32.4	32.4	32.4	S53. 2	北山4536-1
17 (辻坂)	詰所兼機具置場	木 造 ト タ ン 葺	1	38.88	38.88	38.88	S43. 9	北山3310-1

分 団	建築物用途	構 造	階数	建築面積 ㎡	延床面積 ㎡	敷地面積 ㎡	建築年月日	所 在 地
18	詰所兼車庫	鉄骨造折板葺	2	104.92	177.84	361.51	S54. 10	上条232-1
18 (馬見塚)	車庫・詰所	鉄骨造折板葺	1	52.3	52.3	393.03	H 4. 3	馬見塚401-2
19	詰所兼車庫	鉄骨造カラスステンレス鋼板横葺	2	90.48	165.02	338.57	H31. 2	下条139-1
19 (妙蓮寺)	詰所兼車庫	鉄骨造折板葺	1	52.31	52.31	214.94	S56. 3	下条719
20 (芝山)	機具置場	木造トタン葺	1	19.87	19.87	19.87	S56. 3	上井出880-2
20 (東)	機具置場	ブロック造トタン葺	1	25.11	25.11	25.11	S50.	上井出2233-3
20 (新田)	機具置場	木造トタン葺	1	10.93	10.93	10.93	S44.	上井出135-1
20 (人穴)	詰所兼車庫	鉄骨造折板葺	1	52.3	52.3	190.05	S60. 11	人穴383-2
20 (上井出)	詰所兼車庫	鉄骨造折板葺	2	89.3	162.1	863.11	S59. 3	上井出603-1
21 (撫川)	機具置場	木造トタン葺	1	7.28	7.28		S43. 8	猪之頭487-1
21 (猪之頭)	詰所兼車庫	鉄骨造折板葺	2	73.22	146.44	304	S58. 3	猪之頭217-7
21 (上村)	機具置場	木造トタン葺	1	7.6	7.6		S29. 頃	猪之頭634
21 (麓)	詰所兼車庫	木造トタン葺	1	19.87	19.87		S60. 11	麓61
21 (根原)	機具置場	ブロック造折板葺	1	8.16	8.16	8.16	S56. 3	根原572
21 (富士丘)	機具置場	ブロック造	1	6.3	6.3		S30. 頃	根原341-1
22 (内野・足形)	機具置場	ブロック造	1	9.03	9.03		S43.	内野1030-5
22 (原)	詰所兼車庫	鉄骨造折板葺	2	72.75	145.5	224.4	S63.	原1114-6
22 (半野・熊久保)	機具置場倉庫併用	木造トタン葺	1	61.2	58.2		S41.	半野583-2
22 (狩宿)	機具置場	ブロック造	1	6.12	6.12		S48. 11	狩宿78-4
22 (内野・横手沢)	機具置場	ブロック造	1	9.76	9.76		S44. 4	内野22-1
22 (半野)	機具置場	プレハブ造	1	6.38	6.38		H12.	半野228
22 (原・中原)	機具置場	木造トタン葺	1	23.21	8.8		S36.	原932-1
22 (内野・川久保)	機具置場	鉄筋コンクリート造	1	6.3	6.3		H 9. 3	内野339
23 (柚野)	詰所兼車庫	鉄骨造折板葺	1	76.58	76.58	387.48	H17. 12	下柚野336-1
24 (稲子)	詰所兼車庫	鉄骨造アスファルトシングル葺	2	39.59	79.18	45.87	H13. 1	上稲子3850-8
25 (内房3・4区)	詰所兼車庫	鉄骨造折板葺	1	77.4	77.4	245.48	S61. 1	内房3142-2
26 (内房1・2区)	詰所兼車庫	鉄骨造アスファルトシングル葺	2	39.65	79.29	23	H10. 12	内房4058-4
27 (長貫・羽鯛)	詰所兼車庫	鉄骨造アスファルトシングル葺	2	38.7	77.4	102.26	H17. 3	長貫1217-2
28 (西山・大久保)	詰所兼車庫	鉄骨造アスファルトシングル葺	2	38.7	77.4	131	H18. 2	西山1388-4

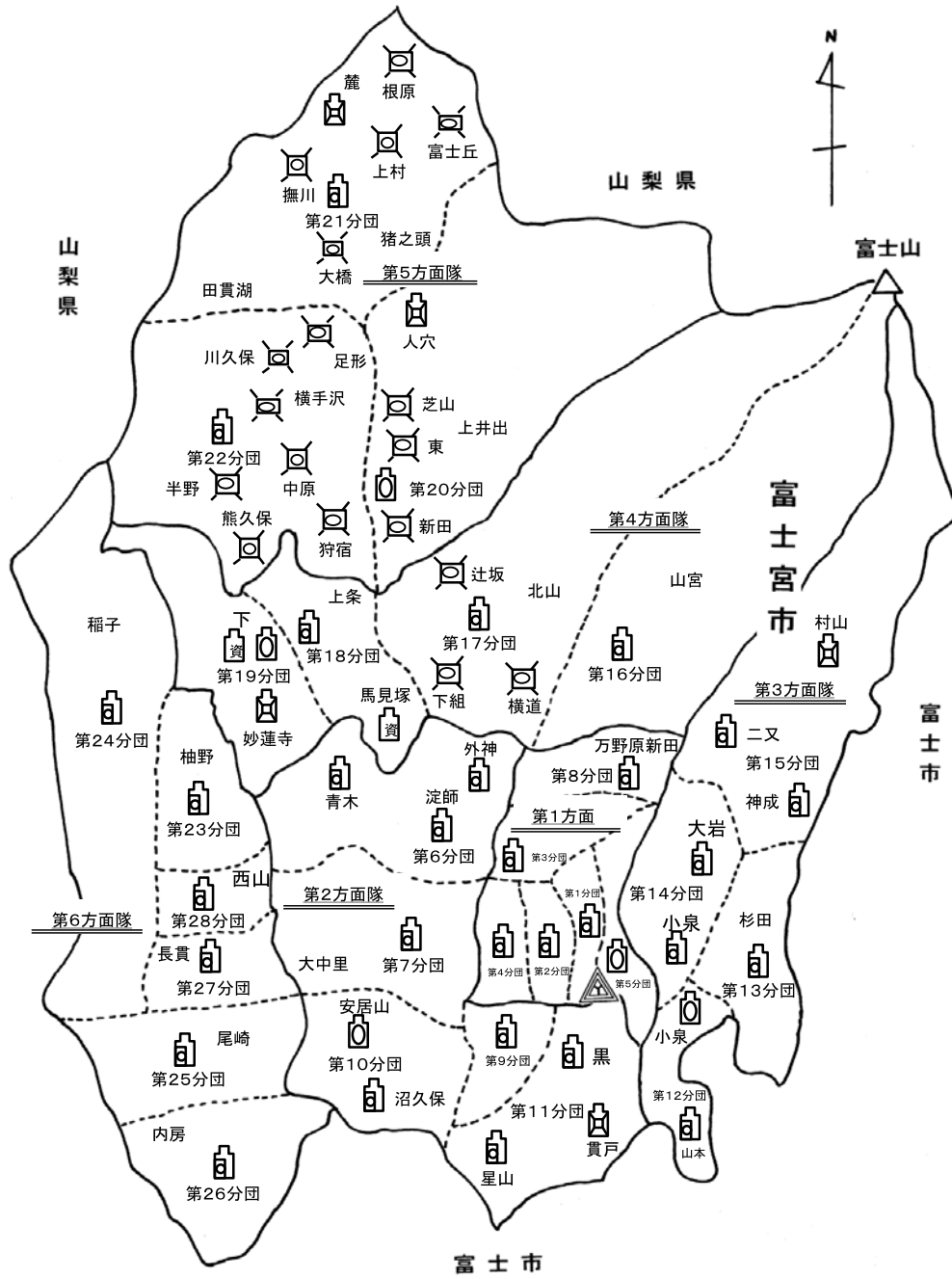
# 水防倉庫・資機材倉庫配置図



水防倉庫・消防資機材倉庫一覧表

建物名称	構造	階数	延床面積	建築年月日	所在地
上井出水防倉庫	鉄骨造	1	16.52㎡	S59.3	上井出603-2
淀師水防倉庫	鉄骨造	1	95.30㎡	H2.3	穂波町4-11
精進川水防倉庫	鉄骨造	1	52.3㎡	S62.3	精進川419-2
芝川水防倉庫	鉄骨造	1	196.05㎡	H7.3	長貫753-1
富丘資機材倉庫	木造	1	35.34㎡	S33.9	青木326-1
西山資機材倉庫	軽量鉄骨	1	14.00㎡	H12.9	西山895-1地先

# 消防団車両配置図



凡 例	
	消防団本部
	水槽付 消防ポンプ自動車
	消防ポンプ自動車 小型動力ポンプ搭載
	小型動力ポンプ付積載車
	資機材搬送車
	小型動力ポンプ(台車付)

消防団協力事業所表示制度により、表示証の交付を受けた団体(一覧)

令和2年3月31日現在

	交付事業所名	初回表示	有効期限
1	株式会社 勝晃	H19.12	R3.3
2	ジヤトロ株式会社 富士宮地区	H19.12	R3.3
3	株式会社 アマダ	H19.12	R3.3
4	富士宮農業協同組合	H19.12	R3.3
5	富士フィルム株式会社 富士宮工場	H19.12	R3.3
6	東亜富士巧業株式会社	H20.12	R3.3
7	カナエ工業株式会社	H20.12	R3.3
8	富士設計株式会社	H23. 2	R3.3
9	株式会社 アリエ	H23. 2	R3.3
10	タマチ工業株式会社 西富士工場	H24. 5	R3.3
11	有限会社 後藤倉庫	H24.10	R3.3
12	有限会社 小林造園	H24.12	R3.3
13	芝川塗装	H25. 2	R3.3
14	山本ヂーゼル工業株式会社	H25. 2	R3.3
15	富士宮通運株式会社	H25. 3	R3.3
16	かわむら呉服店	H25. 3	R3.3
17	塗装工芸株式会社	H25. 9	R3.3
18	株式会社アスティアー	H25.12	R3.3
19	有限会社 カーサポート	H27. 2	R3.3
20	株式会社 赤池商会	H27. 4	R3.3
21	株式会社 日之出商会	H27.12	R3.3
22	有限会社 依田造園	H28. 2	R3.3
23	風間建築	H28. 2	R3.3
24	株式会社 伊東建築	H28.4	R3.3
25	宝造園	H28.5	R3.3
26	インテリアしのはら	H28.5	R3.3

	交付事業所名	初回表示	有効期限
27	特定非営利活動法人くじら	H28.6	R3.3
28	大宮精機株式会社	H28.6	R3.3
29	税理士法人 IBS	H28.8	R3.3
30	赤池造園株式会社	H28.8	R3.3
31	岡重株式会社	H28.11	R3.3
32	光陽建設株式会社	H29.1	R3.3
33	有限会社 トガミ	H29.3	R3.3
34	望月保険事務所	H29.3	R3.3
35	スマイヤ株式会社	H29.4	R3.3
36	安永左官工業	H29.5	R3.3
37	株式会社 アミノ	H29.8	R3.3
38	株式会社 寶屋	H30.5	R3.3
39	株式会社 日誠電工	H30.5	R3.3
40	有限会社 坪井組	H30.6	R3.3
41	株式会社 藤弘工業	H30.7	R3.3
42	たいよう接骨院	H30.10	R3.3
43	株式会社 渡邊自動車商会	H30.11	R3.3
44	株式会社 東食品	H30.11	R3.3
45	株式会社 新精工業	H31.3	R3.3
46	有限会社 日東工機	H31.4	R3.3
47	株式会社 秀工務店	R1.7.12	R3.3
48	有限会社 スギヤマ製作	R1.7.12	R3.3
49	有限会社 エージェントうさみ	R1.9.18	R3.3
50	株式会社 ちゅら富士動物病院	R1.11.26	R3.3
51	周一級建築工事事務所 富士宮事務所	R1.12.5	R3.3
52	ホシノ自動車整備工場	R2.3.31	R3.3

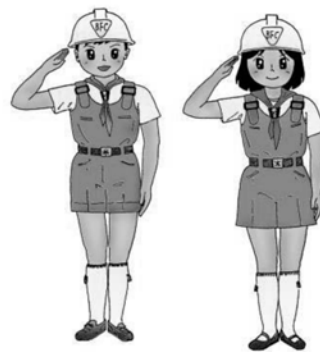
消防団協力事業所が、地域への社会貢献を果たしていることを、社会的に評価することにより協力事業所の信頼性の向上につながり、消防団と事業所等との連携・協力体制が一層強化されることによって、地域における消防・防災体制の充実強化を図ることを目的とする制度です。

令和2年3月31日現在、管内の52事業所に表示証が交付されています。

# 防火協力団体



防火安全協会



少年消防クラブ



婦人防火クラブ



幼年消防クラブ





# 富士宮市防火安全協会

## 沿革

昭和40年 7月15日	富士宮市危険物安全協会設立
昭和48年 4月 1日	富士宮市芝川町危険物安全協会に名称変更
昭和59年10月11日	富士宮市芝川町防火協会設立
昭和60年 3月 7日	第1回消火技術競技大会の実施 (市立上井出小学校グラウンド)
平成 4年 5月26日	富士宮市芝川町防火安全協会発足
平成22年 3月23日	富士宮市防火安全協会に名称変更

防火安全協会は、会員数575事業所（令和2年4月1日現在）で組織され事業所の防火、危険物管理の向上と火災予防の徹底を図ることを目的に、富士宮市の事業所が会員となり運営しております。

協会の事業としては、他の防火協力団体と共催し、春秋の火災予防運動期間中の広報活動や防火ポスター展の実施、機関誌「そなえ」の発行を行っており、さらに、毎年開催される消火技術競技大会では、迅速かつ適切な通報、伝達、消火方法及び火災初期に対応する技術の習得を目的に実施しており、多くの事業所に参加していただいております。

その他にも、普通救命講習会などを開催し、幅広い活動を行っています。



消火技術競技大会（消火器の部）

概要

総務

火災

予防

警防

通信・指令

救助

救急

応援協定

消防団

防火協力団体





# 婦人防火クラブ

## 沿革

昭和57年4月 1日	富士宮市芝川町幼少年婦人防火委員会発足
昭和57年6月 9日	富士宮地区婦人防火クラブ結成
昭和63年4月22日	富士宮市芝川町婦人防火クラブに移行
平成22年3月23日	富士宮市婦人防火クラブに名称変更

婦人防火クラブは、会員数79人（令和2年4月1日現在）で組織され、家庭における火災等の災害を自ら守るという自覚に基づき、火災予防の知識や地震等の対策について研究し、火災のない明るい家庭づくりと、安全な地域社会をめざし昭和57年に結成されました。

視察研修を毎年実施しており、令和元年度は、焼津市にある防災学習室“しえ〜る”に行き、施設見学や講義を通じて防火・防災の意識高揚を図りました。

静岡県消防学校体験入校では、ロープの結び方、傷病者の搬送方法及び放水体験を実施しました。

その他、消火技術競技大会に出場、消防フェスティバルや消防出初式に参加する等、防火に関する幅広い活動を行っています。



視察研修



# 少年消防クラブ

沿革

昭和57年 4月 1日	富士宮市芝川町幼少年婦人防火委員会発足
昭和60年 4月 1日	富士宮市立大宮小学校少年消防クラブ結成
昭和63年 4月 1日	黒田学童クラブ少年消防クラブ結成
平成22年 3月23日	富士宮市幼少年婦人防火委員会に名称変更
平成24年 4月 1日	児童クラブ吉美少年消防クラブ、富丘学童少年消防クラブ結成
平成28年 4月 1日	貴船学童少年消防クラブ結成
平成30年 4月 1日	あおぞら児童少年消防クラブ結成

少年消防クラブの目的は、少年（少女）たちが火災を予防する方法や火についての問題を身近な生活の中に見出し、お互いに研究してその結果を自分自身で実行するとともに、クラブ員が防火・防災について地域のリーダーとなることを目的としています。

令和元年度は、少年消防クラブ結成式、一日消防署体験、視察研修、消火器の取扱い訓練、花火教室、防火ポスターの作成等を実施するとともに、消防フェスティバルにも積極的に参加し、防火・防災意識の高揚を図りました。



一日消防署体験(富士宮市西消防署北分署にて)

概要

総務

火災

予防

警防

通信・指令

救助

救急

応援協定

消防団

防火協力団体



# 幼年消防クラブ

## 沿革

昭和57年	4月	1日	富士宮市芝川町幼少年婦人防火委員会発足
昭和59年	6月	1日	富士宮市内15幼稚園の幼年消防クラブ結成
平成3年	4月	1日	芝川町各保育園幼年消防クラブ結成
平成22年	3月	23日	富士宮市幼少年婦人防火委員会に名称変更

幼年消防クラブの目的は、幼年期を迎えた子供達に正しい火の取扱い方法と、消防の仕事をよく理解させることによって火遊び等による火災の減少を図り、更に幼年期に社会活動・集団活動を体験することによって自主性や協調性などの社会態度を養い、将来災害を防止し生命財産を保全する能力を持つ大人となり、社会に貢献できる人間になることを期待するものであります。

現在、消防本部管内の幼稚園・保育園のうち、12園が同クラブを結成しています。

6月～7月にかけて花火教室を開催し花火の正しい遊び方を学び、夏休みには防火ポスターを作成します。また火災予防運動期間中には火災予防運動広報を実施し、その他にも消防フェスティバルに参加するなど積極的な活動を行っています。



消防フェスティバルにおける演技

## あ と が き

この年報は、令和元年中の富士宮市における消防諸般の現況を収録したもので、合理的な運営と効果的な消防行政を推進するために編さんしました。

なお、火災・気象・救急統計等は暦年で、その他のものについては会計年度で表しております。

富士宮市消防本部



# 火事と救急は 119番

**「消防年報」** 令和元年版

編集・発行

富士宮市消防本部消防総務課  
〒418-8601  
静岡県富士宮市弓沢町150番地  
電話 0544-22-1198  
FAX 0544-22-1244